

令和7年度

研修ガイドブック



静岡県教育委員会

目次

1	静岡県教員研修計画について	P. 1
2	研修一覧表	P. 10
	総合教育センター主催 悉皆・推薦研修	P. 11
	総合教育センター主催 希望研修 小学校対象	P. 15
	総合教育センター主催 希望研修 中学校対象	P. 26
	総合教育センター主催 希望研修 高等学校対象	P. 37
	総合教育センター主催 希望研修 特別支援学校対象	P. 49
	総合教育センター主催 希望研修 幼稚園等対象	P. 63
	総合教育センター主催 希望研修 事務職員対象	P. 66
	総合教育センター主催 希望研修 事務局対象	P. 69
	教育委員会各課主催 悉皆・推薦研修	P. 75
	教育委員会各課主催 希望研修	P. 80
3	希望研修申込方法	P. 88
4	欠席・変更等の手続について	P. 91
	★欠席・変更届	P. 93
5	学校等支援研修	P. 94
6	大学等のオンデマンド研修について	P. 96
7	令和7年度 研究報告会	P. 97
8	あすなろ学習室	P. 98
9	各種リンク一覧	P. 99

総合教育センター主催の希望研修は
御自身の対象校種のページを御確認ください。



■研修に際しての参考事項

1 研修受講上の配慮事項について

研修を受講する上で、特に身体的理由等による配慮を必要とする場合は、管理職より研修担当者まで電話で御相談ください。

2 自然災害等による研修の中止等について

(1) 研修の中止、延期もしくは開始時刻の変更（以下「中止等」という）については、気象庁及び静岡地方気象台が発表する警報により決定します。

(2) 研修の中止等の情報は、決定次第、センターホームページの「お知らせ」に掲載します。

（総合教育センター主催研修のみ）

(3) 研修の全部又は一部を中止等とした場合の代替措置等は、別途連絡します。

3 夏季の軽装化・冬季の防寒対策等について

(1) 夏季の各研修の参加に際しては、軽装化（ノーネクタイ、ノー上着の励行）を推進しています。（ただし、講師に失礼にならないように留意してください）

(2) 冬季の各研修の参加に際しては、各自で防寒の対応をお願いします。

4 個人情報の取扱いについて

各研修の実施に伴い、教職員の氏名、職員番号、年齢等の個人情報を取得しますが、静岡県個人情報保護条例に従い、保有する個人情報を保護するために以下のように取り扱います。

(1) 研修の運営を円滑に行うために、取得した個人情報を基に参加者名簿等を作成します。

(2) 取得した個人情報は、研修運営のみに利用し、いかなる第三者へも提供することはありません。

(3) 研修中に撮影する写真は、広報で使用する場合があります。御了承願います。

|

静岡県教員研修計画について

静岡県教員研修計画について

(1) 策定の背景

教育公務員特例法の一部改正に伴い、任命権者に、教員研修計画の策定が義務付けられました。本県においても、「静岡県校長育成指標」「静岡県教員育成指標」に基づき、本県公立学校（政令市立学校を除く）の校長及び教員等が、児童生徒一人一人の学びを最大限に引き出し、伴走者として、その主体的な学びを支援することができるよう、「静岡県教員研修計画」を策定しました。

(2) 対象

「静岡県教員研修計画」は、校長及び教員等＊を対象とした計画です。

＊「教員等」とは、副校長、教頭、主幹教諭、教諭、養護教諭、栄養教諭、講師（任期の定めなく任用された者）、学校栄養職員、実習助手、寄宿舍指導員、任期付職員、臨時的任用職員、会計年度任用教員を指す。

(3) 教員研修の実施方針

ア 実施方針

社会全体のウェルビーイングの実現に向けて、子供たちに、他者と協調して新たな価値を創造する力を育むことのできる教員を育成するため、「静岡県教員育成指標」・「静岡県校長育成指標」に示された資質能力を育成します。

イ 研修実施上の留意事項

- (ア) 教員のキャリアステージに応じた研修を効果的、効率的に実施し、資質能力の確実な向上を図ります。
- (イ) 研修主催者において、研修の目的や内容に応じて、時代や環境の変化に応じた知識・技能及び指導方法への確実な転換に留意して研修を企画、実施します。
- (ウ) 資質能力の向上のため、校外研修や校内研修において、校長や教員自身の学び（研修観）の転換を図り、個別最適な学びと協働的な学びの充実を通じた「主体的・対話的で深い学び」を実現します。
- (エ) 受講者が研修の成果を職務に生かすことができるようにするため、研修の企画段階において、研修の成果の確認方法を明確にします。
- (オ) 校内研修の重要性に鑑み、県教育委員会主催研修を充実させるとともに、校内研修の充実を図るため、学校等支援研修、定期訪問等を通じて、各学校における校内研修を支援します。

- (カ) 研修効果の最大化が図られるよう、集合（対面）型の研修だけでなく、リアルタイム配信型（同時双方向型）やオンデマンド配信型の研修を組み合わせるなど、実施方法の最適化を図ります。また、校長及び教員の多忙化や、研修の実施・受講に要する時間や資源を考慮しつつ、校外研修における研修内容の重点化や精選なども含め、効果的・効率的な研修の実施に努めます。
- (キ) 研修主催者が研修実施の妥当性や研修内容及び方法の改善点を確認するため、受講者に対するアンケート調査を実施し、研修を評価します。
- (ク) 「Plant 全国教員研修プラットフォーム」にて、研修を一元管理して情報を提供するとともに、研修受講履歴の記録や多種多様な研修動画コンテンツの活用を推奨し、校長及び教員の資質向上を支援します。また、研修ガイドブック（電子版）を作成し、研修について周知するとともに、総合教育センターウェブサイトや静岡県教育委員会 Facebook 等を通じて、研修情報を発信します。併せて、総合教育センターの研究事業の成果を学校に還元し、教育に関する諸課題の解決に向けた学校や教職員の取組を支援するため、研究報告会を開催します。

【校外研修】

採用時		基礎・向上期	充実・発展期	深化・熟練期
		教職経験 10 年程度		40 歳代半ば
基本研修	経験段階別研修	採用内定者研修		年次別研修 (初任者研修～中堅教諭等資質向上研修)
	職務別研修	キャリア開発研修Ⅰ キャリア開発研修Ⅱ		キャリア開発研修Ⅲ キャリア開発研修Ⅳ
		・教務主任、生徒指導主事等の各種主任が受講する研修 ・職に応じた研修		管理職対象の研修
専門研修		授業、生徒指導、教育業務、組織運営に関する基礎的、実践的な内容を扱う研修（主に希望研修）		教育業務、組織運営、学校経営のビジョンを実現、管理運営、人材育成に関する専門的、実践的な内容を扱う研修（主に推薦研修）
特別研修		大学、教職大学院、研究機関、民間企業、在外教育施設等へ一定期間派遣する研修		

校外研修と校内研修の往還
校内研修の充実

【校内研修】

- ・ 県教育委員会が指定する研修（年次別研修における校内研修／職務別研修等の伝達研修）
- ・ 自主的・主体的に計画する校内研修（教育委員会が学校等支援研修、定期訪問等を通じて支援）

(4) 実施研修

ア 新規研修

研修名	区分	形態	内容等	研修主催者
児童生徒性暴力等防止研修	悉	オ	児童生徒等の人権を守り、性暴力等を根絶するため、法律と性暴力等の実態に関する理解を深める研修	教育総務課 勤務条件・監察班
アンガーマネジメントのための職場づくり研修	悉	オ	児童生徒に安全安心な教育環境を提供するため、教職員がストレスフルな状況を理解し、相互にケアできるようなアンガーマネジメントがいかにされた職場をつくる研修	教育総務課 勤務条件・監察班
交通安全研修	悉	オ	交通ルールを守り、自らの意思で防止できる交通事故を撲滅するための研修	教育総務課 勤務条件・監察班
教職員支援機構常葉大学センター スクール・マネジメント研修	推	集	学校教育目標の実現に向けた課題解決能力を育成するため、学校管理職等を対象とした学校マネジメント研修	教育政策課 人権・教員育成班
企業の顧客対応に学ぶ保護者対応	希	リ	企業（日本マクドナルド株式会社）の顧客対応に学ぶことを通して、保護者とのより良い関係を構築するために必要な実践的なコミュニケーションスキルを習得する研修	教育政策課 人権・教員育成班
中学校教員を対象としたオンライン研修コンテンツ動画（静岡大学教科学研究開発センターとの連携研修）	希	オ	「新たな教師の学び」に対応する各教科等（社会、国語、数学、理科、音楽、美術、技術、家庭、体育・保健、外国語）の授業づくりに資する動画の視聴	教育政策課 人権・教員育成班
特別支援学校におけるＩＣＴ活用に関する研修	悉	集	特別支援学校におけるＩＣＴ活用の今後について知り、校内でのＩＣＴ活用の推進に生かす。（特別支援学校の情報担当者対象）	特別支援教育課 指導班
インクルーシブな教育の推進に向けて 私たちができること	希	集	「交流及び共同学習」についての事例紹介や意見交換から、インクルーシブ教育の推進に向けて教職員ができることの可能性を見出し、実践意欲を高めることを目的とした研修	総合教育センター 特別支援課
子どもの特性に応じたＩＣＴ活用～実践事例から学ぶ～	希	選択 集り	先進的な事例の理解を深めるとともに、研修員同士の協議を拡充し、実践の更なるヒントを得ることができる研修	総合教育センター 特別支援課
児童生徒のウェルビーイング向上を支える教職員のためのラーニング・セッションⅠ・Ⅱ	希	選択 集り	様々な立場の教職員による情報交換を通して、児童生徒のウェルビーイング実現のための理解を深める研修	総合教育センター SCoPE プロジェクトチーム
教育相談スキルアップ研修－事例から学ぶ学校カウンセリングスキル－	希	集	事例検討を通して学校カウンセリングスキルの理解を深め、教育相談的な関わり方を教育実践に生かそうとする意欲を高めるための研修	総合教育センター 教育相談課

イ 実施方法を最適化し、効果的・効率的な方法により実施する研修

研修名	区分	形態	内容等	オンライン 修了 認定	NITS 等 動画 活用	研修主催者
(県立学校)職場の 安全衛生管理者研修	悉	オ	講義 職場の安全衛生管理体制について	○		教育厚生課 健康・厚生班
(市町)職場の 安全衛生管理者研修	悉	オ	講義 職場の安全衛生管理体制について	○		教育厚生課 健康・厚生班
道德教育研修会	悉	オ	○道德教育推進に関する動画の視聴 ○自校の道德教育についてのアンケート	○		義務教育課 指導班
新任主幹教諭研修 (小中学校)	悉	併用 集オ	第1回…講義・演習 第2回…オンデマンド研修	○		義務教育課 人事班
(静西管内) 新任特別支 援学級担任研修会	悉	併用 集オ	I 期、II 期をオンライン研修にし、講 義内容をオンデマンドでいつでも視 聴できる。			義務教育課 静西教育事務所
特別支援学級担任研修 会(2年目)	悉	併用 リオ	3年間の継続研修として、研修内容 を自己選択する場を設定する。		○	義務教育課 静西教育事務所
(静西管内) 研修主任研 修会	悉	併用 集オ	事前動画(15～21分)の動画と結び 付けた講義、参集による参加型研修。			義務教育課 静西教育事務所
(静西管内) キャリア教 育研修会	悉	リ	講義(2本)とグループ別演習。			義務教育課 静西教育事務所
道德教育研修会	悉	オ	講義(15分～25分)3本	○		義務教育課 静西教育事務所
(静東管内) 新任特別支 援学級担任研修会	悉	併用 集リ	I 期、II 期をオンライン研修にし、III 期を集合型にする。			義務教育課 静東教育事務所
(静東管内) キャリア教 育研修会	悉	リ	講義とグループ別演習	○		義務教育課 静東教育事務所
任期付教員等研修(小 中)	希	併用 集リ	第1回、第3回を集合型、第2回をオ ンライン研修にする。			義務教育課 静東教育事務所
幼稚園・こども園及び小中 学校防災担当者研修会	悉	オ	所管事項説明／講師による講義／情 報提供”	○		健康体育課 危機管理・安全 班
高等学校防災担当者研 修会	悉	オ	所管事項説明／講師による講義／情 報提供”	○		健康体育課 危機管理・安全 班
特別支援学校防災担当 者研修会	悉	オ	所管事項説明／講師による講義／情 報提供”	○		健康体育課 危機管理・安全 班
小中学校学校安全教育 指導者研修会	悉	オ	所管事項説明／講師による講義／情 報提供”	○		健康体育課 危機管理・安全 班
初任者研修(小・中) ーセンター研修ー	悉	併用 集リ	2日連続の研修は、1日目をオンラ イン(リアルタイム)、2日目を集合 で実施する。	○		総合教育センター 研修課
公立高等学校初任者研 修	悉	併用 集リオ	2日連続の研修は、1日目をオンラ イン(リアルタイム・オンデマンド)、 2日目を集合で実施する。	○		総合教育センター 研修課
公立高等学校中堅教諭 等資質向上研修I期	悉	併用 集リオ	2日連続の研修は、1日目をオンラ イン(リアルタイム・オンデマンド)、 2日目を集合で実施する。	○		総合教育センター 研修課
特別支援学校中堅教諭 等資質向上研修I期	悉	併用 集リオ	2日連続の研修は、1日目をオンラ イン(リアルタイム・オンデマンド)、 2日目を集合で実施する。	○		総合教育センター 研修課
新規採用職員研修(小中 事務・司書)	悉	併用 集リオ	2日連続の研修は、1日目をオンラ イン(リアルタイム・オンデマンド)、 2日目を集合で実施する。	○		総合教育センター 研修課

新任校長研修（小・中）	悉	併用 集リオ	基本研修は、オンライン（リアルタイム・オンデマンド）で実施する。	○		総合教育センター 研修課
マネジメント講座１－ 危機管理と労務管理－	悉	リ	オンライン（リアルタイム・オンデマンド）で実施する。	○		総合教育センター 研修課
マネジメント講座２－ 学校事務理解－	悉	オ	個別の実務の場面で活用可能な資料 配信を行う等、実用性の高い研修を 実施する。	○		総合教育センター 研修課
生徒指導総合研修	推	併用 集リ	連続する集合研修を解消、令和７年 度は、６日間のうち、集合３日、オ ンライン３日で実施。			総合教育センター 小中学校支援課
日本の学校、なんでやね ん リターンズ	希	選択 集リ	学校教職員だけでなく多様な大人が 関わる教育活動の必要性について考 える研修を、ハイブリッド型で実施 する。	○		総合教育センター 総務企画・ICT 推 進課
教育相談スキルアップ 研修－保護者との効果 的な教育相談－	希	併用 集オ	オンデマンドで事前に知識の習得、 当日の集合研修で演習の形をとるこ とで、研修員の時間の制約を減らし て実施する。			総合教育センター 相談課
教育相談スキルアップ 研修－信頼関係を築く 教育相談の基本－	希	併用 集オ	オンデマンドで事前に知識の習得、 当日の集合研修で演習の形をとるこ とで、研修員の時間の制約を減らし て実施する。			総合教育センター 相談課
自閉症の児童生徒と関 わる先生のための指導 法	希	リ	講演に演習やグループワークも取り 入れており、自閉症の児童生徒の指 導に有効な手法についての理解を深 めることができる。	○		総合教育センター 特別支援課
知的障害のある子ども の算数（数学）の単元づ くり－子どもの思考に 沿った授業デザイナー	希	リ	令和７年度は算数（数学）の単元づ くり内容を変更し、リアルタイム 型で実施する。	○		総合教育センター 特別支援課
個別最適な学びと協働 的な学びの実現に向け た ICT の活用（実践編）	希	リ	幅広い視点で ICT を活用した「個別 最適な学び」と「協働的な学び」を 取入れた授業について考える研修を リアルタイムで行う。	○		総合教育センター SCoPE プロジェ クトチーム
国語科授業づくり研修 （小）～主体的・対話的 で深い学びの視点から 考える授業改善～	希	併用 リオ	研修員の参加のしやすさ等を考慮 し、オンデマンド視聴後にリアルタ イムを行う研修とした。	○		総合教育センター 小中学校支援課
情報モラル教育実践研 修	希	リ	実践的な内容についても理解を深め ることができる研修。研修員への負 担軽減を意識し、リアルタイム型で 実施する。	○		総合教育センター 小中学校支援課
社会科授業づくり研修 （中・高）	希	選択 集リ	主体的・対話的で深い学びを実現す る授業づくりと各分野の見方・考え 方について理解を深める研修をハイ ブリッド型で行う。	○		総合教育センター 高等学校支援課
CAN-DO リストに基づく 単元構想研修	希	リ	テストの作成だけでなく、指導に対 する内容も追加した。研修員が参加 しやすいように、リアルタイム型を 継続する。	○		総合教育センター 高等学校支援課
学級経営力向上研修	希	リ	研修員が課題解決のための具体的な 手立てについて展望できるように研 修を策定している。	○		総合教育センター 高等学校支援課

ウ 管理職を支援する研修

研修名	区分	形態	内容等	対象	研修主催者
マネジメント講座1－ 危機管理と労務管理－	悉	リ	■講義・演習 「学校における危機管理」(健康体育課) ■講義・演習 「教職員に必要な勤務服務」 (教育総務課勤務条件・監察班) ■講義・演習 「リスクと学校」 (静岡大学連携講座)	高等学校及び特別支援学校の校長、副校長、教頭及び部主事	総合教育センター 研修課
マネジメント講座2－ 学校事務理解－	悉	オ	■講義・演習 学校事務の業務内容／勤務時間に関する諸原則／給与に関する諸原則／旅行命令と服務管理／旅行命令と旅費支給	校長、教員(副校長、教頭、部主事、主幹教諭)	総合教育センター 研修課
マネジメント講座3－ 学校の経営ビジョンづくりと共有化－	希	集	■講演・演習 「学校の経営ビジョンづくりと共有化」 <外部講師> 兵庫教育大学大学院 特任教授 浅野 良一 氏	校長、教員(副校長、教頭、部主事、主幹教諭)	総合教育センター 研修課
管理職スキルアップ講座－学校の経営ビジョンづくりと共有化－	希	リ	若手管理職を対象に、学校組織マネジメント、経営ビジョンづくりと共有化についての理解を深め、学校経営(運営)に必要な組織運営力、教育業務遂行力の向上を図るための研修(マネジメント講座3と同内容)をリアルタイム型で実施する。	校長、教員(副校長、教頭、部主事、主幹教諭)	総合教育センター 研修課
マネジメント講座4－ 組織の活性化と管理者の役割－	希	集	■講義・演習 「学校組織の改善と活性化－管理職のリーダーシップと協働のマネジメント－」 <外部講師> 国士舘大学体育学部 教授 北神正行 氏	校長、教員(副校長、教頭、部主事、主幹教諭)	総合教育センター 研修課
マネジメント講座5－ 職場における人材育成－	希	集	■講義・演習・ワークショップ 「大人が育つ職場づくり」 <外部講師> 帝京大学大学院 准教授 町支 大祐 氏	校長、教員(副校長、教頭、部主事、主幹教諭)	総合教育センター 研修課
マネジメント講座6－ これからの学校における働き方改革－	希	集	■講義・演習 「これからの学校における働き方改革」 <外部講師> 帝京大学大学院 准教授 町支 大祐 氏	県立高等学校及び県立特別支援学校の校長、副校長及び教頭	総合教育センター 研修課 運営：高校教育課
【学校管理職対象】長時間勤務縮減に向けた働き方改革	希	オ	教員との合意の下、学校の長時間勤務縮減に向け、「働き方改革」の推進に資する研修動画を視聴する。	校長、副校長、教頭	教育DX推進課 DX企画班
【学校管理職対象】教員の成長を支援するメンタリングスキル向上研修	希	集	■講義・演習 「教員の成長を支援するメンタリング」 <外部講師> 常葉大学教職大学院 研究科長 久米 昭洋 氏	校長、副校長、教頭	教育政策課 人権・教員育成班
教職員支援機構常葉大学センター スクール・マネジメント研修	推	集	■講義・演習 「学校における人材開発と組織づくり」 ■講義・演習 「家庭や地域との連携協働による魅力ある学校づくり」 ■講義・演習 「学校教育目標を実現するためのアセスメント能力」 ■講義・演習 「所属校における課題の設定と解決策の立案」 ■実践報告と研修の振り返り	校長、副校長、教頭(推薦)	教育政策課 人権・教員育成班

【静岡県校長育成指標 ～校長に求められる資質能力～】

「有徳の人」を育み、誰一人取り残さない教育を実現するため、
学校の最高責任者として変化を恐れない積極性とリーダーシップを発揮し、
魅力ある学校づくりを推進する校長の育成を目指す

資質能力	項目	具体的行動例
学 校 経 営 の ビ ジ ョ ン を 実 現 す る 力	教職員、児童生徒、保護者、地域等に共有される学校経営のビジョンを示し、その実現のために、社会に開かれた教育課程を編成し、魅力ある学校づくりにリーダーシップを発揮し取り組んでいる。	
	情報の収集と課題等の把握(アセスメント能力)	○学校の実態（児童生徒の学習・生活、保護者・地域からの期待、地域社会の環境等）に関する情報を広く収集し、学校経営に関する課題等を的確かつ継続的に把握している。
	ビジョンの構築と共有	○社会の動向や国、県、市町の教育施策及び地域の期待や学校の実態を踏まえ、学校経営のビジョン（例：スクール・ポリシー、グランドデザイン等）を構築し、カリキュラム・マネジメントに反映させ、校内外（全ての教職員、児童生徒、保護者及び地域等）と共有している。
	必要な諸資源の把握とその活用(ファシリテーション能力)	○教育内容や時間を適切に配分し、地域の教育力をカリキュラムに取り入れた魅力ある教育活動を計画的に推進している。 ○コミュニティ・スクール等を通して、地域、他機関や家庭と渉外・調整を行い、必要な人的・物的な資源を活用し、協働体制を構築している。
	ビジョンの実現に向けた評価・点検及び改善	○ビジョンを明確に示し、実現に向かって、目標を具現化し、共有を図っている。学校全体でPDCAサイクルを確立し、教育効果を高めようと努めている。
管 理 運 営 力	児童生徒の実態や個々の教職員の状況を把握しながら、校務分掌等の組織をチームとして編成し、教育活動が計画的・効果的に行われるようにしている。	
	学校運営体制の確立	○チーム学校としての考え方を踏まえ、リーダーとして学校業務の改革・改善、外部機関との連携・外部人材の活用を図る等、教育活動が計画的・効果的に行われる体制を構築している。
	危機管理体制の確立	○幅広い危機管理の認識の下、リスクマネジメントの徹底に努めている。 ○児童生徒と教職員が、安全・安心な環境の中で教育活動に取り組めるように、情報収集力を高め、現状を分析し、その後の予測を立てた上で、関係機関と連携し、適切に判断している。 ○「命を守る教育」や危機管理を意識した組織的な活動を推進できるような体制を構築している。
	施設管理・事務管理	○施設・設備の管理、会計処理、事務手続き等、学校事務に関する的確に把握するとともに適切に指導をしている。
	教職員の勤務・サービスの管理・監督	○教職員の勤務状況及び心身の健康状態等を的確に把握し、適切な服務監督と人事管理に努めている。
人 材 育 成 力	教職員としての資質向上を支援するための体制づくり、環境づくり、人づくりを教職員の互いの協力を促しながら行っている。	
	教育活動活性化への体制づくり	○より質の高い教育活動を実現するために、教職員が意欲的に新たな指導方法等を学び続けることができる体制を構築している。
	働きやすい職場環境づくり	○教職員の間に、心理的安全性の高い、公正・公平の姿勢・態度、信頼・協働の関係が定着するような環境をつくっている。
	各教職員に対する理解・支援・育成	○教職員一人一人の資質能力やキャリア形成等を的確に把握するとともに、それぞれの背景・個性・考え方を理解した上で、指導・助言をしている。 ○教職員のキャリアステージを考慮し、校内での適材適所の人材配置をしている。

【静岡県教員育成指標】

静岡県教員育成指標（副校長、教頭、主幹教諭、教諭、養護教諭、栄養教諭等）

「有徳の人」を育み、誰一人取り残さない教育を実現するため、
生涯を通じて学び続け、子供たちの伴走者として夢の実現へと導く教員の育成を目指す

キャリア ステージ	採用時	基礎・向上期	充実・発展期	深化・熟練期
資質 能力	○教育に対する真摯な姿勢を持つとともに、求められる資質能力の基盤を形成しようと努める。	○他者との関わりや仕事上の経験を経て、教員としての資質能力の向上を目指す。 ○様々な学校の異動を経験する中で、視野を広げる。	基礎・向上期に身に付けた力に加え、 ○自らの立場や役割を自覚して学校運営に参画し、ミドルリーダーとしての資質能力の向上を目指す。 ○教員としての幅をさらに広げ、自己の強みを確かなものにする。	充実・発展期に身に付けた力に加え、 ○指導的な立場として、学校運営のサポート役や校内の人材育成の推進役を務めるとともに、専門性をより深め、自らの描いた理想とする教員像の実現を目指す。 ○学校運営をリードする立場として、組織的に教育活動を推進する体制を構築する。
	キャリアステージに応じて、実践・省察・改善を繰り返しながら、必要な資質能力を身に付ける			
教育的素養・総合的人間力		○教職人生を通して、教育者としての使命感、倫理観・人権意識、社会性、教育に対する誇りを持ち、新しい知識・技能を学び続け、子供への共感・理解や教育的愛情の涵養、信頼関係の構築を図っている。 ○教職人生を通して、真摯に学び続ける姿勢と自律心、変化を恐れない積極性とリーダーシップを持ち、広い視野と社会環境への理解を基に地域社会と関わり、豊かな人間性の向上を図っている。 ○「才徳兼備」の人づくりを担う一人として、常に児童生徒の模範となるよう行動している。		
授業力 授業づくりに関わる力		○学習指導要領の趣旨を踏まえ、指導内容や指導方法（ICTを活用した指導方法含む）について理解し、実践しようとしている。	○児童生徒の実態把握的確に行い、主体的・対話的で深い学びを実現するため、個別最適な学びや協働的な学びのある授業を実践している。 ○幼小中高の学びの継続性及び教科等横断的な視点を持った授業を実践している。 ○各教科等と地域の人的・物的資源をつなげ、学習成果を高める授業を構想し、ICTを効果的に活用し展開している。	○児童生徒個々の特性に合わせ、主体的・対話的で深い学びを実現するため、個別最適な学びや協働的な学びのある授業、幼小中高の学びの継続性と教科等横断的な視点を持った授業の実践を深めている。 ○専門性を高めるために得意分野の伸長を図り、同僚に対する指導・助言を行っている。 ○地域の人的・物的資源を有効活用し、高い学習効果を上げる授業を構想し、ICTを効果的に活用し展開している。
生徒指導力 児童生徒理解を深め、健全な成長を支援する力		○児童生徒の発達等に関する知識を得ることや、多様な児童生徒と接する経験を持つことなどを通して、児童生徒理解に努めるとともに、人権尊重の意識を深めている。	○児童生徒一人一人に取り巻き、環境を的確に捉え、理解を深めるとともに、よりよい集団づくりを促進し、個々の資質能力を最大限発揮させるための環境づくりに努めている。 ○保護者等との信頼関係を基盤とした個に応じた指導・支援に取り組んでいる。 ○特別支援教育の対象となる児童生徒一人一人に応じた指導計画を作成するとともに、合理的配慮を踏まえた的確な指導を行っている。	○変化を恐れない積極性とリーダーシップを持ち、授業力向上のための体制づくりに参画している。 ○自己の確かな実践に基づき、学校・家庭・地域の実態や特性等を踏まえ、児童生徒の資質能力を伸ばすためにICTの効果的な活用等、必要な指導計画の策定とその実践をリードしている。 ○同僚に的確な指導・助言を行い、効果を上げている。
教育業務遂行力 授業力、生徒指導力以外の専門的な力		○教員の仕事の全体像を認識し、教育に携わる者として、社会の変化や様々な教育課題等について関心と知識を持っている。	○様々な教育課題に対応するため必要な知識・技能を習得し、実践するとともに、常に改善意識を持って取り組んでいる。 ○常に安全確保に取り組み、危険を察知した際の報告・連絡・相談、事故等への対応、再発防止の実施が迅速にできている。	○児童生徒一人一人について、教職員相互の理解・支援を促進するために組織や地域・外部関係者に働き掛け、学年・学校全体として生徒を支援する機能の充実を図っている。 ○外部機関と連携して組織的な生徒指導を推進し、指導・助言を行っている。 ○児童生徒の社会的自立を目指す特別支援教育について、組織的に教育活動の改善を図っている。
組織運営力 組織目標を達成するために必要な力		○組織の一員としての自覚と責任、自ら進んで課題を発見し解決しようとする姿勢、聴く力や読み解く力などコミュニケーション力を身に付けている。	○様々な教育課題を速やかに把握し、率先・協働して改善・解決するとともに、同僚への指導・助言を行っている。 ○危険を予測した未然防止の取組、事故等への適切な対応、事後の検証と再発防止が、同僚と協働して組織的にできている。	○様々な教育課題に対して模範となる実践を行うとともに、学校全体を見据えて、魅力ある学校づくりを推進している。 ○危険の未然防止や事故等の再発防止のための体制整備を組織的に推進するとともに、適切な指導・助言を行っている。
組織運営力 組織目標を達成するために必要な力		○組織の一員として、学校経営計画の実現に向け、他の教職員と協働して自らの役割に課せられた責任を果たしている。 ○組織運営について先輩教職員から学ぶとともに、後輩のよい相談役となっている。	○学校経営計画の実現のための取組を、ミドルリーダーとして同僚に働き掛けて協働的に進めている。 ○教職員間の信頼に基づき、多様な意見を尊重して、リスク回避に努め、組織的な学校改善を推進している。	○学校運営上の課題を適時・的確に分析し、その解決のために指導的な立場で参画している。 ○チームとしての学校として協働的な組織体制・信頼体制の構築を主導的に推進している。危機管理を徹底させている。 ○人材育成の重要性を踏まえ自らの経験・スキルを率先して後進に伝えている。

2

研修一覽表

研修一覧表

研修主管課ごとに掲載しています。

各研修の詳細については、全国教員研修プラットフォーム（Plant）で御確認ください。



【総合教育センター 悉皆研修】

No.	研修名	開催日	研修日数	実施形態	研修主管課	電話番号
1	初任者研修（小・中）－センター研修－	5月～1月	9日	その他	義務教育課 人事班	054-221-3663
2	6年次研修（小・中）－センター研修－	5月～2月	2日	集合	義務教育課 人事班	054-221-3663
3	中堅教諭等資質向上研修（小・中）－センター研修－	5月～11月	5日	その他	義務教育課 人事班	054-221-3663
4	特別支援学校初任者研修－センター研修－	5月～1月	9日	集合	特別支援教育課 人事班	054-221-3150
5	特別支援学校2年次研修－センター研修－	5月22日(木)	1日	集合	特別支援教育課 人事班	054-221-3150
6	特別支援学校6年次研修－センター研修－	5月27日(火) 12月16日(火)	2日	集合	特別支援教育課 人事班	054-221-3150
7	特別支援学校中堅教諭等資質向上研修Ⅰ期－センター研修－	6月～11月	4日	その他	特別支援教育課 人事班	054-221-3150
8	特別支援学校中堅教諭等資質向上研修Ⅱ期－センター研修－	6月26日(木) 1月8日(木)	2日	集合	特別支援教育課 人事班	054-221-3150
9	公立高等学校初任者研修	5月～2月	10日	その他	総合教育センター 研修課	0537-24-9720
10	公立高等学校2年次研修	4月～2月	1日	集合	総合教育センター 研修課	0537-24-9720
11	公立高等学校3年次研修	4月～2月	1日	集合	総合教育センター 研修課	0537-24-9720
12	公立高等学校6年次研修	4月～2月	2日	集合	総合教育センター 研修課	0537-24-9720
13	公立高等学校7年次研修（自主研修）	4月～2月	－	－	総合教育センター 研修課	0537-24-9720
14	公立高等学校8年次研修	4月～2月	1日	集合	総合教育センター 研修課	0537-24-9720
15	公立高等学校中堅教諭等資質向上研修Ⅰ期	4月～2月	4日	その他	総合教育センター 研修課	0537-24-9720
16	公立高等学校中堅教諭等資質向上研修Ⅱ期	4月～2月	2日	集合	総合教育センター 研修課	0537-24-9720
17	公立高等学校フォローアップ研修	4月～2月	－	－	総合教育センター 研修課	0537-24-9720
18	キャリア開発研修Ⅰ（高・特）	11月19日(水)	1日	集合	総合教育センター 研修課	0537-24-9720
19	キャリア開発研修Ⅱ（高・特）	4月～2月	1日	その他	総合教育センター 研修課	0537-24-9720
20	新規採用職員研修（小中事務・司書）	4月～9月	5日	その他	総合教育センター 研修課	0537-24-9720
21	経験3年職員研修（小・中）	10月24日(金) 11月12日(水)	2日	集合	総合教育センター 研修課	0537-24-9720
22	教育行政新任職員研修	5月26日(月)	1日	集合	総合教育センター 研修課	0537-24-9720

研修一覧表

研修主管課ごとに掲載しています。

各研修の詳細については、全国教員研修プラットフォーム（Plant）で御確認ください。



【総合教育センター 悉皆研修】

No.	研修名	開催日	研修日数	実施形態	研修主管課	電話番号
23	教育キャリア開発セミナーⅠ	5月～9月	2日	その他	総合教育センター 研修課	0537-24-9720
24	教育キャリア開発セミナーⅡ	5月～8月	2日	その他	総合教育センター 研修課	0537-24-9720
25	教育キャリア開発セミナーⅢ	5月～1月	2日	集合	総合教育センター 研修課	0537-24-9720
26	公立高等学校教諭（実習）初任者研修	5月12日(月)	1日	集合	総合教育センター 高等学校支援課	0537-24-9760
27	新任校長研修（小・中）	4月	2日	その他	総合教育センター 研修課	0537-24-9720
28	新任教頭研修（小・中）	5月	2日	その他	総合教育センター 研修課	0537-24-9720
29	新任校長研修（高・特）	4月15日(火)	1日	その他	総合教育センター 研修課	0537-24-9720
30	新任副校長研修（高・特）	5月14日(水)	0.5日	集合	総合教育センター 研修課	0537-24-9720
31	新任教頭研修（高・特）	5月14日(水)	1日	集合	総合教育センター 研修課	0537-24-9720
32	研修主任研修（高）	4月16日(水)	0.5日	リアルタイム配信型	総合教育センター 研修課	0537-24-9720
33	高等学校保健体育科主任研修会	4月17日(木)	1日	リアルタイム配信型	総合教育センター 高等学校支援課	0537-24-9760
34	高等学校体育指導者講習会	8月5日(火)	1日	集合	総合教育センター 高等学校支援課	0537-24-9760
35	高等学校産業教育実技講習会（商業）	12月9日(火)	1日	集合	総合教育センター 高等学校支援課	0537-24-9760
36	農業・水産実習研修会	1月23日(金)	1日	集合	総合教育センター 高等学校支援課	0537-24-9760
37	静岡県の生徒指導研究協議会	静東5月21日(水) 静西5月26日(月)	1日	集合	総合教育センター 小中学校支援課	0537-24-9731
38	研修主任研修（特）	4月23日(水)	0.5日(PM)	リアルタイム配信型	総合教育センター 特別支援課	0537-24-9755
39	マネジメント講座Ⅰ－危機管理と労務管理－	9月10日(水)	1日	その他	総合教育センター 研修課	0537-24-9720
40	マネジメント講座Ⅱ－学校事務理解－	5月～12月	1日	オンデマンド配信型	総合教育センター 研修課	0537-24-9720
41	商業実習研修会	12月2日(火)	1日	集合	総合教育センター 高等学校支援課	0537-24-9760
42	工業実習研修会	12月2日(火)	1日	集合	総合教育センター 高等学校支援課	0537-24-9760
43	産業教育専門研修	6月17日(火) 12月23日(火)	2日	集合	総合教育センター 高等学校支援課	0537-24-9760
44	静岡県高等学校教育課程研究集会	7月～8月	9日	その他	総合教育センター 高等学校支援課	0537-24-9725

研修一覧表

研修主管課ごとに掲載しています。
各研修の詳細については、全国教員研修プラットフォーム（Plant）で御確認ください。



【総合教育センター 悉皆研修】						
No.	研修名	開催日	研修日数	実施形態	研修主管課	電話番号
45	公立高等学校任期付教員等研修	4月24日(木)	1日	集合	総合教育センター 研修課	0537-24-9720
46	小中学校体育指導者講習会(中学校)	静西8月1日(金) 静東8月5日(火)	0.5日	集合	総合教育センター 小中学校支援課	0537-24-9731

研修一覧表

研修主管課ごとに掲載しています。

各研修の詳細については、全国教員研修プラットフォーム（Plant）で御確認ください。



【総合教育センター 推薦研修】

No.	研修名	開催日	研修日数	実施形態	研修主管課	電話番号
1	キャリア開発研修Ⅰ（小・中）	静西11月18日(火) 静東11月26日(水)	1日	集合	総合教育センター 研修課	0537-24-9720
2	キャリア開発研修Ⅱ（小・中）	5月～2月	校外1日	その他	総合教育センター 研修課	0537-24-9720
3	生徒指導総合研修	7月～11月	6日	その他	総合教育センター 小中学校支援課	0537-24-9731
4	マネジメント研修	6月～12月	9日 ※事務は8日 ※高特は校外8日＋ 校内1日	その他	総合教育センター 研修課	0537-24-9720
5	公立高等学校会計年度任用職員（非常勤講師）研修	5月17日(土)	0.5日	集合	総合教育センター 研修課	0537-24-9720

研修一覧表

対象校種ごとに日付順で掲載しています。

各研修の詳細については、全国教員研修プラットフォーム（Plant）で御確認ください。

全国教員研修
プラットフォーム



【総合教育センター 希望研修】（小学校対象）										※6年次研修の選択研修は「基礎・向上期」から選択									
No.	研修名	開催日	研修日数	定員	実施形態	研修内容	資質能力				キャリアステージ				管理職等のみ対象 その他	研修主管課 電話番号			
							教育的素養・総合的人間力	授業力	生徒指導力	教育業務遂行力	組織運営力	基礎・向上期	充実・発展期	深化・熟練期			職務に応じた研修		
1	教育相談スキルアップ研修－信頼関係を築く教育相談の基本－	7月17日 (木)	1日	30	集合	<目標> ①教育相談の考え方や進め方について理解する。 ②児童生徒や保護者との信頼関係を築くために必要となる面接の知識や技能を理解する。 ③講義や演習で得た教育相談の基本を、今後の教育実践に生かそうとする意欲を高める。 <内容> 講義：「信頼関係を築く教育相談の基本姿勢」（オンデマンド：視聴及び事前課題） 演習：「面接相談の実際」（集合研修） ※オンデマンド・事前課題0.5日＋集合0.5日の1日研修です。 ※初任者研修と重複する内容がありますので、初任者の方は対象外とします。	○		◎				○	○				センター 教育相談課 0537-24-9735	
2	個別最適な学びと協働的な学びの実現に向けたICTの活用（実践編）	7月28日 (月)	0.5日 (PM)	100	リアルタイム配信型	<目標> ①「個別最適な学び」と「協働的な学び」の実現について理解を深める。 ②ICTを活用した「個別最適な学び」と「協働的な学び」を取り入れた授業構想の見通しをもつ。 ③自身が担当する授業において、ICTを活用した「個別最適な学び」と「協働的な学び」を取り入れようとする意欲を高める。 <内容> 講義：「個別最適な学びと協働的な学びの実現について」 講師：東京学芸大学 教授 北澤 武 氏 パネルディスカッション：「個別最適な学びと協働的な学びの実現を目指した授業実践」 協議：「資質・能力の育成につながるICTを活用した『個別最適な学び』と『協働的な学び』について」	○	◎					○					センター SCoPEプロジェクトチーム	
3	国語科授業づくり研修（小）～主体的・対話的で深い学びの視点から考える授業改善～	7月～11月	1日	30	オンデマンド配信型	<目標> ①国語科の授業構想についての知識を理解し、学習指導案を作成、修正することができる。 ②動画の視聴を通して得た知識を生かして授業の実践に向けての意欲をもち、授業改善の計画を立てることができる。 <内容> ①講義：「主体的・対話的で深い学びの視点から考える小学校国語科の授業づくりについて」 ②：①の内容を踏まえ、これまでに作成した学習指導案を見直し、修正する。	○	◎					○					センター 小中学校支援課 0537-24-9730	
4	小中学校体育指導者講習会	静西8月1日 (金) 静東8月5日 (火)	0.5日	280	集合	<目標> ①学習指導要領の内容の理解を深める。 ②学習指導要領の内容理解を踏まえ、授業改善の視点を明確にする。 ③講師より伝達される講義、実技、演習を通して、具体的な指導方法を学ぶ。 <内容> 講義・演習：「学習指導要領の内容、具体的な指導方法等」 講師：スポーツ庁主催の中央研修に参加した学校講師	○	◎					○					センター 小中学校支援課 0537-24-9731	

研修一覧表

対象校種ごとに日付順で掲載しています。
各研修の詳細については、全国教員研修プラットフォーム（Plant）で御確認ください。

全国教員研修
プラットフォーム



【総合教育センター 希望研修】（小学校対象）													※6年次研修の選択研修は「基礎・向上期」から選択									
No.	研修名	開催日	研修 日数	定員	実施 形態	研修内容	資質能力				キャリアステージ						管理職等のみ対象 その他	研修主管課 電話番号				
							教育的素養・総合的人間力	授業力	生徒指導力	教育業務遂行力	組織運営力	基礎・向上期	充実・発展期	深化・熟練期	職務に応じた研修							
5	小中学校外国語授業づくりスキルアップ研修	8月4日(月)	1日	50	集合	<目標> ①学習指導要領に対応した小中学校外国語教育における授業づくりの視点を定めることができる。 ②教材やICTを効果的に活用した単元構想や授業展開など、小中学校外国語教育の授業改善の具体を理解する。 ③外国語科の評価について学び、指導と評価の一体化を図った授業づくりについて理解を深める。 <内容> 講演：「指導と評価の一体化のための授業改善の視点」（仮） 演習：「コミュニケーションの目的、場面、状況等を明確にした単元構想」 講師：関西外国語大学英語キャリア学部 教授 直山 木綿子 氏	○	◎					○	○	○			センター 小中学校支援課 0537-24-9730				
6	情報モラル教育実践研修	8月4日(月)	0.5日 (AM)	32	リアルタイム配信型	<目標> ①学校における情報モラル教育の基本的な考え方の理解を図る。 ②情報モラル教育に関する実践的な指導方法の手掛かりを得る。 <内容> 講演・演習：「GIGAスクール1人1台端末下における情報モラル教育の進め方」（オンライン） 講師：静岡大学教育学部 准教授 塩田 真吾 氏	○		◎				○					センター 小中学校支援課 0537-24-9731				
7	小学校算数科授業づくり研修～「変化と関係」に焦点を当てた授業づくり～	8月5日(火)	1日	24	集合	<目標> ①学習指導要領における小学校算数科の指導の要点を理解する。 ②小学校算数科（変化と関係）における授業づくりのポイントを理解する。 ③学習指導案の検討を通して、教科指導力や授業構想力の向上のための手掛かりを得て、授業づくりに役立てようとする。 <内容> 講演：「全国学力・学習状況調査の結果から考えるこれからの算数授業～変化と関係領域の学習指導ポイント～」 演習：「算数科（変化と関係）における授業づくりのポイントを押さえた授業構想」 講師：国立教育政策研究所 学力調査官 直海 知子 氏	○	◎					○					センター 小中学校支援課 0537-24-9730				
8	知的障害のある子どもの算数（数学）の単元づくり～子どもの思考に沿った授業デザイナー～	8月5日(火)	0.5日 (PM)	100	リアルタイム配信型	<目標> ①学習指導要領に基づいた、知的障害のある子どもの算数（数学）の指導についての理解を深める。 ②得られた知識を基に、知的障害のある子どもの算数（数学）の単元づくりへ生かそうとする意欲を高める。 <内容> 講演・演習：「学習指導要領に基づく算数（数学）の授業づくり」 講師：静岡大学教育学部 准教授 山元 薫 氏	○	◎					○	○				センター 特別支援課 0537-24-9755				
9	各教科等を合わせた指導の授業づくり	8月8日(金)	0.5日 (PM)	100	リアルタイム配信型	<目標> ①各教科等を合わせた指導の授業づくりについて理解する。 ②得られた知識を基に、各教科等を合わせた指導の授業づくりへ生かそうとする意欲を高める。 <内容> 講演・演習：「各教科等を合わせた指導の授業づくり」 講師：植草学園短期大学 こども未来学科 特別教授 佐藤 慎二 氏	○	◎					○	○				センター 特別支援課 0537-24-9755				

研修一覧表

対象校種ごとに日付順で掲載しています。
各研修の詳細については、全国教員研修プラットフォーム（Plant）で御確認ください。



【総合教育センター 希望研修】（小学校対象）							※6年次研修の選択研修は「基礎・向上期」から選択												
No.	研修名	開催日	研修日数	定員	実施形態	研修内容	資質能力					キャリアステージ					管理職等のみ対象 その他	研修主管課 電話番号	
							教育的素養・総合的人間力	授業力	生徒指導力	教育業務遂行力	組織運営力	基礎・向上期	充実・発展期	深化・熟練期	職務に応じた研修				
10	児童生徒のウェルビーイング向上を支える教職員のためのラーニング・セッションⅠ	8月18日 (月)	0.5日 (PM)	50	ハイブリッド型	<目標> ①今後の教育改革の方向性や教職員に求められることについて理解する。 ②小中高特の学びの継続性や教科等横断的な視点といった広い視野をもって深く思考する。 ③講演や協議を日々の教育実践に生かそうとする意欲を高める。 <内容> 講演：「学力アセスメントの動向と展望」（仮） 講師：青山学院大学 教授 益川 弘如 氏 トーク・セッション：教職員、センター所員、その他事務局職員の混合グループ編成による座談会 受講は、ⅠまたはⅡ、Ⅰ及びⅡのいずれも可	○	○		◎		○	○	○					センター SCoPEプロジェクトチーム
11	SDGs教育推進研修	8月19日 (火)	0.5日 (PM)	60	ハイブリッド型	<目標> ①国際理解教育、SDGsについての理解を深める。 ②参加型手法を体験し、自校においてSDGs教育を導入する手がかりを得る。 ③自校においてSDGs教育を推進しようとする意欲を高める。 <内容> 講義・ワークショップ：「教室から広がるSDGsー持続可能な社会を実現する授業づくりー」 講師：JICA中部	○	○		◎			○	○	○				センター 総務企画・ICT推進課 0537-24-9706
12	マネジメント講座9ー教職員のための勤務・サービスー	8月19日 (火)	1日	無制限	リアルタイム配信型	<目標> ①教職員の勤務・サービスの基礎的知識を理解する。 ②教職員の勤務・サービスに関する実践的スキルについて理解を深める。 ③教職員の勤務・サービスに関する知識を職務の遂行に活用しようとする意欲を高める。 <内容> 講義・演習：「教職員の勤務・サービスについて（勤務規程・身分・勤務時間等）」 講義・演習：「教職員の勤務・サービスについて（休暇・休業）」 ※基礎・向上期、深化・熟練期の教職員も受講できる。	○			◎			○					センター 研修課 0537-24-9720	
13	社会科授業づくり研修（小）～子供が思考する授業づくり～	8月19日 (火)	1日	35	集合	<目標> ①学習指導要領における授業改善のポイントについて理解を深める。 ②子供が思考する授業づくりに必要な視点や方法についての理解を深める。 ③単元構想や授業構想の手掛かりを得る。 <内容> 講演：「子供が思考する授業づくり」（オンライン） 講師：文部科学省 初等中等教育局教育課程課 教科調査官 小倉 勝登 氏 講義・演習：「授業改善、授業構想のポイント」「知識構成型ジグソー法」「子供が思考する授業づくり」	○		◎				○					センター 小中学校支援課 0537-24-9730	

研修一覧表

対象校種ごとに日付順で掲載しています。
各研修の詳細については、全国教員研修プラットフォーム（Plant）で御確認ください。

全国教員研修
プラットフォーム



【総合教育センター 希望研修】（小学校対象）													※6年次研修の選択研修は「基礎・向上期」から選択									
No.	研修名	開催日	研修 日数	定員	実施 形態	研修内容	資質能力				キャリアステージ					管理職等のみ対象 その他	研修主管課 電話番号					
							教育的素養・総合的人間力	授業力	生徒指導力	教育業務遂行力	組織運営力	基礎・向上期	充実・発展期	深化・熟練期	職務に応じた研修							
14	中学校数学科授業づくり研修～関数領域の指導と評価～	8月19日 (火)	1日	24	集合	<目標> ①学習指導要領における中学校数学科の指導の要点を理解する。 ②中学校数学科（関数領域）における授業づくりのポイントを理解する。 ③学習指導案の検討を通して、教科指導力や授業構想力の向上のための手掛かりを得て、授業づくりに役立てようとする。 <内容> 講演：「中学校数学科における授業づくりのポイントについて～関数領域の指導と評価～」（オンライン） 講義・演習：「数学科（関数領域）における授業づくりのポイントを押さえた授業構想」 講師：文部科学省 初等中等教育局 視学官 水谷 尚人 氏	○	◎				○						センター 小中学校支援課 0537-24-9730				
15	中学校理科教材づくり研修（観察・実験：地球・粒子領域）	8月19日 (火)	1日	20	集合	<目標> ①中学校理科の基礎的な観察・実験方法や、授業における教材・教具の扱い方に関する知識・技能を習得する。 ②学習指導要領における授業改善のポイントについて理解を深める。 ③理科教育における今日的な課題や動向について関心をもち、授業改善への意欲を高める。 <内容> 講演：「探究の過程を意識した理科の授業デザイン」 講師：文部科学省 国立教育政策研究所 教育課程調査官 小林 一人 氏 演習：観察・実験の教材づくり（今年度は、「地球領域」・「粒子領域」の内容を扱います。） ※「地球領域」については、地学分野のモデル実験や化石の観察等を行う予定です。「粒子領域」については、化学変化とイオンについての化学実験を行う予定です。	○	◎				○	○	○			センター 小中学校支援課 0537-24-9730					
16	図画工作科・美術科授業づくり研修～表現と鑑賞を関連させた題材構想～	8月19日 (火)	1日	20	集合	<目標> ①学習指導要領を基に、表現と鑑賞を関連させた題材構想について理解する。 ②身近な美術作品を活用し、表現と鑑賞を関連させた題材を構想することで、学習効果を高める授業展開について考える。 <内容> 講演・演習：「県立美術館作品を使った鑑賞の活動」 講師：県立美術館学芸課主任 山本 勇実 氏 講義：「学習指導要領に基づく図画工作科・美術科授業の授業について」 演習：「表現と鑑賞を関連させた題材構想」	○	◎				○					センター 小中学校支援課 0537-24-9731					
17	家庭科授業づくり研修（小・中）－衣生活の指導の充実を目指して－	8月19日 (火)	0.5日 (PM)	35	集合	<目標> ①学習指導要領における家庭科の指導の要点を理解する。 ②学習過程を基にした題材構想や授業構想の手掛かりを得る。 <内容> 講演・演習：「浴衣の着付け」 講師：日本和装 増田 清美 氏 講義・演習：「衣生活に係る項目における題材構想」	○	◎				○					センター 小中学校支援課 0537-24-9731					

研修一覧表

対象校種ごとに日付順で掲載しています。
各研修の詳細については、全国教員研修プラットフォーム（Plant）で御確認ください。



【総合教育センター 希望研修】（小学校対象）														※6年次研修の選択研修は「基礎・向上期」から選択									
No.	研修名	開催日	研修日数	定員	実施形態	研修内容	資質能力					キャリアステージ					管理職等のみ対象	研修主管課 電話番号					
							教育的素養・総合的人間力	授業力	生徒指導力	教育業務遂行力	組織運営力	基礎・向上期	充実・発展期	深化・熟練期	職務に応じた研修	その他							
18	学校体育実技（武道）認定講習	8月19日（火） ～8月21日（木）	3日	20	集合	<目標> ①武道（柔道）の指導に関する知識や理解を深める。 ②武道（柔道）の指導に関する自己の課題を明確にする。 ③武道（柔道）の技術を向上させる（昇段する）。 <内容> 講演・実習：「武道（柔道）の指導法」 講師：静岡県柔道協会講師	○	◎				○						センター 小中学校支援課 0537-24-9731					
19	インクルーシブな教育の推進に向けて 私たちができること	8月19日（火）	1日	100	集合	※基礎・向上期の教員においては、「交流及び共同学習」を推進している教員 <目標> ①インクルーシブな教育の推進についての基本的な知識や理念を理解する。 ②「交流及び共同学習」の実践事例を参考に、インクルーシブな教育の推進に向けて、教職員ができることの可能性を見出すと共に、実践への意欲を高める。 <内容> 講演：「インクルーシブな教育の推進に向けて 私たちができること」 講師：独立行政法人 国立特別支援教育総合研究所 インクルーシブ教育システム推進センター センター長 久保山 茂樹 氏 実践紹介：県内の小学校、中学校、高等学校、特別支援学校より「交流及び共同学習」に関する実践発表 シンポジウム：「インクルーシブな教育の推進に向けて 私たちができること」 講義：「「共生・共育」（静岡県版インクルーシブ教育システム）の在り方について」		◎				○	○	○	○	○		センター 特別支援課 0537-24-9755					
20	不登校に対するチーム支援の在り方	8月21日（木）	1日	36	集合	<目標> ①不登校の早期発見・早期対応について理解する。 ②不登校の組織的な対応について理解する。 ③講義や演習で得た不登校に対するチーム支援の在り方を、今後の教育実践に生かそうとする意欲を高める。 <内容> 講義・演習：「チームで支援する不登校」（不登校の早期発見・早期対応 組織的対応模擬ケース会議）	○					◎		○	○			センター 教育相談課 0537-24-9735					
21	プログラミング教育実践研修	8月22日（金）	0.5日（AM）	24	集合	<目標> ①学校におけるプログラミング教育の基本的な考え方の理解を図る。 ②教科等でのプログラミング教育の指導方法を知る。 ③プログラミング教育の演習を通して、簡単なプログラムを組む技能を身に付ける。 <内容> 講演：「小中学校でのプログラミング教育のねらいについて」 演習・実習：「各学校・各教科等でのプログラミング教育」 講師：静岡大学情報学部 准教授 遠山 紗矢香 氏	○	◎					○					センター 小中学校支援課 0537-24-9731					

研修一覧表

対象校種ごとに日付順で掲載しています。
各研修の詳細については、全国教員研修プラットフォーム（Plant）で御確認ください。



【総合教育センター 希望研修】（小学校対象）										※6年次研修の選択研修は「基礎・向上期」から選択									
No.	研修名	開催日	研修日数	定員	実施形態	研修内容	資質能力					キャリアステージ					管理職等のみ対象 その他	研修主管課 電話番号	
							教育的素養・総合的人間力	授業力	生徒指導力	教育業務遂行力	組織運営力	基礎・向上期	充実・発展期	深化・熟練期	職務に応じた研修				
22	学級経営力向上研修	8月22日 (金)	1日	120	リアルタイム配信型	<目標> ①学級経営を向上させるための基本的な考え方を理解する。 ②学級経営上の課題解決のための具体的な手立てを理解する。 ③良好な学級経営に向けた指導技術等を活用する意欲を高める。 <内容> 講師：鳴門教育大学大学院学校教育研究科 久我 直人 氏 講義・演習①：「支え合い、学び合う学級をつくる教師の在り方」 講義・演習②：「子どもの内面理解に基づく学級経営」 グループワーク（研修成果の共有）	○		◎			○						センター 高等学校支援課 0537-24-9763	
23	音楽科授業づくり研修～日本の伝統音楽の指導法～	8月22日 (金)	1日	20	集合	<目標> ①伝統音楽の指導法についての講演を通して教科領域専門性を高め、授業構想についての知識や技能を習得する。 ②講演・演習で得た知識や技能を授業に活用する意欲を高める。 <内容> 講演・演習：「日本の伝統音楽の指導法」（仮） 講師：文部科学省 初等中等教育局 視学官 志民 一成 氏	○		◎			○						センター 小中学校支援課 0537-24-9731	
24	自閉症の児童生徒と関わる先生のための指導法	8月22日 (金)	1日	100	リアルタイム配信型	<目標> ①自閉スペクトラム症の障害特性について理解することができる。 ②得られた知識を基に、自閉スペクトラム症の児童生徒への具体的な支援方法について、本人の立場に立って検討することができる。 <内容> 講演：「自閉スペクトラム症の障害特性の理解」 演習・グループワーク：「自閉スペクトラム症の児童生徒に対する具体的な支援の検討」 講師：一般社団法人たけのこ 理事・統括管理責任者 公益社団法人子どもの発達科学研究所 主任研究員 弓削 香織 氏	○		◎	○		○	○					センター 特別支援課 0537-24-9755	
25	授業の基礎技術研修	8月25日 (月)	0.6日	20	集合	<目標> ①発問、指示、教材の効果的な提示における授業技術を理解する。 ②発問、指示、教材の効果的な提示における改善の視点を得て、児童生徒の実態に即した学習環境の整備について深く思考する。 ③発問、指示、教材の効果的な提示における自己課題を把握し、授業技術の向上に向けた意欲を高める。 <内容> 講義：「授業の基礎技術」 演習・協議：「模擬授業」 事前課題：動画視聴（約30分）	○		◎			○						センター 小中学校支援課 0537-24-9731	

研修一覧表

対象校種ごとに日付順で掲載しています。
各研修の詳細については、全国教員研修プラットフォーム（Plant）で御確認ください。



【総合教育センター 希望研修】（小学校対象）													※6年次研修の選択研修は「基礎・向上期」から選択									
No.	研修名	開催日	研修日数	定員	実施形態	研修内容	資質能力					キャリアステージ					管理職等のみ対象 その他	研修主管課 電話番号				
							教育的素養・総合的人間力	授業力	生徒指導力	教育業務遂行力	組織運営力	基礎・向上期	充実・発展期	深化・熟練期	職務に応じた研修							
26	困難さを抱える子どものケース会議の進め方	8月26日(木)	1日	60	集合	<目標> ①困難さを抱える子どものニーズの把握と支援についての理解を深める。 ②特別支援教育に関わる連携機関について理解を深め、必要な時に活用できるようにする。 ③ケース会議の開き方や進め方について理解し、今後の実践に生かそうとする意欲を高める。 <内容> 講演：「ケース会議について ～困難さを抱える子どものニーズの把握と支援～」 演習：「効果的なケース会議の進め方 ～持参事例について考える～」 講師：静岡大学 教育学部 教授 香野 毅氏	○		◎					○	○				センター 特別支援課 0537-24-9755			
27	マネジメント講座10ー学校事故と情報公開ー	8月～11月	1日	無制限	オンデマンド配信型	<目標> ①法的視点に立った学校事故の予防と対応について理解する。 ②情報公開制度と個人情報保護の基本について理解を深める。 ③学校事故と情報公開に関する知識を職務の遂行に活用しようとする意欲を高める。 <内容> 講義・演習：①「学校事故の予防と対応」 講義・演習：②「情報の管理と公開方法」 ※基礎・向上期、深化・熟練期の教職員も受講できる。	○		◎	○				○				センター 研修課 0537-24-9720				
28	特別支援教育における子どもの特性に応じたICT活用～実践事例から学ぶ～	9月2日(火)	1日	100	ハイブリッド型	<目標> ①特別な支援を必要とする子どもの特性に応じたICT活用について基本的な考え方や方法を理解する。 ②子どもの特性に応じたICT活用の実践事例を参考に、実践への意欲を高める。 <内容> 講演・グループワーク：「子どもの特性に応じたICT活用」 講師：山口県立大学 社会福祉学部 講師 山崎 智仁 氏 実践紹介：県内の特別支援学校、特別支援学級よりICT活用の実践発表	○	◎						○	○	○		センター 特別支援課 0537-24-9755				
29	小学校理科教材づくり研修（観察・実験：エネルギー・生命領域）	9月5日(金)	1日	20	集合	<目標> ①小学校理科の基礎的な観察・実験方法や、授業における教材・教具の扱い方に関する知識・技能を習得する。 ②学習指導要領における授業改善のポイントについて理解を深める。 ③理科教育における今日的な課題や動向について関心を持ち、授業改善への意欲を高める。 <内容> 講演：「問題解決の力を育む理科の授業づくり～問題を見いだす力の育成を中心に～」 講師：文部科学省 初等中等教育局 教育課程課 教科調査官 有本 淳 氏 演習：観察・実験の教材づくり（今年度は、「エネルギー領域」・「生命領域」の内容を扱います。） ※「エネルギー領域」については、光や電気についての物理実験を行う予定です。「生命領域」については、顕微鏡を用いた観察等を行う予定です。	○	◎						○	○	○		センター 小中学校支援課 0537-24-9730				

研修一覧表

対象校種ごとに日付順で掲載しています。
各研修の詳細については、全国教員研修プラットフォーム（Plant）で御確認ください。

全国教員研修
プラットフォーム



【総合教育センター 希望研修】（小学校対象）														※6年次研修の選択研修は「基礎・向上期」から選択									
No.	研修名	開催日	研修 日数	定員	実施 形態	研修内容	資質能力					キャリアステージ					管理職等のみ対象 その他	研修主管課 電話番号					
							教育的素養・総合的人間力	授業力	生徒指導力	教育業務遂行力	組織運営力	基礎・向上期	充実・発展期	深化・熟練期	職務に応じた研修								
30	教育相談スキルアップ研修－事例から学ぶ学校カウンセリングスキル－	9月19日 (金)	1日	50	集合	<目標> ①教育相談において必要な学校カウンセリングスキルを理解する。 ②事例検討を通して学校カウンセリングスキルの理解を深める。 ③講演や演習で得た教育相談的な関わり方を、今後の教育実践に生かそうとする意欲を高める。 <内容> 講演・演習：「事例から学ぶ学校カウンセリングスキル」（カウンセリングスキル 個に応じた指導 事例検討） 講演講師：静岡大学教育学部 講師 村上 広美 氏	○		◎			○	○					センター 教育相談課 0537-24-9735					
31	紙とデジタルのベストミックスで情報活用能力を育む授業づくり 学校図書館活用研修	9月26日 (金)	1日	30	集合	<目標> ①学校図書館の活用が児童生徒の自発的、主体的な学習活動につながることを理解することができる。 ②学校図書館内外の資料・情報を活用した学び方について、理解し、実践する手立てをつかむ。 ③学校図書館内外の資料・情報を活用した学習指導や教科指導について実際の指導方法をつかむ。 <内容> 講義・演習：「紙とデジタルのベストミックスによる授業づくり」（仮） 講師：青山学院大学 准教授 庭井 史絵 氏 講義：「著作権と教育活動・学校図書館」 講師：静岡県立中央図書館 調査課	○		◎			○	○	○				センター 総務企画・ICT推進課 0537-24-9715					
32	多様な背景を持つ児童生徒の支援－関係機関との連携の在り方－	9月30日 (火)	1日	40	集合	<目標> ①多様な背景を持つ児童生徒について理解する。 ②多様な背景を持つ児童生徒に対する、関係機関と連携した支援方法について理解する。 ③講演等で得た関係機関と連携した支援方法について、今後の教育実践に生かそうとする意欲を高める。 <内容> 講演：「多様な背景をもつ児童生徒の理解」（発達障害、ヤングケアラー、宗教2世、精神疾患などの理解と支援） 講師：静岡大学大学院グローバル共創科学領域 教授 江口 昌克 氏 講義：「SSW（スクールソーシャルワーカー）から見た学校・家庭・福祉との連携」（関係機関との連携 相談支援体制の構築） 講師：静岡県SSW 富井 直美 氏	○		◎				○	○				センター 教育相談課 0537-24-9735					
33	管理職スキルアップ講座－学校の経営ビジョンづくりと共有化－	10月1日 (水)	1日	無制限	リアルタイム配信型	<目標> ①経営ビジョンづくりと共有化における着眼点を理解する。 ②学校の内外資源を活用した、経営ビジョン構築の見通しをもつ。 ③学校マネジメントを取り入れた本校の経営・運営に対する意欲を高める。 <内容> 講演・演習：「学校の経営ビジョンづくりと共有化」 講師：兵庫教育大学大学院 特任教授 浅野 良一 氏	○		○	◎			○	○		★	センター 研修課 0537-24-9720						

研修一覧表

対象校種ごとに日付順で掲載しています。
各研修の詳細については、全国教員研修プラットフォーム（Plant）で御確認ください。

全国教員研修
プラットフォーム



【総合教育センター 希望研修】（小学校対象）														※6年次研修の選択研修は「基礎・向上期」から選択									
No.	研修名	開催日	研修 日数	定員	実施 形態	研修内容	資質能力					キャリアステージ					管理職等のみ対象 その他	研修主管課 電話番号					
							教育的素養・総合的人間力	授業力	生徒指導力	教育業務遂行力	組織運営力	基礎・向上期	充実・発展期	深化・熟練期	職務に応じた研修								
34	マネジメント講座3ー学校の経営ビジョンづくりと共有化ー	10月1日 (水)	1日	60	集合	<目標> ①経営ビジョンづくりと共有化における着眼点を理解する。 ②学校の内外資源を活用した、経営ビジョン構築の見通しをもつ。 ③学校マネジメントを取り入れた自校の経営・運営に対する意欲を高める。 <内容> 講演：「学校の経営ビジョンづくりと共有化」 講師：兵庫教育大学大学院 特任教授 浅野良一 氏	○			○	◎			○	○		★	センター 研修課 0537-24-9720					
35	SEL（社会性と情動の学習-Social and Emotional Learning-）を生かした不登校の未然防止	10月24日 (金)	1日	50	集合	<目標> ①不登校の未然防止につながる児童生徒の実情や、SELについて理解する。 ②児童生徒理解のための新たな視点を習得する。 ③講演や演習で得た不登校の未然防止のための知識や視点を、今後の教育実践に生かそうとする意欲を高める。 <内容> 講演・演習：「SELを生かした不登校の未然防止」（社会情動的スキル レジリエンス） 講師：静岡大学教育学部 教授 小林 朋子氏	○			◎			○	○					センター 教育相談課 0537-24-9735				
36	マネジメント講座4ー組織の活性化と管理者の役割ー	10月28日 (火)	1日	60	集合	<目標> ・組織を活性化するための、管理者の役割を理解する。 ・学校組織の特徴を踏まえた、組織活性化のためのビジョン構築の見通しをもつ。 ・学校マネジメントを取り入れた自校の経営・運営に対する意欲を高める。 <内容> 講演：「学校組織の改善と活性化ー管理職のリーダーシップと協働のマネジメントー」 講師：国士舘大学体育学部 教授 北神 正行 氏	○			○	◎			○	○		★	センター 研修課 0537-24-9720					
37	特別の教科 道徳授業づくり研修	静西10月29日(水) 静東10月31日(金)	1日	70	集合	<目標> ①講義により、小中学校における特別の教科道徳の授業づくりについて理解する。 ②教材分析シートを活用して、教材の特性を生かした中心発問づくりの手掛かりを得る。 ③1時間の授業構想と協議を通じて、「多面的・多角的な見方」の視点からの授業構想について視野を広げる。 <内容> 講義：「特別の教科 道徳の授業づくり」 「子供の成長を促すための評価」 演習：「教材分析シートを用いた中心発問づくり」「授業構想と協議」	○	◎					○					センター 小中学校支援課 0537-24-9730					

研修一覧表

全国教員研修
プラットフォーム



対象校種ごとに日付順で掲載しています。
各研修の詳細については、全国教員研修プラットフォーム（Plant）で御確認ください。

【総合教育センター 希望研修】（小学校対象）													※6年次研修の選択研修は「基礎・向上期」から選択									
No.	研修名	開催日	研修 日数	定員	実施 形態	研修内容	資質能力					キャリアステージ					管理職等のみ対象 その他	研修主管課 電話番号				
							教育的素養・総合的人間力	授業力	生徒指導力	教育業務遂行力	組織運営力	基礎・向上期	充実・発展期	深化・熟練期	職務に応じた研修							
38	教育相談スキルアップ研修ー保護者との効果的な教育相談ー	11月12日 (水)	1日	40	集合	<目標> ①教育相談の考え方や進め方についてより深く理解する。 ②保護者と信頼関係を築くために必要となる教育相談的な関わり方について理解する。 ③講義や演習で得た保護者との教育相談的な関わり方を、今後の教育実践に生かそうとする意欲を高める。 <内容> 講義：「保護者との教育相談的な関わり方について」（オンデマンド：視聴及び事前課題） 演習：「保護者と良好な信頼関係を築くための教育相談的な関わり方の実際」（集合研修） ※オンデマンド・事前課題0.5日＋集合0.5日の1日研修です。 ※演習は担任向けの内容になりますので、養護教諭の方は対象外とします。	○			◎				○	○			センター 教育相談課 0537-24-9735				
39	日本の学校、なんでやねん リターンズ	11月13日 (木)	0.5日 (PM)	60	ハイブリッド型	<目標> ①教育に多様な大人が関わることの意義を理解できる。 ②学校が果たすべき役割について再考し、業務改善への視点をもつ。 ③自校の課題を見出し、その解決に向け地域や家庭と連携・協働する意欲を高める。 <内容> 講義：「学校と地域の連携・協働のしくみ」（仮） 講師：静岡県教育委員会 義務教育課・社会教育課 講義：「日本の学校、なんでやねん」（仮） 講師：京都精華大学 教授 ウスビ・サコ氏 グループ別協議 質疑応答	◎				○			○	○			センター 総務企画・ICT 推進課 0537-24-9715				
40	児童生徒のウェルビーイング向上を支える教職員のためのラーニング・セッションⅡ	12月9日 (火)	0.5日 (PM)	50	ハイブリッド型	<目標> ①今後の教育改革の方向性や教職員に求められることについて理解する。 ②小中高特の学びの継続性や教科等横断的な視点といった広い視野をもって深く思考する。 ③講演や協議を日々の教育実践に生かそうとする意欲を高める。 <内容> 講演：「児童生徒の学習過程についてリフレクションする持続的で協働的な授業研究」（仮） 講師：国立教育政策研究所 総括研究官 白水 始 氏 トーク・セッション：教職員、センター所員、その他事務局職員の混合グループ編成による座談会 受講は、ⅠまたはⅡ、Ⅰ及びⅡのいずれも可	○	○		◎				○	○	○			センター SCoPEプロ ジェクトチーム			

研修一覧表

対象校種ごとに日付順で掲載しています。
各研修の詳細については、全国教員研修プラットフォーム（Plant）で御確認ください。



【総合教育センター 希望研修】（小学校対象）													※6年次研修の選択研修は「基礎・向上期」から選択				
No.	研修名	開催日	研修日数	定員	実施形態	研修内容	資質能力				キャリアステージ				管理職等のみ対象	研修主管課 電話番号	
							教育的素養・総合的人間力	授業力	生徒指導力	教育業務遂行力	組織運営力	基礎・向上期	充実・発展期	深化・熟練期			職務に応じた研修 その他
41	人権課題を「知る」「見つめる」「感じる」研修	12月12日 (金)	0.5日 (PM)	30	リアルタイム配信型	<目標> ①人権教育の基本的な知識を得る。 ②教職員自身の人権感覚を高める契機を得る。 ③児童生徒教職員の人権を尊重した学校環境づくりについて、見通しをもつ。 <内容> 講義①：「本県の人権教育推進の取組について」 講師①：教育政策課 人権・教員育成班 講義②：「外国にルーツをもつ子どもたちの教育課題について」 講師②：静岡文化芸術大学 文化政策学部 国際文化学科 准教授 佐伯 康考 氏 協議：「人権感覚あふれる学校・学級づくりのためにできることは何か」	○		◎			○	○	○			センター 高等学校支援課 0537-24-9760
42	マネジメント講座5－職場における人材育成－	1月16日 (金)	1日	70	集合	<目標> ①人材育成に関する必要な知識・技能について理解を深める。 ②自校における人材育成上の課題を明確にする。 ③自校の経営・運営に資する人材育成に取り組む意欲を高める。 <内容> 講義・演習：「大人が育つ職場づくり」 講師：帝京大学大学院 准教授 町支 大祐 氏	○			○	◎			○	○	★	センター 研修課 0537-24-9720

研修一覧表

対象校種ごとに日付順で掲載しています。
各研修の詳細については、全国教員研修プラットフォーム（Plant）で御確認ください。



【センター 希望研修】（中学校対象）													※6年次研修の選択研修は「基礎・向上期」から選択									
No.	研修名	開催日	研修 日数	定員	実施 形態	研修内容	資質能力					キャリアステージ					管理職等のみ対象 その他	研修主管課 電話番号				
							教育的素養・総合的人間力	授業力	生徒指導力	教育業務遂行力	組織運営力	基礎・向上期	充実・発展期	深化・熟練期	職務に応じた研修							
1	教育相談スキルアップ研修－信頼関係を築く教育相談の基本－	7月17日 (木)	1日	30	集合	<目標> ①教育相談の考え方や進め方について理解する。 ②児童生徒や保護者との信頼関係を築くために必要となる面接の知識や技能を理解する。 ③講義や演習で得た教育相談の基本を、今後の教育実践に生かそうとする意欲を高める。 <内容> 講義：「信頼関係を築く教育相談の基本姿勢」（オンデマンド：視聴及び事前課題） 演習：「面接相談の実際」（集合研修） ※オンデマンド・事前課題0.5日＋集合0.5日の1日研修です。 ※初任者研修と重複する内容がありますので、初任者の方は対象外とします。	○		◎				○	○					センター 教育相談課 0537-24-9735			
2	個別最適な学びと協働的な学びの実現に向けたICTの活用（実践編）	7月28日 (月)	0.5日 (PM)	100	リアルタイム配信型	<目標> ①「個別最適な学び」と「協働的な学び」の実現について理解を深める。 ②ICTを活用した「個別最適な学び」と「協働的な学び」を取り入れた授業構想の見通しをもつ。 ③自身が担当する授業において、ICTを活用した「個別最適な学び」と「協働的な学び」を取り入れようとする意欲を高める。 <内容> 講義：「個別最適な学びと協働的な学びの実現について」 講師：東京学芸大学 教授 北澤 武 氏 パネルディスカッション：「個別最適な学びと協働的な学びの実現を目指した授業実践」 協議：「資質・能力の育成につながるICTを活用した『個別最適な学び』と『協働的な学び』について」	○		◎					○				センター SCoPEプロジェクトチーム				
3	国語科授業づくり研修（小）～主体的・対話的で深い学びの視点から考える授業改善～	7月～11月	1日	30	オンデマンド配信型	<目標> ①国語科の授業構想についての知識を理解し、学習指導案を作成、修正することができる。 ②動画の視聴を通して得た知識を生かして授業の実践に向けての意欲をもち、授業改善の計画を立てることができる。 <内容> ①講義：「主体的・対話的で深い学びの視点から考える小学校国語科の授業づくりについて」 ②：①の内容を踏まえ、これまでに作成した学習指導案を見直し、修正する。	○		◎					○				センター 小中学校支援課 0537-24-9730				
4	小中学校体育指導者講習会	静西8月1日 (金) 静東8月5日 (火)	0.5日	280	集合	<目標> ①学習指導要領の内容の理解を深める。 ②学習指導要領の内容理解を踏まえ、授業改善の視点を明確にする。 ③講師より伝達される講義、実技、演習を通して、具体的な指導方法を学ぶ。 <内容> 講義・演習：「学習指導要領の内容、具体的な指導方法等」 講師：スポーツ庁主催の中央研修に参加した学校講師 ※経験年数や年齢により一部悉皆対象となる。詳細はPlant参照。	○		◎					○				センター 小中学校支援課 0537-24-9731				

研修一覧表

対象校種ごとに日付順で掲載しています。
各研修の詳細については、全国教員研修プラットフォーム（Plant）で御確認ください。



【センター 希望研修】（中学校対象）							※6年次研修の選択研修は「基礎・向上期」から選択										
No.	研修名	開催日	研修 日数	定員	実施 形態	研修内容	資質能力				キャリアステージ					管理職等のみ対象 その他	研修主管課 電話番号
							教育的素養・総合的人間力	授業力	生徒指導力	教育業務遂行力	組織運営力	基礎・向上期	充実・発展期	深化・熟練期	職務に応じた研修		
5	国語の単元構想力アップ研修（中・高）～目標に準拠した評価の在り方～	8月4日(月)	1日	30	集合	<目標> ・目標に準拠した評価の在り方について理解を深める。 ・言語活動を生かした単元構想について理解を深める。 ・単元構想案の作成を通して、主体的・対話的で深い学びの実現を目指した授業を実践する意欲を高める。 <内容> 講義：「国語科の授業における評価の在り方」 実践発表：「指導と評価の一体化を意識した単元構想」 講師：中学校国語科教員（予定） 演習：「主体的・対話的で深い学びを実現する単元構想」	○	○				○	○				センター 高等学校支援課 0537-24-9763
6	小中学校外国語授業づくりスキルアップ研修	8月4日(月)	1日	50	集合	<目標> ①学習指導要領に対応した小中学校外国語教育における授業づくりの視点を得ることができる。 ②教材やICTを効果的に活用した単元構想や授業展開など、小中学校外国語教育の授業改善の具体を理解する。 ③外国語科の評価について学び、指導と評価の一体化を図った授業づくりについて理解を深める。 <内容> 講演：「指導と評価の一体化のための授業改善の視点」（仮） 演習：「コミュニケーションの目的、場面、状況等を明確にした単元構想」 講師：関西外国語大学英語キャリア学部 教授 直山 木綿子 氏	○	◎				○	○	○			センター 小中学校支援課 0537-24-9730
7	情報モラル教育実践研修	8月4日(月)	0.5日 (AM)	32	リアルタイム配信型	<目標> ①学校における情報モラル教育の基本的な考え方の理解を図る。 ②情報モラル教育に関する実践的な指導方法の手掛かりを得る。 <内容> 講演・演習：「GIGAスクール1人1台端末下における情報モラル教育の進め方」（オンライン） 講師：静岡大学教育学部 准教授 塩田 真吾 氏	○		◎			○					センター 小中学校支援課 0537-24-9731
8	小学校算数科授業づくり研修～「変化と関係」に焦点を当てた授業づくり～	8月5日(火)	1日	24	集合	<目標> ①学習指導要領における小学校算数科の指導の要点を理解する。 ②小学校算数科（変化と関係）における授業づくりのポイントを理解する。 ③学習指導案の検討を通して、教科指導力や授業構想力の向上のための手掛かりを得て、授業づくりに役立てようとする。 <内容> 講演：「全国学力・学習状況調査の結果から考えるこれからの算数授業～変化と関係領域の学習指導ポイント～」 演習：「算数科（変化と関係）における授業づくりのポイントを押さえた授業構想」 講師：国立教育政策研究所 学力調査官 直海 知子 氏	○	◎				○					センター 小中学校支援課 0537-24-9730

研修一覧表

対象校種ごとに日付順で掲載しています。
各研修の詳細については、全国教員研修プラットフォーム（Plant）で御確認ください。



【センター 希望研修】（中学校対象）										※6年次研修の選択研修は「基礎・向上期」から選択									
No.	研修名	開催日	研修 日数	定員	実施 形態	研修内容	資質能力				キャリアステージ				管理職等のみ対象 その他	研修主管課 電話番号			
							教育的素養・総合的人間力	授業力	生徒指導力	教育業務遂行力	組織運営力	基礎・向上期	充実・発展期	深化・熟練期			職務に応じた研修		
9	知的障害のある子どもの算数（数学）の単元づくりー子どもの思考に沿った授業デザイナー	8月5日(火)	0.5日(PM)	100	リアルタイム配信型	<目標> ①学習指導要領に基づいた、知的障害のある子どもの算数（数学）の指導についての理解を深める。 ②得られた知識を基に、知的障害のある子どもの算数（数学）の単元づくりへ生かそうとする意欲を高める。 <内容> 講演・演習：「学習指導要領に基づく算数（数学）の授業づくり」 講師：静岡大学教育学部 准教授 山元 薫氏	○	◎					○	○			センター 特別支援課 0537-24-9755		
10	CAN-DOリストに基づく単元構想研修	8月6日(水)	0.5日(PM)	30	リアルタイム配信型	<目標> ①CAN-DOリストに基づく言語活動を中心とした授業づくりについて理解する。 ②言語活動を中心とした授業における評価の在り方について理解する。 ③指導と評価が有機的につながる単元構想について考える。 <内容> 講義：「CAN-DOリストに基づいた指導と評価の一体的な改善について」（大学教授） 協議：「実際の作問例を基に、効果的な単元構想を考える」（センター指導主事）	○	◎					○	○			センター 高等学校支援課 0537-24-9726		
11	技術・家庭科（技術分野）授業づくり研修	8月8日(金)	0.5日(AM)	8	集合	<目標> ①「情報の技術」を中心に学習指導要領で扱う内容について理解する。 ②日頃の教育実践を振り返り、授業改善の手掛かりを得る。 ③所属校における具体的な指導内容や方法を構想するための手法を理解する。 <内容> 講演：「先進技術を活用した『情報の技術』の題材構想」 演習：「3Dプリンタを活用した授業構想」 講師：静岡大学教育学部 講師 室伏 春樹氏	○	◎					○				センター 小中学校支援課 0537-24-9731		
12	各教科等を合わせた指導の授業づくり	8月8日(金)	0.5日(PM)	100	リアルタイム配信型	<目標> ①各教科等を合わせた指導の授業づくりについて理解する。 ②得られた知識を基に、各教科等を合わせた指導の授業づくりへ生かそうとする意欲を高める。 <内容> 講演・演習：「各教科等を合わせた指導の授業づくり」 講師：植草学園短期大学 こども未来学科 特別教授 佐藤 慎二 氏	○	◎					○	○			センター 特別支援課 0537-24-9755		
13	児童生徒のウェルビーイング向上を支える教職員のためのラーニング・セッションⅠ	8月18日(月)	0.5日(PM)	50	ハイブリッド型	<目標> ①今後の教育改革の方向性や教職員に求められることについて理解する。 ②小中高特の学びの継続性や教科等横断的な視点といった広い視野をもって深く思考する。 ③講演や協議を日々の教育実践に生かそうとする意欲を高める。 <内容> 講演：「学力アセスメントの動向と展望」（仮） 講師：青山学院大学 教授 益川 弘如 氏 トーク・セッション：教職員、センター所員、その他事務局職員の混合グループ編成による座談会 受講は、ⅠまたはⅡ、Ⅰ及びⅡのいずれも可	○	○	◎				○	○	○			センター SCoPEプロジェクトチーム	

研修一覧表

対象校種ごとに日付順で掲載しています。
各研修の詳細については、全国教員研修プラットフォーム（Plant）で御確認ください。



【センター 希望研修】（中学校対象）													※6年次研修の選択研修は「基礎・向上期」から選択									
No.	研修名	開催日	研修 日数	定員	実施 形態	研修内容	資質能力					キャリアステージ					管理職等のみ対象 その他	研修主管課 電話番号				
							教育的素養・総合的人間力	授業力	生徒指導力	教育業務遂行力	組織運営力	基礎・向上期	充実・発展期	深化・熟練期	職務に応じた研修							
14	SDGs教育推進研修	8月19日 (火)	0.5日 (PM)	60	ハイブリッド型	<目標> ①国際理解教育、SDGsについての理解を深める。 ②参加型手法を体験し、自校においてSDGs教育を導入する手がかりを得る。 ③自校においてSDGs教育を推進しようとする意欲を高める。 <内容> 講義・ワークショップ：「教室から広がるSDGsー持続可能な社会を実現する授業づくりー」 講師：JICA中部	○	○	◎				○	○	○			センター 総務企画・ICT 推進課 0537-24-9706				
15	マネジメント講座9ー教職員のための勤務・サービスー	8月19日 (火)	1日	無制限	リアルタイム配信型	<目標> ①教職員の勤務・サービスの基礎的知識を理解する。 ②教職員の勤務・サービスに関する実践的技能について理解を深める。 ③教職員の勤務・サービスに関する知識を職務の遂行に活用しようとする意欲を高める。 <内容> 講義・演習：「教職員の勤務・サービスについて（服務規程・身分・勤務時間等）」 講義・演習：「教職員の勤務・サービスについて（休暇・休業）」 ※基礎・向上期、深化・熟練期の教職員も受講できる。	○			◎				○				センター 研修課 0537-24-9720				
16	STEAM教育基礎研修	8月19日 (火)	1日	20	集合	<目標> ①STEAM教育の概念について理解する。 ②STEAM教育を取り入れた授業づくりの視点を得る。 ③STEAM教育を取り入れた授業づくりへの意欲を高める。 <内容> 講義・演習：「デザイン思考と領域横断的なワークショップ」 演習・実習：「STEAM教材の基礎」	○		◎					○	○			センター 高等学校支援課 0537-24-9725				
17	社会科授業づくり研修（小）～子供が考える授業づくり～	8月19日 (火)	1日	35	集合	<目標> ①学習指導要領における授業改善のポイントについて理解を深める。 ②子供が思考する授業づくりに必要な視点や方法についての理解を深める。 ③単元構想や授業構想の手掛かりを得る。 <内容> 講演：「子供が思考する授業づくり」（オンライン） 講師：文部科学省 初等中等教育局教育課程課 教科調査官 小倉 勝登 氏 講義・演習：「授業改善、授業構想のポイント」「知識構成型ジグソー法」「子供が思考する授業づくり」	○		◎					○				センター 小中学校支援課 0537-24-9730				
18	中学校数学科授業づくり研修～関数領域の指導と評価～	8月19日 (火)	1日	24	集合	<目標> ①学習指導要領における中学校数学科の指導の要点を理解する。 ②中学校数学科（関数領域）における授業づくりのポイントを理解する。 ③学習指導案の検討を通して、教科指導力や授業構想力の向上のための手掛かりを得て、授業づくりに役立てようとする。 <内容> 講演：「中学校数学科における授業づくりのポイントについて～関数領域の指導と評価～」（オンライン） 講義・演習：「数学科（関数領域）における授業づくりのポイントを押さえた授業構想」 講師：文部科学省 初等中等教育局 視学官 水谷 尚人 氏	○		◎					○				センター 小中学校支援課 0537-24-9730				

研修一覧表

対象校種ごとに日付順で掲載しています。
各研修の詳細については、全国教員研修プラットフォーム（Plant）で御確認ください。



【センター 希望研修】（中学校対象）										※6年次研修の選択研修は「基礎・向上期」から選択									
No.	研修名	開催日	研修 日数	定員	実施 形態	研修内容	資質能力				キャリアステージ				管理職等のみ対象 その他	研修主管課 電話番号			
							教育的素養・総合的人間力	授業力	生徒指導力	教育業務遂行力	組織運営力	基礎・向上期	充実・発展期	深化・熟練期			職務に応じた研修		
19	中学校理科教材づくり研修（観察・実験：地球・粒子領域）	8月19日（火）	1日	20	集合	<目標> ①中学校理科の基礎的な観察・実験方法や、授業における教材・教具の扱い方に関する知識・技能を習得する。 ②学習指導要領における授業改善のポイントについて理解を深める。 ③理科教育における今日的な課題や動向について関心をもち、授業改善への意欲を高める。 <内容> 講演：「探究の過程を意識した理科の授業デザイン」 講師：文部科学省 国立教育政策研究所 教育課程調査官 小林 一人 氏 演習：観察・実験の教材づくり（今年度は、「地球領域」・「粒子領域」の内容を扱います。） ※「地球領域」については、地学分野のモデル実験や化石の観察等を行う予定です。「粒子領域」については、化学変化とイオンについての化学実験を行う予定です。	○	◎					○	○	○		センター 小中学校支援課 0537-24-9730		
20	図画工作科・美術科授業づくり研修～表現と鑑賞を関連させた題材構想～	8月19日（火）	1日	20	集合	<目標> ①学習指導要領を基に、表現と鑑賞を関連させた題材構想について理解する。 ②身近な美術作品を活用し、表現と鑑賞を関連させた題材を構想することで、学習効果を高める授業展開について考える。 <内容> 講演・演習：「県立美術館作品を使った鑑賞の活動」 講師：県立美術館学芸課主任 山本 勇実 氏 講義：「学習指導要領に基づく図画工作科・美術科授業の授業について」 演習：「表現と鑑賞を関連させた題材構想」	○	◎					○				センター 小中学校支援課 0537-24-9731		
21	家庭科授業づくり研修（小・中）－衣生活の指導の充実を目指して－	8月19日（火）	0.5日（PM）	35	集合	<目標> ①学習指導要領における家庭科の指導の要点を理解する。 ②学習過程を基にした題材構想や授業構想の手掛かりを得る。 <内容> 講演・演習：「浴衣の着付け」 講師：日本和装 増田 清美 氏 講義・演習：「衣生活に係る項目における題材構想」	○	◎					○				センター 小中学校支援課 0537-24-9731		
22	学校体育実技（武道）認定講習	8月19日（火）～8月21日（木）	3日	20	集合	<目標> ①武道（柔道）の指導に関する知識や理解を深める。 ②武道（柔道）の指導に関する自己の課題を明確にする。 ③武道（柔道）の技術を向上させる（昇段する）。 <内容> 講演・実習：「武道（柔道）の指導法」 講師：静岡県柔道協会講師	○	◎					○				センター 小中学校支援課 0537-24-9731		

研修一覧表

対象校種ごとに日付順で掲載しています。
各研修の詳細については、全国教員研修プラットフォーム（Plant）で御確認ください。



【センター 希望研修】（中学校対象）													※6年次研修の選択研修は「基礎・向上期」から選択									
No.	研修名	開催日	研修 日数	定員	実施 形態	研修内容	資質能力				キャリアステージ					管理職等のみ対象 その他	研修主管課 電話番号					
							教育的素養・総合的人間力	授業力	生徒指導力	教育業務遂行力	組織運営力	基礎・向上期	充実・発展期	深化・熟練期	職務に応じた研修							
23	インクルーシブな教育の推進に向けて 私たちができること	8月19日 (火)	1日	100	集合	※基礎・向上期の教員においては、「交流及び共同学習」を推進している教員 <目標> ①インクルーシブな教育の推進についての基本的な知識や理念を理解する。 ②「交流及び共同学習」の実践事例を参考に、インクルーシブな教育の推進に向けて、教職員ができることの可能性を見出すと共に、実践への意欲を高める。 <内容> 講演：「インクルーシブな教育の推進に向けて 私たちができること」 講師：独立行政法人 国立特別支援教育総合研究所 インクルーシブ教育システム推進センター センター長 久保山 茂樹 氏 実践紹介：県内の小学校、中学校、高等学校、特別支援学校より「交流及び共同学習」に関する実践発表 シンポジウム：「インクルーシブな教育の推進に向けて 私たちができること」 講義：「共生・共育」（静岡県版インクルーシブ教育システム）の在り方について」	◎						○	○	○	○	○	○	センター 特別支援課 0537-24-9755			
24	不登校に対するチーム支援の在り方	8月21日 (木)	1日	36	集合	<目標> ①不登校の早期発見・早期対応について理解する。 ②不登校の組織的な対応について理解する。 ③講義や演習で得た不登校に対するチーム支援の在り方を、今後の教育実践に生かそうとする意欲を高める。 <内容> 講義・演習：「チームで支援する不登校」（不登校の早期発見・早期対応 組織的対応模擬ケース会議）	○					◎			○	○			センター 教育相談課 0537-24-9735			
25	プログラミング教育実践研修	8月22日 (金)	0.5日 (AM)	24	集合	<目標> ①学校におけるプログラミング教育の基本的な考え方の理解を図る。 ②教科等でのプログラミング教育の指導方法を知る。 ③プログラミング教育の演習を通して、簡単なプログラムを組む技能を身に付ける。 <内容> 講演：「小中学校でのプログラミング教育のねらいについて」 演習・実習：「各学校・各教科等でのプログラミング教育」 講師：静岡大学情報学部 准教授 遠山 紗矢香 氏	○	◎						○					センター 小中学校支援課 0537-24-9731			
26	学級経営力向上研修	8月22日 (金)	1日	120	リアルタイム配信型	<目標> ①学級経営を向上させるための基本的な考え方を理解する。 ②学級経営上の課題解決のための具体的な手立てを理解する。 ③良好な学級経営に向けた指導技術等を活用する意欲を高める。 <内容> 講師：鳴門教育大学大学院学校教育研究科 久我 直人 氏 講義・演習①：「支え合い、学び合う学級をつくる教師の在り方」 講義・演習②：「子どもの内面理解に基づく学級経営」 グループワーク（研修成果の共有）	○		◎				○					センター 高等学校支援課 0537-24-9763				

研修一覧表

対象校種ごとに日付順で掲載しています。
各研修の詳細については、全国教員研修プラットフォーム（Plant）で御確認ください。



【センター 希望研修】（中学校対象）										※6年次研修の選択研修は「基礎・向上期」から選択									
No.	研修名	開催日	研修 日数	定員	実施 形態	研修内容	資質能力					キャリアステージ					管理職等のみ対象 その他	研修主管課 電話番号	
							教育的素養・総合的人間力	授業力	生徒指導力	教育業務遂行力	組織運営力	基礎・向上期	充実・発展期	深化・熟練期	職務に応じた研修				
27	音楽科授業づくり研修～日本の伝統音楽の指導法～	8月22日 (金)	1日	20	集合	<目標> ①伝統音楽の指導法についての講演を通して教科領域専門性を高め、授業構想についての知識や技能を習得する。 ②講演・演習で得た知識や技能を授業に活用する意欲を高める。 <内容> 講演・演習：「日本の伝統音楽の指導法」（仮） 講師：文部科学省 初等中等教育局 視学官 志民 一成 氏	○	◎				○						センター 小中学校支援課 0537-24-9731	
28	自閉症の児童生徒と関わる先生のための指導法	8月22日 (金)	1日	100	リアルタイム配信型	<目標> ①自閉スペクトラム症の障害特性について理解することができる。 ②得られた知識を基に、自閉スペクトラム症の児童生徒への具体的な支援方法について、本人の立場に立って検討することができる。 <内容> 講演：「自閉スペクトラム症の障害特性の理解」 演習・グループワーク：「自閉スペクトラム症の児童生徒に対する具体的な支援の検討」 講師：一般社団法人たけのこ 理事・統括管理責任者 公益社団法人子どもの発達科学研究所 主任研究員 弓削 香織 氏	○	◎	○				○	○				センター 特別支援課 0537-24-9755	
29	授業の基礎技術研修	8月25日 (月)	0.6日	20	集合	<目標> ①発問、指示、教材の効果的な提示における授業技術を理解する。 ②発問、指示、教材の効果的な提示における改善の視点を心得、児童生徒の実態に即した学習環境の整備について深く思考する。 ③発問、指示、教材の効果的な提示における自己課題を把握し、授業技術の向上に向けた意欲を高める。 <内容> 講義：「授業の基礎技術」 演習・協議：「模擬授業」 事前課題：動画視聴（約30分）	○	◎					○					センター 小中学校支援課 0537-24-9731	
30	困難を抱える子どものケース会議の進め方	8月26日 (木)	1日	60	集合	<目標> ①困難を抱える子どものニーズの把握と支援についての理解を深める。 ②特別支援教育に関わる連携機関について理解を深め、必要な時に活用できるようにする。 ③ケース会議の開き方や進め方について理解し、今後の実践に生かそうとする意欲を高める。 <内容> 講演：「ケース会議について ～困難を抱える子どものニーズの把握と支援～」 演習：「効果的なケース会議の進め方 ～持参事例について考える～」 講師：静岡大学 教育学部 教授 香野 毅 氏	○		◎					○	○			センター 特別支援課 0537-24-9755	
31	マネジメント講座10ー学校事故と情報公開ー	8月～11月	1日	無制限	オンデマンド配信型	<目標> ①法的視点に立った学校事故の予防と対応について理解する。 ②情報公開制度と個人情報保護の基本について理解を深める。 ③学校事故と情報公開に関する知識を職務の遂行に活用しようとする意欲を高める。 <内容> 講義・演習：①「学校事故の予防と対応」 講義・演習：②「情報の管理と公開方法」 ※基礎・向上期、深化・熟練期の教職員も受講できる。	○		◎	○			○				センター 研修課 0537-24-9720		

研修一覧表

対象校種ごとに日付順で掲載しています。
各研修の詳細については、全国教員研修プラットフォーム（Plant）で御確認ください。



【センター 希望研修】（中学校対象）														※6年次研修の選択研修は「基礎・向上期」から選択									
No.	研修名	開催日	研修 日数	定員	実施 形態	研修内容	資質能力					キャリアステージ					管理職等のみ対象 その他	研修主管課 電話番号					
							教育的素養・総合的人間力	授業力	生徒指導力	教育業務遂行力	組織運営力	基礎・向上期	充実・発展期	深化・熟練期	職務に応じた研修								
32	特別支援教育における子どもの特性に応じたICT活用～実践事例から学ぶ～	9月2日(火)	1日	100	ハイブリッド型	<目標> ①特別な支援を必要とする子どもの特性に応じたICT活用について基本的な考え方や方法を理解する。 ②子どもの特性に応じたICT活用の実践事例を参考に、実践への意欲を高める。 <内容> 講演・グループワーク：「子どもの特性に応じたICT活用」 講師：山口県立大学 社会福祉学部 講師 山崎 智仁 氏 実践紹介：県内の特別支援学校、特別支援学級よりICT活用の実践発表	○	◎					○	○	○			センター 特別支援課 0537-24-9755					
33	小学校理科教材づくり研修（観察・実験：エネルギー・生命領域）	9月5日(金)	1日	20	集合	<目標> ①小学校理科の基礎的な観察・実験方法や、授業における教材・教具の扱い方に関する知識・技能を習得する。 ②学習指導要領における授業改善のポイントについて理解を深める。 ③理科教育における今日的な課題や動向について関心をもち、授業改善への意欲を高める。 <内容> 講演：「問題解決の力を育む理科の授業づくり～問題を見いだす力の育成を中心に～」 講師：文部科学省 初等中等教育局 教育課程課 教科調査官 有本 淳 氏 演習：観察・実験の教材づくり（今年度は、「エネルギー領域」・「生命領域」の内容を扱います。） ※「エネルギー領域」については、光や電気についての物理実験を行う予定です。「生命領域」については、顕微鏡を用いた観察等を行う予定です。	○	◎					○	○	○			センター 小中学校支援課 0537-24-9730					
34	教育相談スキルアップ研修～事例から学ぶ学校カウンセリングスキル～	9月19日(金)	1日	50	集合	<目標> ①教育相談において必要な学校カウンセリングスキルを理解する。 ②事例検討を通して学校カウンセリングスキルの理解を深める。 ③講演や演習で得た教育相談的な関わり方を、今後の教育実践に生かそうとする意欲を高める。 <内容> 講演・演習：「事例から学ぶ学校カウンセリングスキル」（カウンセリングスキル 個に応じた指導 事例検討） 講演講師：静岡大学教育学部 講師 村上 広美 氏	○		◎					○	○				センター 教育相談課 0537-24-9735				
35	紙とデジタルのベストミックスで情報活用能力を育む授業づくり 学校図書館活用研修	9月26日(金)	1日	30	集合	<目標> ①学校図書館の活用が児童生徒の自発的、主体的な学習活動につながることを理解することができる。 ②学校図書館内外の資料・情報を活用した学び方について、理解し、実践する手立てをつかむ。 ③学校図書館内外の資料・情報を活用した学習指導や教科指導について実際の指導方法をつかむ。 <内容> 講義・演習：「紙とデジタルのベストミックスによる授業づくり」（仮） 講師：青山学院大学 准教授 庭井 史絵 氏 講義：「著作権と教育活動・学校図書館」 講師：静岡県立中央図書館 調査課	○		◎					○	○	○			センター 総務企画・ICT推進課 0537-24-9715				

研修一覧表

対象校種ごとに日付順で掲載しています。
各研修の詳細については、全国教員研修プラットフォーム（Plant）で御確認ください。



【センター 希望研修】（中学校対象）													※6年次研修の選択研修は「基礎・向上期」から選択									
No.	研修名	開催日	研修 日数	定員	実施 形態	研修内容	資質能力				キャリアステージ					管理職等のみ対象 その他	研修主管課 電話番号					
							教育的素養・総合的人間力	授業力	生徒指導力	教育業務遂行力	組織運営力	基礎・向上期	充実・発展期	深化・熟練期	職務に応じた研修							
36	多様な背景を持つ児童生徒の支援－関係機関との連携の在り方－	9月30日 (火)	1日	40	集合	<目標> ①多様な背景をもつ児童生徒について理解する。 ②多様な背景をもつ児童生徒に対する、関係機関と連携した支援方法について理解する。 ③講演等で得た関係機関と連携した支援方法について、今後の教育実践に生かそうとする意欲を高める。 <内容> 講演：「多様な背景を持つ児童生徒の理解」（発達障害、ヤングケアラー、宗教2世、精神疾患などの理解と支援） 講師：静岡大学大学院グローバル共創科学領域 教授 江口 昌克 氏 講義：「SSW（スクールソーシャルワーカー）から見た学校・家庭・福祉との連携」（関係機関との連携 相談支援体制の構築） 講師：静岡県SSW 富井 直美 氏	○		◎				○	○				センター 教育相談課 0537-24-9735				
37	管理職スキルアップ講座－学校の経営ビジョンづくりと共有化－	10月1日 (水)	1日	無制限	リアルタイム配信型	<目標> ①経営ビジョンづくりと共有化における着眼点を理解する。 ②学校の内外資源を活用した、経営ビジョン構築の見通しをもつ。 ③学校マネジメントを取り入れた自校の経営・運営に対する意欲を高める。 <内容> 講演・演習：「学校の経営ビジョンづくりと共有化」 講師：兵庫教育大学大学院 特任教授 浅野良一 氏	○			○	◎			○	○		★	センター 研修課 0537-24-9720				
38	マネジメント講座3－学校の経営ビジョンづくりと共有化－	10月1日 (水)	1日	60	集合	<目標> ①経営ビジョンづくりと共有化における着眼点を理解する。 ②学校の内外資源を活用した、経営ビジョン構築の見通しをもつ。 ③学校マネジメントを取り入れた自校の経営・運営に対する意欲を高める。 <内容> 講演：「学校の経営ビジョンづくりと共有化」 講師：兵庫教育大学大学院 特任教授 浅野良一 氏	○			○	◎			○	○		★	センター 研修課 0537-24-9720				
39	SEL（社会性と情動の学習-Social and Emotional Learning-）を生かした不登校の未然防止	10月24日 (金)	1日	50	集合	<目標> ①不登校の未然防止につながる児童生徒の実情や、SELについて理解する。 ②児童生徒理解のための新たな視点を習得する。 ③講演や演習で得た不登校の未然防止のための知識や視点を、今後の教育実践に生かそうとする意欲を高める。 <内容> 講演・演習：「SELを生かした不登校の未然防止」（社会情動的スキル レジリエンス） 講師：静岡大学教育学部 教授 小林 朋子 氏	○		◎				○	○				センター 教育相談課 0537-24-9735				
40	マネジメント講座4－組織の活性化と管理者の役割－	10月28日 (火)	1日	60	集合	<目標> ・組織を活性化するための、管理者の役割を理解する。 ・学校組織の特徴を踏まえた、組織活性化のためのビジョン構築の見通しをもつ。 ・学校マネジメントを取り入れた自校の経営・運営に対する意欲を高める。 <内容> 講演：「学校組織の改善と活性化－管理職のリーダーシップと協働のマネジメント－」 講師：国士舘大学体育学部 教授 北神 正行 氏	○			○	◎			○	○		★	センター 研修課 0537-24-9720				

研修一覧表

対象校種ごとに日付順で掲載しています。
各研修の詳細については、全国教員研修プラットフォーム（Plant）で御確認ください。



【センター 希望研修】（中学校対象）										※6年次研修の選択研修は「基礎・向上期」から選択									
No.	研修名	開催日	研修 日数	定員	実施 形態	研修内容	資質能力					キャリアステージ					管理職等のみ対象 その他	研修主管課 電話番号	
							教育的素養・総合的人間力	授業力	生徒指導力	教育業務遂行力	組織運営力	基礎・向上期	充実・発展期	深化・熟練期	職務に応じた研修				
41	特別の教科 道徳授業づくり研修	静西10月29日(水) 静東10月31日(金)	1日	70	集合	<目標> ①講義により、小中学校における特別の教科道徳の授業づくりについて理解する。 ②教材分析シートを活用して、教材の特性を生かした中心発問づくりの手掛かりを得る。 ③1時間の授業構想と協議を通じて、「多面的・多角的な見方」の視点からの授業構想について視野を広げる。 <内容> 講義：「特別の教科 道徳の授業づくり」「子供の成長を促すための評価」 演習：「教材分析シートを用いた中心発問づくり」「授業構想と協議」	○	◎				○						センター 小中学校支援課 0537-24-9730	
42	教育相談スキルアップ研修ー保護者との効果的な教育相談ー	11月12日(水)	1日	40	集合	<目標> ①教育相談の考え方や進め方についてより深く理解する。 ②保護者と信頼関係を築くために必要となる教育相談的な関わり方について理解する。 ③講義や演習で得た保護者との教育相談的な関わり方を、今後の教育実践に生かそうとする意欲を高める。 <内容> 講義：「保護者との教育相談的な関わり方について」（オンデマンド：視聴及び事前課題） 演習：「保護者と良好な信頼関係を築くための教育相談的な関わり方の実際」（集合研修） ※オンデマンド・事前課題0.5日＋集合0.5日の1日研修です。 ※演習は担任向けの内容になりますので、養護教諭の方は対象外とします。	○			◎			○	○				センター 教育相談課 0537-24-9735	
43	日本の学校、なんでやねん リターンズ	11月13日(木)	0.5日(PM)	60	ハイブリッド型	<目標> ①教育に多様な大人が関わることの意義を理解できる。 ②学校が果たすべき役割について再考し、業務改善への視点をもつ。 ③自校の課題を見出し、その解決に向け地域や家庭と連携・協働する意欲を高める。 <内容> 講義：「学校と地域の連携・協働のしくみ」（仮） 講師：静岡県教育委員会 義務教育課・社会教育課 講義：「日本の学校、なんでやねん」（仮） 講師：京都精華大学 教授 ウスビ・サコ氏 グループ別協議 質疑応答	◎					○		○	○			センター 総務企画・ICT推進課 0537-24-9715	

研修一覧表

対象校種ごとに日付順で掲載しています。
各研修の詳細については、全国教員研修プラットフォーム（Plant）で御確認ください。



【センター 希望研修】（中学校対象）														※6年次研修の選択研修は「基礎・向上期」から選択									
No.	研修名	開催日	研修 日数	定員	実施 形態	研修内容	資質能力					キャリアステージ					管理職等のみ対象 その他	研修主管課 電話番号					
							教育的素養・総合的 人間力	授業力	生徒指導力	教育業務遂行力	組織運営力	基礎・向上期	充実・発展期	深化・熟練期	職務に応じた研修								
44	児童生徒のウェルビーイング向上を支える教職員のためのラーニング・セッションⅡ	12月9日 (火)	0.5日 (PM)	50	ハイブリッド型	<目標> ①今後の教育改革の方向性や教職員に求められることについて理解する。 ②小中高特の学びの継続性や教科等横断的な視点といった広い視野をもって深く思考する。 ③講演や協議を日々の教育実践に生かそうとする意欲を高める。 <内容> 講演：「児童生徒の学習過程についてリフレクションする持続的で協働的な授業研究」（仮） 講師：国立教育政策研究所 総括研究官 白水 始 氏 トーク・セッション：教職員、センター所員、その他事務局職員の混合グループ編成による座談会 受講は、ⅠまたはⅡ、Ⅰ及びⅡのいずれも可	○	○		◎		○	○	○				センター SCoPEプロジェクトチーム					
45	人権課題を「知る」「見つめる」「感じる」研修	12月12日 (金)	0.5日 (PM)	30	リアルタイム配信型	<目標> ①人権教育の基本的な知識を得る。 ②教職員自身の人権感覚を高める契機を得る。 ③児童生徒教職員の人権を尊重した学校環境づくりについて、見通しをもつ。 <内容> 講義①：「本県の人権教育推進の取組について」 講師①：教育政策課 人権・教員育成班 講義②：「外国にルーツをもつ子どもたちの教育課題について」 講師②：静岡文化芸術大学 文化政策学部 国際文化学科 准教授 佐伯 康考 氏 協議：「人権感覚あふれる学校・学級づくりのためにできることは何か」	○			◎		○	○	○			センター 高等学校支援課 0537-24-9760						
46	社会科授業づくり研修（中・高）	12月24日 (水)	1日	40	ハイブリッド型	<目標> ①社会的な見方・考え方について理解する。 ②社会的な見方・考え方を働かせた問いを軸にした単元構想、授業構想について知識を得る。 ③中学校社会科、地理歴史科、公民科の授業改善について見通しをもつ。 <内容> 講演：「『社会的な見方・考え方』を働かせた『思考力、判断力、表現力等』の育成」 講師：国立教育政策研究所 教育課程研究センター 教育課程調査官 空 健太 氏 講義・演習：「地理・歴史・公民の分野別研修」（センター指導主事）	○	◎				○	○				センター 高等学校支援課 0537-24-9763						
47	マネジメント講座5－職場における人材育成－	1月16日 (金)	1日	70	集合	<目標> ①人材育成に関する必要な知識・技能について理解を深める。 ②自校における人材育成上の課題を明確にする。 ③自校の経営・運営に資する人材育成に取り組む意欲を高める。 <内容> 講義・演習：「大人が育つ職場づくり」 講師：帝京大学大学院 准教授 町支 大祐 氏	○			○	◎			○	○	★	センター 研修課 0537-24-9720						

研修一覧表

対象校種ごとに日付順で掲載しています。
各研修の詳細については、全国教員研修プラットフォーム（Plant）で御確認ください。



【センター 希望研修】（高等学校対象）																
No.	研修名	開催日	研修 日数	定員	実施 形態	研修内容	資質能力				キャリアステージ				管理職等 のみ対象	研修主管課 電話番号
							教育的素養・総合的 人間力	授業力	生徒指導力	教育業務遂行力	組織運営力	基礎・向上期	充実・発展期	深化・熟練期		
1	教育相談スキルアップ研修－信頼関係を築く教育相談の基本－	7月17日 (木)	1日	30	集合	<目標> ①教育相談の考え方や進め方について理解する。 ②児童生徒や保護者との信頼関係を築くために必要となる面接の知識や技能を理解する。 ③講義や演習で得た教育相談の基本を、今後の教育実践に生かそうとする意欲を高める。 <内容> 講義：「信頼関係を築く教育相談の基本姿勢」（オンデマンド：視聴及び事前課題） 演習：「面接相談の実際」（集合研修） ※オンデマンド・事前課題0.5日＋集合0.5日の1日研修です。 ※初任者研修と重複する内容がありますので、初任者の方は対象外とします。	○		◎			○	○			センター 教育相談課 0537-24-9735
2	個別最適な学びと協働的な学びの実現に向けたICTの活用（実践編）	7月28日 (月)	0.5日 (PM)	100	リアルタイム配信型	<目標> ①「個別最適な学び」と「協働的な学び」の実現について理解を深める。 ②ICTを活用した「個別最適な学び」と「協働的な学び」を取り入れた授業構想の見通しをもつ。 ③自身が担当する授業において、ICTを活用した「個別最適な学び」と「協働的な学び」を取り入れようとする意欲を高める。 <内容> 講義：「個別最適な学びと協働的な学びの実現について」 講師：東京学芸大学 教授 北澤 武 氏 パネルディスカッション：「個別最適な学びと協働的な学びの実現を目指した授業実践」 協議：「資質・能力の育成につながるICTを活用した『個別最適な学び』と『協働的な学び』について」	○	◎					○			センター SCoPEプロジェクトチーム
3	高等学校情報科授業づくり基礎研修	7月30日 (水)	1日	28	集合	<目標> ①高等学校学習指導要領共通教科「情報」の指導内容や指導方法について理解する。 ②共通教科「情報」の目標を達成するための授業実践に必要な資質・能力を身に付ける。 ③問題の発見・解決や探究的な学びを取り入れた授業づくりへの意欲を高める。 <内容> 講義：「大学入学共通テストから考える授業デザインと育成すべき資質・能力」 講義：「主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業構想」 演習：「授業構想の作成」 大学入学共通テスト「情報Ⅰ」の問題作成方針を踏まえた授業づくりのポイントや指導内容及び指導方法について理解を深めることができる研修です。充実・発展期、深化・熟練期の教員も受講できます。	○		◎				○			センター 高等学校支援課 0537-24-9725
4	国語の単元構想力アップ研修（中・高）～目標に準拠した評価の在り方～	8月4日(月)	1日	30	集合	<目標> ①目標に準拠した評価の在り方について理解を深める。 ②言語活動を生かした単元構想について理解を深める。 ③単元構想案の作成を通して、主体的・対話的で深い学びの実現を目指した授業を実践する意欲を高める。 <内容> 講義：「国語科の授業における評価の在り方」 実践発表：「指導と評価の一体化を意識した単元構想」 講師：中学校国語科教員（予定） 演習：「主体的・対話的で深い学びを実現する単元構想」	○	○					○	○		センター 高等学校支援課 0537-24-9763

研修一覧表

対象校種ごとに日付順で掲載しています。
各研修の詳細については、全国教員研修プラットフォーム（Plant）で御確認ください。



【センター 希望研修】（高等学校対象）																
No.	研修名	開催日	研修 日数	定員	実施 形態	研修内容	資質能力				キャリアステージ				管理職等のみ対象 その他	研修主管課 電話番号
							教育的素養・総合的人間力	授業力	生徒指導力	教育業務遂行力	組織運営力	基礎・向上期	充実・発展期	深化・熟練期		
5	情報モラル教育実践研修	8月4日(月)	0.5日 (AM)	32	リアルタイム配信型	<目標> ①学校における情報モラル教育の基本的な考え方の理解を図る。 ②情報モラル教育に関する実践的な指導方法の手掛かりを得る。 <内容> 講演・演習：「GIGAスクール1人1台端末下における情報モラル教育の進め方」（オンライン） 講師：静岡大学教育学部 准教授 塩田 真吾 氏	○		◎			○				センター 小中学校支援課 0537-24-9731
6	高等学校体育指導者講習会	8月5日(火)	1日	120	集合	<目標> ①学習指導要領に対応した授業実践を体験することで、知識や理解を深める。 ②学習指導要領に関する知識や理解から、教材に活用できる見通しをもつ。 ③自己の授業改善の視点を明確にし、授業づくりへの意欲を高める。 <内容> ・「体育・保健体育指導力向上研修」（令和7年5月中央研修）に参加した県内高等学校保健体育科教諭による講義と演習。 ・「体育・保健体育指導力向上研修」の内容により、講義と演習の内容が決定する。 ※経験年数や年齢により一部悉皆対象となる。詳細はPlant参照。	○		◎			○				センター 高等学校支援課 0537-24-9760
7	CAN-DOリストに基づく単元構想研修	8月6日(水)	0.5日 (PM)	30	リアルタイム配信型	<目標> ①CAN-DOリストに基づく言語活動を中心とした授業づくりについて理解する。 ②言語活動を中心とした授業における評価の在り方について理解する。 ③指導と評価が有機的につながる単元構想について考える。 <内容> 講義：「CAN-DOリストに基づいた指導と評価の一体的な改善について」（大学教授） 協議：「実際の作問例を基に、効果的な単元構想を考える」（センター指導主事）	○		◎			○	○			センター 高等学校支援課 0537-24-9726
8	高等学校数学科授業づくり基礎研修	8月18日 (月)	1日	20	集合	<目標> ①高等学校数学科の統計分野における「付けたい力」について理解する。 ②小中学校での学習内容を踏まえた上で、高等学校における指導事項等について理解する。 ③統計分野の学習を通して問題解決能力や新たな課題を見いだす能力を育成する授業を実践する意欲を高める。 <内容> 講義：「統計教育」 講義：「主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業構想」 演習：「授業構想の作成」 充実・発展期の教員も受講できます。	○		◎			○				センター 高等学校支援課 0537-24-9725

研修一覧表

対象校種ごとに日付順で掲載しています。
各研修の詳細については、全国教員研修プラットフォーム（Plant）で御確認ください。



【センター 希望研修】（高等学校対象）																	
No.	研修名	開催日	研修 日数	定員	実施 形態	研修内容	資質能力				キャリアステージ				管理職等のみ対象 その他	研修主管課 電話番号	
							教育的素養・総合的人間力	授業力	生徒指導力	教育業務遂行力	組織運営力	基礎・向上期	充実・発展期	深化・熟練期			職務に応じた研修
9	児童生徒のウェルビーイング向上を支える教職員のためのラーニング・セッションⅠ	8月18日 (月)	0.5日 (PM)	50	ハイブリッド型	<目標> ①今後の教育改革の方向性や教職員に求められることについて理解する。 ②小中高特の学びの継続性や教科等横断的な視点といった広い視野をもって深く思考する。 ③講演や協議を日々の教育実践に生かそうとする意欲を高める。 <内容> 講演：「学力アセスメントの動向と展望」（仮） 講師：青山学院大学 教授 益川 弘如 氏 トーク・セッション：教職員、センター所員、その他事務局職員の混合グループ編成による座談会 受講は、ⅠまたはⅡ、Ⅰ及びⅡのいずれも可	○	○		◎		○	○	○			センター SCoPEプロ ジェクトチーム
10	SDGs教育推進研修	8月19日 (火)	0.5日 (PM)	60	ハイブリッド型	<目標> ①国際理解教育、SDGsについての理解を深める。 ②参加型手法を体験し、自校においてSDGs教育を導入する手がかりを得る。 ③自校においてSDGs教育を推進しようとする意欲を高める。 <内容> 講義・ワークショップ：「教室から広がるSDGsー持続可能な社会を実現する授業づくりー」 講師：JICA中部	○	○		◎		○	○	○			センター 総務企画・ICT 推進課 0537-24- 9706
11	マネジメント講座9ー教職員のための勤務・サービスー	8月19日 (火)	1日	無制限	リアルタイム配信型	<目標> ①教職員の勤務・サービスの基礎的知識を理解する。 ②教職員の勤務・サービスに関する実践的スキルについて理解を深める。 ③教職員の勤務・サービスに関する知識を職務の遂行に活用しようとする意欲を高める。 <内容> 講義・演習：「教職員の勤務・サービスについて（勤務規程・身分・勤務時間等）」 講義・演習：「教職員の勤務・サービスについて（休暇・休業）」 ※基礎・向上期、深化・熟練期の教職員も受講できる。	○			◎		○					センター 研修課 0537-24- 9720
12	STEAM教育基礎研修	8月19日 (火)	1日	20	集合	<目標> ①STEAM教育の概念について理解する。 ②STEAM教育を取り入れた授業づくりの視点を育てる。 ③STEAM教育を取り入れた授業づくりへの意欲を高める。 <内容> 講義・演習：「デザイン思考と領域横断的なワークショップ」 演習・実習：「STEAM教材の基礎」	○	◎				○	○				センター 高等学校支援課 0537-24- 9725

研修一覧表

対象校種ごとに日付順で掲載しています。
各研修の詳細については、全国教員研修プラットフォーム（Plant）で御確認ください。



【センター 希望研修】（高等学校対象）																	
No.	研修名	開催日	研修 日数	定員	実施 形態	研修内容	資質能力				キャリアステージ				管理職等 のみ対象 その他	研修主管課 電話番号	
							教育的素養・総合的人間力	授業力	生徒指導力	教育業務遂行力	組織運営力	基礎・向上期	充実・発展期	深化・熟練期			職務に応じた研修
13	商業科教員のための授業づくり研修	8月19日 (火)	1日	12	集合	<目標> ①本県の商業教育の現状と課題について理解する。 ②マーケティング的な発想力・思考力を高める授業づくりや、マーケティングを現実社会やビジネスの課題にいかに関与しようとする意欲を高める。 ③自己の授業改善の視点を明確にし、授業に活用できる見通しをもつ。 <内容> 講義「ケースメソッドを取り入れた商業教育の可能性」 演習「主体的な学びにつながるケースメソッドの教授法・ケース作成法」 グループワーク「ケースメソッドのためのティーチングプランの作成」 令和6年度実績 名古屋商科大学大学院 准教授 小山龍介氏による講義・演習・グループワーク ・充実・発展期の教員も受講できます。	○	◎				○					センター 高等学校支援課 0537-24-9760
14	図画工作科・美術科授業づくり研修～表現と鑑賞を関連させた題材構想～	8月19日 (火)	1日	20	集合	<目標> ①学習指導要領を基に、表現と鑑賞を関連させた題材構想について理解する。 ②身近な美術作品を活用し、表現と鑑賞を関連させた題材を構想することで、学習効果を高める授業展開について考える。 <内容> 講演・演習：「県立美術館作品を使った鑑賞の活動」 講師：県立美術館学芸課主任 山本 勇実氏 講義：「学習指導要領に基づく図画工作科・美術科授業の授業について」 演習：「表現と鑑賞を関連させた題材構想」	○	◎				○					センター 小中学校支援課 0537-24-9731
15	家庭科授業づくり研修（小・中）－衣生活の指導の充実を目指して－	8月19日 (火)	0.5日 (PM)	35	集合	<目標> ①学習指導要領における家庭科の指導の要点を理解する。 ②学習過程を基にした題材構想や授業構想の手掛かりを得る。 <内容> 講演・演習：「浴衣の着付け」 講師：日本和装 増田 清美 氏 講義・演習：「衣生活に係る項目における題材構想」	○	◎				○					センター 小中学校支援課 0537-24-9731
16	学校体育実技（武道）認定講習	8月19日 (火) ～8月21日 (木)	3日	20	集合	<目標> ①武道（柔道）の指導に関する知識や理解を深める。 ②武道（柔道）の指導に関する自己の課題を明確にする。 ③武道（柔道）の技術を向上させる（昇段する）。 <内容> 講演・実習：「武道（柔道）の指導法」 講師：静岡県柔道協会講師	○	◎				○					センター 小中学校支援課 0537-24-9731

研修一覧表

対象校種ごとに日付順で掲載しています。
各研修の詳細については、全国教員研修プラットフォーム（Plant）で御確認ください。



【センター 希望研修】（高等学校対象）																	
No.	研修名	開催日	研修 日数	定員	実施 形態	研修内容	資質能力				キャリアステージ				管理職等 のみ対象 その他	研修主管課 電話番号	
							教育的素養・総合的 人間力	授業力	生徒指導力	教育業務遂行力	組織運営力	基礎・向上期	充実・発展期	深化・熟練期			職務に応じた研修
17	インクルーシブな教育の推進に向けて 私たちができること	8月19日 (火)	1日	100	集合	※基礎・向上期の教員においては、「交流及び共同学習」を推進している教員 <目標> ①インクルーシブな教育の推進についての基本的な知識や理念を理解する。 ②「交流及び共同学習」の実践事例を参考に、インクルーシブな教育の推進に向けて、教職員ができることの可能性を見出すと共に、実践への意欲を高める。 <内容> 講演：「インクルーシブな教育の推進に向けて 私たちができること」 講師：独立行政法人 国立特別支援教育総合研究所 インクルーシブ教育システム推進センター センター長 久保山 茂樹 氏 実践紹介：県内の小学校、中学校、高等学校、特別支援学校より「交流及び共同学習」に関する実践発表 シンポジウム：「インクルーシブな教育の推進に向けて 私たちができること」 講義：「共生・共育」（静岡県版インクルーシブ教育システム）の在り方について」	◎			○	○	○	○	○		センター 特別支援課 0537-24-9755	
18	マネジメント講座6ーこれからの学校における働き方改革ー	8月20日 (水)	1日	60	集合	<目標> ①業務改善に関する必要な知識・技能について理解を深める。 ②自校における業務改善の課題を明確にする。 ③自校の働き方改革に対する意欲を高める。 <内容> 講義・演習：「これからの学校における働き方改革」 講師：帝京大学大学院 准教授 町支 大祐 氏 運営：高校教育課	○				◎					★	センター 研修課 0537-24-9720
19	不登校に対するチーム支援の在り方	8月21日 (木)	1日	36	集合	<目標> ①不登校の早期発見・早期対応について理解する。 ②不登校の組織的な対応について理解する。 ③講義や演習で得た不登校に対するチーム支援の在り方を、今後の教育実践に生かそうとする意欲を高める。 <内容> 講義・演習：「チームで支援する不登校」（不登校の早期発見・早期対応 組織的対応模擬ケース会議）	○				◎		○	○			センター 教育相談課 0537-24-9735
20	工業科教員のための技術力・指導力向上研修	8月21日 (木) 8月22日 (金)	2日	6	集合	<目標> ①実技系科目（電子回路組立）の授業改善に必要な教科領域専門性の向上のための知識と技術を高める。 ②実技系科目の有効な評価方法を学び、授業力の向上のための指導手法を知る。 ③実技系科目の授業力に関する自己の課題を明確にし、授業改善への意欲を高める。 <内容> 講義・演習：「学習指導要領に対応した授業改善の手法の習得」 実習・演習：「産業教育と、生徒の技能向上に関する知識と高度な技術の習得」 講師：高校教員等	○	◎					○	○			センター 高等学校支援課 0537-24-9760

研修一覧表

対象校種ごとに日付順で掲載しています。
各研修の詳細については、全国教員研修プラットフォーム（Plant）で御確認ください。



【センター 希望研修】（高等学校対象）																	
No.	研修名	開催日	研修 日数	定員	実施 形態	研修内容	資質能力				キャリアステージ				管理職等 のみ対象	研修主管課 電話番号	
							教育的素養・総合的 人間力	授業力	生徒指導力	教育業務遂行力	組織運営力	基礎・向上期	充実・発展期	深化・熟練期			職務に応じた研修 その他
21	学級経営力向上研修	8月22日 (金)	1日	120	リアルタイム配信型	<目標> ①学級経営を向上させるための基本的な考え方を理解する。 ②学級経営上の課題解決のための具体的な手立てを理解する。 ③良好な学級経営に向けた指導技術等を活用する意欲を高める。 <内容> 講師：鳴門教育大学大学院学校教育研究科 久我 直人 氏 講義・演習①：「支え合い、学び合う学級をつくる教師の在り方」 講義・演習②：「子どもの内面理解に基づく学級経営」 グループワーク（研修成果の共有）	○		◎			○					センター 高等学校支援課 0537-24-9763
22	探究指導者養成研修 ―高等学校魅力化につながる総合的な探究の時間の充実に向けて―	8月22日 (金)	1日	25	集合	<目標> ①総合的な探究の時間の基本的な考え方について理解を深める。 ②総合的な探究の時間の単元構想、探究の指導方法について理解を深める。 ③ファシリテーションの価値・可能性を理解し、生徒の探究を支援しようとする意欲を高める。 <内容> 講義・演習「探究学習実践ワークショップ」・総合的な探究の時間の単元構想や探究の指導方法についての講義・演習 講師：産業能率大学 経営学部 教授 杉田 一真 氏	○	◎					○				センター 高等学校支援課 0537-24-9763
23	音楽科授業づくり研修～日本の伝統音楽の指導法～	8月22日 (金)	1日	20	集合	<目標> ①伝統音楽の指導法についての講演を通して教科領域専門性を高め、授業構想についての知識や技能を習得する。 ②講演・演習で得た知識や技能を授業に活用する意欲を高める。 <内容> 講演・演習：「日本の伝統音楽の指導法」（仮） 講師：文部科学省 初等中等教育局 視学官 志民 一成 氏	○	◎					○				センター 小中学校支援課 0537-24-9731
24	自閉症の児童生徒と関わる先生のための指導法	8月22日 (金)	1日	100	リアルタイム配信型	<目標> ①自閉スペクトラム症の障害特性について理解することができる。 ②得られた知識を基に、自閉スペクトラム症の児童生徒への具体的な支援方法について、本人の立場に立って検討することができる。 <内容> 講演：「自閉スペクトラム症の障害特性の理解」 演習・グループワーク：「自閉スペクトラム症の児童生徒に対する具体的な支援の検討」 講師：一般社団法人たけのこ 理事・統括管理責任者 公益社団法人子どもの発達科学研究所 主任研究員 弓削 香織 氏	○	◎	○				○	○			センター 特別支援課 0537-24-9755

研修一覧表

対象校種ごとに日付順で掲載しています。
各研修の詳細については、全国教員研修プラットフォーム（Plant）で御確認ください。

全国教員研修
プラットフォーム



【センター 希望研修】（高等学校対象）																	
No.	研修名	開催日	研修 日数	定員	実施 形態	研修内容	資質能力				キャリアステージ				管理職等のみ対象 その他	研修主管課 電話番号	
							教育的素養・総合的人間力	授業力	生徒指導力	教育業務遂行力	組織運営力	基礎・向上期	充実・発展期	深化・熟練期			職務に応じた研修
25	授業の基礎技術研修	8月25日 (月)	0.6日	20	集合	<目標> ①発問、指示、教材の効果的な提示における授業技術を理解する。 ②発問、指示、教材の効果的な提示における改善の視点を得て、児童生徒の実態に即した学習環境の整備について深く思考する。 ③発問、指示、教材の効果的な提示における自己課題を把握し、授業技術の向上に向けた意欲を高める。 <内容> 講義：「授業の基礎技術」 演習・協議：「模擬授業」 事前課題：動画視聴（約30分）	○	◎				○				センター 小中学校支援課 0537-24-9731	
26	家庭科／福祉科教員のための授業づくり研修	8月26日 (火)	0.5日	12	集合	<目標> ①講義・演習を通して、教科指導に関する新しい知識・技術を習得する。 ②学習指導要領の趣旨及び教科で育成を目指す資質・能力について理解を深める。 ③家庭科／福祉科の指導の改善について理解を深める。 <内容> 講義・演習：「地域防災でできること、すべきことを考える～自助、共助、公助による防災・減災」 講師：静岡県立短期大学部 社会福祉学科 准教授 江原 勝幸 氏 高等学校共通教科家庭の「内容A（5）共生社会と福祉」に関する内容です。実践的・体験的な学習活動の充実を図り、実感を伴って理解を深めるための授業づくりについての手がかりを得ます。	○	◎	○			○	○			センター 高等学校支援課 0537-24-9760	
27	困難さを抱える子どものケース会議の進め方	8月26日 (木)	1日	60	集合	<目標> ①困難さを抱える子どものニーズの把握と支援についての理解を深める。 ②特別支援教育に関わる連携機関について理解を深め、必要な時に活用できるようにする。 ③ケース会議の開き方や進め方について理解し、今後の実践に生かそうとする意欲を高める。 <内容> 講演：「ケース会議について ～困難さを抱える子どものニーズの把握と支援～」 演習：「効果的なケース会議の進め方 ～持参事例について考える～」 講師：静岡大学 教育学部 教授 香野 毅 氏	○		◎				○	○			センター 特別支援課 0537-24-9755
28	マネジメント講座2ー学校事務理解ー	8月～12月	1日	無制限	オンデマ ンド配信 型	<目標> ①勤務条件の重要性を理解する。 ②職員管理と勤務条件との関係性の理解を深める。 ③学校事務に関する知識を職務の遂行に活用しようとする意欲を高める。 <内容> 講義・演習：「学校事務の業務内容」 講義・演習：「勤務時間に関する諸原則」 講義・演習：「給与に関する諸原則」 講義・演習：「旅行命令と服務管理」 講義・演習：「旅行命令と旅費支給」	○				◎		○			★	センター 研修課 0537-24-9720

研修一覧表

対象校種ごとに日付順で掲載しています。

各研修の詳細については、全国教員研修プラットフォーム（Plant）で御確認ください。

全国教員研修
プラットフォーム



【センター 希望研修】（高等学校対象）																
No.	研修名	開催日	研修 日数	定員	実施 形態	研修内容	資質能力				キャリアステージ				管理職等 のみ対象	研修主管課 電話番号
							教育的素養・総合的 人間力	授業力	生徒指導力	教育業務遂行力	組織運営力	基礎・向上期	充実・発展期	深化・熟練期		
29	マネジメント講座10ー学校事故と情報公開ー	8月～11月	1日	無制限	オンデマンド配信型	<目標> ①法的視点に立った学校事故の予防と対応について理解する。 ②情報公開制度と個人情報保護の基本について理解を深める。 ③学校事故と情報公開に関する知識を職務の遂行に活用しようとする意欲を高める。 <内容> 講義・演習①：「学校事故の予防と対応」 講義・演習②：「情報の管理と公開方法」 ※基礎・向上期、深化・熟練期の教職員も受講できる。	○			◎	○					センター 研修課 0537-24-9720
30	特別支援教育における子どもの特性に応じたICT活用～実践事例から学ぶ～	9月2日(火)	1日	100	ハイブリッド型	<目標> ①特別な支援を必要とする子どもの特性に応じたICT活用について基本的な考え方や方法を理解する。 ②子どもの特性に応じたICT活用の実践事例を参考に、実践への意欲を高める。 <内容> 講演・グループワーク：「子どもの特性に応じたICT活用」 講師：山口県立大学 社会福祉学部 講師 山崎 智仁 氏 実践紹介：県内の特別支援学校、特別支援学級よりICT活用の実践発表	○	◎				○	○	○		センター 特別支援課 0537-24-9755
31	教育相談スキルアップ研修ー事例から学ぶ学校カウンセリングスキルー	9月19日(金)	1日	50	集合	<目標> ①教育相談において必要な学校カウンセリングスキルを理解する。 ②事例検討を通して学校カウンセリングスキルの理解を深める。 ③講演や演習で得た教育相談的な関わり方を、今後の教育実践に生かそうとする意欲を高める。 <内容> 講演・演習：「事例から学ぶ学校カウンセリングスキル」（カウンセリングスキル 個に応じた指導 事例検討） 講演講師：静岡大学教育学部 講師 村上 広美 氏	○		◎			○	○			センター 教育相談課 0537-24-9735
32	紙とデジタルのベストミックスで情報活用能力を育む授業づくり 学校図書館活用研修	9月26日(金)	1日	30	集合	<目標> ①学校図書館の活用が児童生徒の自発的、主体的な学習活動につながることを理解することができる。 ②学校図書館内外の資料・情報を活用した学び方について、理解し、実践する手立てをつかむ。 ③学校図書館内外の資料・情報を活用した学習指導や教科指導について実際の指導方法をつかむ。 <内容> 講義・演習：「紙とデジタルのベストミックスによる授業づくり」（仮） 講師：青山学院大学 准教授 庭井 史絵 氏 講義：「著作権と教育活動・学校図書館」 講師：静岡県立中央図書館 調査課	○			◎		○	○	○		センター 総務企画・ICT 推進課 0537-24-9715

研修一覧表

対象校種ごとに日付順で掲載しています。
各研修の詳細については、全国教員研修プラットフォーム（Plant）で御確認ください。



【センター 希望研修】（高等学校対象）																		
No.	研修名	開催日	研修 日数	定員	実施 形態	研修内容	資質能力				キャリアステージ				管理職等 のみ対象 その他	研修主管課 電話番号		
							教育的素養・総合的 人間力	授業力	生徒指導力	教育業務遂行力	組織運営力	基礎・向上期	充実・発展期	深化・熟練期			職務に応じた研修	
33	多様な背景を持つ児童生徒の支援－関係機関との連携の在り方－	9月30日 (火)	1日	40	集合	<目標> ①多様な背景を持つ児童生徒について理解する。 ②多様な背景を持つ児童生徒に対する、関係機関と連携した支援方法について理解する。 ③講演等で得た関係機関と連携した支援方法について、今後の教育実践に生かそうとする意欲を高める。 <内容> 講演：「多様な背景を持つ児童生徒の理解」（発達障害、ヤングケアラー、宗教2世、精神疾患などの理解と支援） 講師：静岡大学大学院グローバル共創科学領域 教授 江口 昌克 氏 講義：「SSW（スクールソーシャルワーカー）から見た学校・家庭・福祉との連携」（関係機関との連携 相談支援体制の構築） 講師：静岡県SSW 富井 直美 氏	○		◎				○	○			センター 教育相談課 0537-24- 9735	
34	管理職スキルアップ講座－学校の経営ビジョンづくりと共有化－	10月1日 (水)	1日	無制限	リアルタイム配信型	<目標> ①経営ビジョンづくりと共有化における着眼点を理解する。 ②学校の内外資源を活用した、経営ビジョン構築の見通しをもつ。 ③学校マネジメントを取り入れた自校の経営・運営に対する意欲を高める。 <内容> 講演・演習：「学校の経営ビジョンづくりと共有化」 講師：兵庫教育大学大学院 特任教授 浅野良一 氏	○			○	◎			○	○		★	センター 研修課 0537-24- 9720
35	マネジメント講座3－学校の経営ビジョンづくりと共有化－	10月1日 (水)	1日	60	集合	<目標> ①経営ビジョンづくりと共有化における着眼点を理解する。 ②学校の内外資源を活用した、経営ビジョン構築の見通しをもつ。 ③学校マネジメントを取り入れた自校の経営・運営に対する意欲を高める。 <内容> 講演：「学校の経営ビジョンづくりと共有化」 講師：兵庫教育大学大学院 特任教授 浅野良一 氏	○			○	◎			○	○		★	センター 研修課 0537-24- 9720
36	SEL（社会性と情動の学習-Social and Emotional Learning-）を生かした不登校の未然防止	10月24日 (金)	1日	50	集合	<目標> ①不登校の未然防止につながる児童生徒の実情や、SELについて理解する。 ②児童生徒理解のための新たな視点を習得する。 ③講演や演習で得た不登校の未然防止のための知識や視点を、今後の教育実践に生かそうとする意欲を高める。 <内容> 講演・演習：「SELを生かした不登校の未然防止」（社会情動的スキル レジリエンス） 講師：静岡大学教育学部 教授 小林 朋子 氏	○		◎				○	○			センター 教育相談課 0537-24- 9735	
37	マネジメント講座4－組織の活性化と管理者の役割－	10月28日 (火)	1日	60	集合	<目標> ①組織を活性化するための、管理者の役割を理解する。 ②学校組織の特徴を踏まえた、組織活性化のためのビジョン構築の見通しをもつ。 ③学校マネジメントを取り入れた自校の経営・運営に対する意欲を高める。 <内容> 講演：「学校組織の改善と活性化－管理職のリーダーシップと協働のマネジメント－」 講師：国士舘大学体育学部 教授 北神 正行 氏	○			○	◎			○	○		★	センター 研修課 0537-24- 9720

研修一覧表

対象校種ごとに日付順で掲載しています。

各研修の詳細については、全国教員研修プラットフォーム（Plant）で御確認ください。

全国教員研修
プラットフォーム



【センター 希望研修】（高等学校対象）																
No.	研修名	開催日	研修 日数	定員	実施 形態	研修内容	資質能力				キャリアステージ				管理職等 のみ対象	研修主管課 電話番号
							教育的素養・総合的 人間力	授業力	生徒指導力	教育業務遂行力	組織運営力	基礎・向上期	充実・発展期	深化・熟練期		
38	教育相談スキルアップ研修－保護者との効果的な教育相談－	11月12日 (水)	1日	40	集合	<目標> ①教育相談の考え方や進め方についてより深く理解する。 ②保護者と信頼関係を築くために必要となる教育相談的な関わり方について理解する。 ③講義や演習で得た保護者との教育相談的な関わり方を、今後の教育実践に生かそうとする意欲を高める。 <内容> 講義：「保護者との教育相談的な関わり方について」（オンデマンド：視聴及び事前課題） 演習：「保護者と良好な信頼関係を築くための教育相談的な関わり方の実際」（集合研修） ※オンデマンド・事前課題0.5日＋集合0.5日の1日研修です。 ※演習は担任向けの内容になりますので、養護教諭の方は対象外とします。	○			◎			○	○		センター 教育相談課 0537-24-9735
39	日本の学校、なんでやねん リターンズ	11月13日 (木)	0.5日 (PM)	60	ハイブリッド型	<目標> ①教育に多様な大人が関わることの意義を理解できる。 ②学校が果たすべき役割について再考し、業務改善への視点をもつ。 ③自校の課題を見出し、その解決に向け地域や家庭と連携・協働する意欲を高める。 <内容> 講義：「学校と地域の連携・協働のしくみ」（仮） 講師：静岡県教育委員会 義務教育課・社会教育課 講義：「日本の学校、なんでやねん」（仮） 講師：京都精華大学 教授 ウスビ・サコ氏 グループ別協議 質疑応答	◎				○		○	○		センター 総務企画・ICT 推進課 0537-24-9715
40	児童生徒のウェルビーイング向上を支える教職員のためのラーニング・セッションⅡ	12月9日 (火)	0.5日 (PM)	50	ハイブリッド型	<目標> ①今後の教育改革の方向性や教職員に求められることについて理解する。 ②小中高特の学びの継続性や教科等横断的な視点といった広い視野をもって深く思考する。 ③講演や協議を日々の教育実践に生かそうとする意欲を高める。 <内容> 講演：「児童生徒の学習過程についてリフレクションする持続的で協働的な授業研究」（仮） 講師：国立教育政策研究所 総括研究官 白水 始氏 トーク・セッション：教職員、センター所員、その他事務局職員の混合グループ編成による座談会 受講は、ⅠまたはⅡ、Ⅰ及びⅡのいずれも可	○	○		◎		○	○	○		センター SCoPEプロ ジェクトチーム
41	高等学校芸術教科専門研修	12月10日 (水)	1日	10	集合	<目標> ①芸術科目の授業改善に必要な教科領域専門性の向上のための知識と技術を高める。 ②芸術科目の授業力に関する自己の課題を明確にし、授業改善への意欲を高める。 <内容> 講義・演習：「音楽科目における現状と課題について」 講師：文部科学省初等中等教育局教育課程課教科調査官 河合 紳和氏 協議：「授業力向上のために」		◎	○			○	○	○		センター 高等学校支援課 0537-24-9760

研修一覧表

対象校種ごとに日付順で掲載しています。
各研修の詳細については、全国教員研修プラットフォーム（Plant）で御確認ください。



【センター 希望研修】（高等学校対象）															
No.	研修名	開催日	研修 日数	定員	実施 形態	研修内容	資質能力				キャリアステージ				研修主管課 電話番号
							教育的 素養・ 総合的 人間力	授 業 力	生徒 指導 力	教育 業務 遂行 力	組織 運営 力	基礎・ 向上 期	充 実・ 発展 期	職 務に 応じた 研修 その他	
42	人権課題を「知る」「見つめる」「感じる」研修	12月12日 (金)	0.5日 (PM)	30	リアルタイム配信型	<目標> ①人権教育の基本的な知識を得る。 ②教職員自身の人権感覚を高める契機を得る。 ③児童生徒教職員の人権を尊重した学校環境づくりについて、見通しをもつ。 <内容> 講義①：「本県の人権教育推進の取組について」 講師①：教育政策課 人権・教員育成班 講義②：「外国にルーツをもつ子どもたちの教育課題について」 講師②：静岡文化芸術大学 文化政策学部 国際文化学科 准教授 佐伯 康考 氏 協議：「人権感覚あふれる学校・学級づくりのためにできることは何か」	○		◎			○	○	○	センター 高等学校支援課 0537-24-9760
43	高等学校キャリア教育研修－生徒のキャリア発達支援－	12月22日 (月)	1日	20	集合	<目標> ①キャリア教育の理念や基礎知識に関する理解を深める。 ②生徒のキャリア発達を支援するために何ができるかについて、手がかりを得る。 ③自校でキャリア教育を推進するために何ができるかについて、手がかりを得る。 <内容> 講義：「全国キャリア教育・進路指導担当者等研究協議会報告」 講師：今年度協議会参加者 講演：「学習指導要領におけるキャリア教育」 講師：東北福祉大学 教授 長田 徹 氏 演習：「各学校でキャリア教育を推進するために」	○		◎			○	○		センター 高等学校支援課 0537-24-9726
44	共通教科「理数」から始まる探究的な学び	12月23日 (火)	1日	24	集合	<目標> ①共通教科「理数」の基本的な考え方について理解を深める。 ②共通教科「理数」を生かし、探究活動の単元構想、探究の指導方法について理解を深める。 ③共通教科「理数」を通して、探究活動への意欲を高める。 <内容> 講義・演習：「共通教科『理数』を生かしてワンランク上の探究活動を目指すには」 講演：「探究の質と過程の理解に向けて」（オンライン配信） 講師：国立教育政策研究所 教育課程研究センター 松原 憲治 氏 協議：各学校における今後の探究的な学びの取組について	○	◎				○	○		センター 高等学校支援課 0537-24-9725
45	社会科授業づくり研修（中・高）	12月24日 (水)	1日	40	ハイブリッド型	<目標> ①社会的な見方・考え方について理解する。 ②社会的な見方・考え方を働かせた問いを軸にした単元構想、授業構想について知識を得る。 ③中学校社会科、地理歴史科、公民科の授業改善について見通しをもつ。 <内容> 講演：「『社会的な見方・考え方』を働かせた『思考力、判断力、表現力等』の育成」 講師：国立教育政策研究所 教育課程研究センター 教育課程調査官 空 健太 氏 講義・演習：「地理・歴史・公民の分野別研修」（センター指導主事）	○	◎				○	○		センター 高等学校支援課 0537-24-9763

研修一覧表

対象校種ごとに日付順で掲載しています。
各研修の詳細については、全国教員研修プラットフォーム（Plant）で御確認ください。



【センター 希望研修】（高等学校対象）																		
No.	研修名	開催日	研修 日数	定員	実施 形態	研修内容	資質能力				キャリアステージ				管理職等 のみ対象 その他	研修主管課 電話番号		
							教育的素養・総合的 人間力	授業力	生徒指導力	教育業務遂行力	組織運営力	基礎・向上期	充実・発展期	深化・熟練期			職務に応じた研修	
46	マネジメント講座５－職場における人材育成－	1月16日 (金)	1日	70	集合	<目標> ①人材育成に関する必要な知識・技能について理解を深める。 ②自校における人材育成上の課題を明確にする。 ③自校の経営・運営に資する人材育成に取り組む意欲を高める。 <内容> 講義・演習：「大人が育つ職場づくり」 講師：帝京大学大学院 准教授 町支 大祐氏	○			○	◎			○	○	★	センター 研修課 0537-24-9720	
47	高等学校理科教材づくり研修	2月9日(月)	1日	24	集合	<目標> ①高等学校理科の観察・実験方法や、授業における教材・教具の扱い方に関する知識・技能を習得する。 ②4科目における観察・実験方法を学ぶことで、専門性を高めるとともに、非専門科目の授業力向上を図る。 ③高等学校学習指導要領の趣旨や内容について確認し、科学的な探究を意識した授業構想やICTの効果的な活用について理解を深める。 <内容> 観察・実験Ⅰ：地学（学校講師） 観察・実験Ⅱ及びⅢ：物理、化学、生物分野から2分野選択 講義・演習：「科学的に探究することを意識した授業計画」 eラーニング：「実験における安全管理について」、「電子顕微鏡の紹介」	○	◎					○					センター 高等学校支援課 0537-24-9725
48	大学進学進路指導スキルアップ研修	2月12日 (木)	1日	35	集合	<目標> ①3年間を見通した大学進学に向けた進路指導の方法について理解する。 ②キャリア教育を踏まえた進路検討会の在り方について理解する。 ③個に応じた面談指導について考える。 <内容> ・講義「3年間を見通した大学進学に向けた進路指導について」（センター指導主事） ・演習「キャリア教育を踏まえた進路検討会の在り方について－進路データの多面的な分析－」 ・演習「個に応じた面談指導」	○			◎			○					センター 高等学校支援課 0537-24-9763

研修一覧表

対象校種ごとに日付順で掲載しています。
各研修の詳細については、全国教員研修プラットフォーム（Plant）で御確認ください。

全国教員研修
プラットフォーム



【センター 希望研修】（特別支援学校対象）											※初任・6年次研修の選択研修は「基礎・向上期」から選択									
No.	研修名	開催日	研修 日数	定員	実施 形態	研修内容	資質能力				キャリアステージ				管理職等のみ対象 その他	研修主管課 電話番号				
							教育的素養・総合的人間力	授業力	生徒指導力	教育業務遂行力	組織運営力	基礎・向上期	充実・発展期	深化・熟練期			職務に応じた研修			
1	特別支援学校 フォローアップ研修	5月27日 (火)	1日	20	集合	<目標> ①教員としての使命感や倫理観、継続的な自己研修への自覚を高める。 ②学習指導における専門的な知識・技能に関する理解を深める。 ③学習指導における自己課題を把握し、授業改善等に努めようとする意欲を高める。 <内容> 講義：「特別支援教育の現状と課題」 講義・演習：「学習指導要領とこれからの学びの姿」 講義・演習：「授業づくりⅡ－①」 講義・演習：「障害特性の理解とそれに応じた指導支援」 グループワーク：「わたしの目指す授業及び自己課題」	○	◎		○		○					特別支援教育課 人事班 054-221-3150			
2	教育相談スキルアップ研修－信頼関係を築く教育相談の基本－	7月17日 (木)	1日	30	その他	<目標> ①教育相談の考え方や進め方について理解する。 ②児童生徒や保護者との信頼関係を築くために必要となる面接の知識や技能を理解する。 ③講義や演習で得た教育相談の基本を、今後の教育実践に生かそうとする意欲を高める。 <内容> 講義：「信頼関係を築く教育相談の基本姿勢」（オンデマンド：視聴及び事前課題） 演習：「面接相談の実際」（集合研修） ※オンデマンド・事前課題0.5日＋集合0.5日の1日研修です。 ※初任者研修と重複する内容がありますので、初任者の方は対象外とします。	○		◎			○	○				センター 教育相談課 0537-24-9735			
3	個別最適な学びと協働的な学びの実現に向けたICTの活用（実践編）	7月28日 (月)	0.5日 (PM)	100	リアルタイム配信型	<目標> ①「個別最適な学び」と「協働的な学び」の実現について理解を深める。 ②ICTを活用した「個別最適な学び」と「協働的な学び」を取り入れた授業構想の見通しをもつ。 ③自身が担当する授業において、ICTを活用した「個別最適な学び」と「協働的な学び」を取り入れようとする意欲を高める。 <内容> 講義：「個別最適な学びと協働的な学びの実現について」 講師：東京学芸大学 教授 北澤 武 氏 パネルディスカッション：「個別最適な学びと協働的な学びの実現を目指した授業実践」 協議：「資質・能力の育成につながるICTを活用した『個別最適な学び』と『協働的な学び』について」	○	◎				○					センター SCoPEプロジェクトチーム			
4	高等学校情報科授業づくり基礎研修	7月30日 (水)	1日	28	集合	<目標> ①高等学校学習指導要領共通教科「情報」の指導内容や指導方法について理解する。 ②共通教科「情報」の目標を達成するための授業実践に必要な資質・能力を身に付ける。 ③問題の発見・解決や探究的な学びを取り入れた授業づくりへの意欲を高める。 <内容> 講義：「大学入学共通テストから考える授業デザインと育成すべき資質・能力」 講義：「主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業構想」 演習：「授業構想の作成」 大学入学共通テスト「情報Ⅰ」の問題作成方針を踏まえた授業づくりのポイントや指導内容及び指導方法について理解を深めることができる研修です。充実・発展期、深化・熟練期の教員も受講できます。	○	◎				○					センター 高等学校支援課 0537-24-9725			

研修一覧表



対象校種ごとに日付順で掲載しています。
各研修の詳細については、全国教員研修プラットフォーム（Plant）で御確認ください。

【センター 希望研修】（特別支援学校対象）							※初任・6年次研修の選択研修は「基礎・向上期」から選択										
No.	研修名	開催日	研修日数	定員	実施形態	研修内容	資質能力				キャリアステージ				管理職等のみ対象 その他	研修主管課 電話番号	
							教育的素養・総合的人間力	授業力	生徒指導力	教育業務遂行力	組織運営力	基礎・向上期	充実・発展期	深化・熟練期			職務に応じた研修
5	国語科授業づくり研修（小）～主体的・対話的で深い学びの視点から考える授業改善～	7月～11月	1日	30	オンデマンド配信型	<目標> ①国語科の授業構想についての知識を理解し、学習指導案を作成、修正することができる。 ②動画の視聴を通して得た知識を生かして授業の実践に向けての意欲を持ち、授業改善の計画を立てることができる。 <内容> ①講義：「主体的・対話的で深い学びの視点から考える小学校国語科の授業づくりについて」 ②：①の内容を踏まえ、これまでに作成した学習指導案を見直し、修正する。	○	◎				○					センター 小中学校支援課 0537-24-9730
6	小中学校体育指導者講習会	静西8月1日（金） 静東8月5日（火）	0.5日	280	集合	<目標> ①学習指導要領の内容の理解を深める。 ②学習指導要領の内容理解を踏まえ、授業改善の視点を明確にする。 ③講師より伝達される講義、実技、演習を通して、具体的な指導方法を学ぶ。 <内容> 講義・演習：「学習指導要領の内容、具体的な指導方法等」 講師：スポーツ庁主催の中央研修に参加した学校講師	○	◎				○					センター 小中学校支援課 0537-24-9731
7	国語の単元構想力アップ研修（中・高）～目標に準拠した評価の在り方～	8月4日（月）	1日	30	集合	<目標> ・目標に準拠した評価の在り方について理解を深める。 ・言語活動を生かした単元構想について理解を深める。 ・単元構想案の作成を通して、主体的・対話的で深い学びの実現を目指した授業を実践する意欲を高める。 <内容> 講義：「国語科の授業における評価の在り方」 実践発表：「指導と評価の一体化を意識した単元構想」 講師：中学校国語科教員（予定） 演習：「主体的・対話的で深い学びを実現する単元構想」	○	○				○	○				センター 高等学校支援課 0537-24-9763
8	小中学校外国語授業づくりスキルアップ研修	8月4日（月）	1日	50	集合	<目標> ①学習指導要領に対応した小中学校外国語教育における授業づくりの視点を得ることができる。 ②教材やICTを効果的に活用した単元構想や授業展開など、小中学校外国語教育の授業改善の具体を理解する。 ③外国語科の評価について学び、指導と評価の一体化を図った授業づくりについて理解を深める。 <内容> 講演：「指導と評価の一体化のための授業改善の視点」（仮） 演習：「コミュニケーションの目的、場面、状況等を明確にした単元構想」 講師：関西外国語大学英語キャリア学部 教授 直山 木綿子 氏	○	◎				○	○	○			センター 小中学校支援課 0537-24-9730
9	情報モラル教育実践研修	8月4日（月）	0.5日（AM）	32	リアルタイム配信型	<目標> ①学校における情報モラル教育の基本的な考え方の理解を図る。 ②情報モラル教育に関する実践的な指導方法の手掛かりを得る。 <内容> 講演・演習：「GIGAスクール1人1台端末下における情報モラル教育の進め方」（オンライン） 講師：静岡大学教育学部 准教授 塩田 真吾 氏	○		◎				○				センター 小中学校支援課 0537-24-9731

研修一覧表

対象校種ごとに日付順で掲載しています。
各研修の詳細については、全国教員研修プラットフォーム（Plant）で御確認ください。



【センター 希望研修】（特別支援学校対象）											※初任・6年次研修の選択研修は「基礎・向上期」から選択									
No.	研修名	開催日	研修日数	定員	実施形態	研修内容	資質能力					キャリアステージ					管理職等のみ対象	研修主管課 電話番号		
							教育的素養・総合的人間力	授業力	生徒指導力	教育業務遂行力	組織運営力	基礎・向上期	充実・発展期	深化・熟練期	職務に応じた研修	その他				
10	小学校算数科授業づくり研修～「変化と関係」に焦点を当てた授業づくり～	8月5日(火)	1日	24	集合	<目標> ①学習指導要領における小学校算数科の指導の要点を理解する。 ②小学校算数科（変化と関係）における授業づくりのポイントを理解する。 ③学習指導案の検討を通して、教科指導力や授業構想力の向上のための手掛かりを得て、授業づくりに役立てようとする。 <内容> 講演：「全国学力・学習状況調査の結果から考えるこれからの算数授業～変化と関係領域の学習指導ポイント～」 演習：「算数科（変化と関係）における授業づくりのポイントを押さえた授業構想」 講師：国立教育政策研究所 学力調査官 直海 知子 氏	○	◎				○							センター 小中学校支援課 0537-24-9730	
11	知的障害のある子どもの算数（数学）の単元づくり～子どもの思考に沿った授業デザイナー～	8月5日(火)	0.5日(PM)	100	リアルタイム配信型	<目標> ①学習指導要領に基づいた、知的障害のある子どもの算数（数学）の指導についての理解を深める。 ②得られた知識を基に、知的障害のある子どもの算数（数学）の単元づくりへ生かそうとする意欲を高める。 <内容> 講演・演習：「学習指導要領に基づく算数（数学）の授業づくり」 講師：静岡大学教育学部 准教授 山元 薫 氏	○	◎					○	○					センター 特別支援課 0537-24-9755	
12	高等学校体育指導者講習会	8月5日(火)	1日	120	集合	<目標> ①学習指導要領に対応した授業実践を体験することで、知識や理解を深める。 ②学習指導要領に関する知識や理解から、教材に活用できる見通しをもつ。 ③自己の授業改善の視点を明確にし、授業づくりへの意欲を高める。 <内容> ・「体育・保健体育指導力向上研修」（令和7年5月中央研修）に参加した県内高等学校保健体育科教諭による講義と演習。 ・「体育・保健体育指導力向上研修」の内容により、講義と演習の内容が決定する。 ※経験年数や年齢により一部悉皆対象となる。詳細はPlant参照。	○	◎					○						センター 高等学校支援課 0537-24-9760	
13	CAN-DOリストに基づく単元構想研修	8月6日(水)	0.5日(PM)	30	リアルタイム配信型	<目標> ①CAN-DOリストに基づく言語活動を中心とした授業づくりについて理解する。 ②言語活動を中心とした授業における評価の在り方について理解する。 ③指導と評価が有機的につながる単元構想について考える。 <内容> 講義：「CAN-DOリストに基づいた指導と評価の一体的な改善について」（大学教授） 協議：「実際の作問例を基に、効果的な単元構想を考える」（センター指導主事）	○	◎					○	○					センター 高等学校支援課 0537-24-9726	
14	技術・家庭科（技術分野）授業づくり研修	8月8日(金)	0.5日(AM)	8	集合	<目標> ①「情報の技術」を中心に学習指導要領で扱う内容について理解する。 ②日頃の教育実践を振り返り、授業改善の手掛かりを得る。 ③所属校における具体的な指導内容や方法を構想するための手法を理解する。 <内容> 講演：「先進技術を活用した『情報の技術』の題材構想」 演習：「3Dプリンタを活用した授業構想」 講師：静岡大学教育学部 講師 室伏 春樹 氏	○	◎					○						センター 小中学校支援課 0537-24-9731	

研修一覧表

対象校種ごとに日付順で掲載しています。
各研修の詳細については、全国教員研修プラットフォーム（Plant）で御確認ください。



【センター 希望研修】（特別支援学校対象）													※初任・6年次研修の選択研修は「基礎・向上期」から選択									
No.	研修名	開催日	研修 日数	定員	実施 形態	研修内容	資質能力					キャリアステージ					管理職等のみ対象 その他	研修主管課 電話番号				
							教育的素養・総合的人間力	授業力	生徒指導力	教育業務遂行力	組織運営力	基礎・向上期	充実・発展期	深化・熟練期	職務に応じた研修							
15	各教科等を合わせた指導の授業づくり	8月8日(金)	0.5日 (PM)	100	リアルタイム配信型	<目標> ①各教科等を合わせた指導の授業づくりについて理解する。 ②得られた知識を基に、各教科等を合わせた指導の授業づくりへ生かそうとする意欲を高める。 <内容> 講演・演習：「各教科等を合わせた指導の授業づくり」 講師：植草学園短期大学 こども未来学科 特別教授 佐藤 慎二 氏	○	◎					○	○				センター 特別支援課 0537-24-9755				
16	高等学校数学科授業づくり基礎研修	8月18日 (月)	1日	20	集合	<目標> ①高等学校数学科の統計分野における「付けたい力」について理解する。 ②小中学校での学習内容を踏まえた上で、高等学校における指導事項等について理解する。 ③統計分野の学習を通して問題解決能力や新たな課題を見いだす能力を育成する授業を実践する意欲を高める。 <内容> 講義：「統計教育」 講義：「主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業構想」 演習：「授業構想の作成」 充実・発展期の教員も受講できます。	○	◎					○					センター 高等学校支援課 0537-24-9725				
17	児童生徒のウェルビーイング向上を支える教職員のためのラーニング・セッションⅠ	8月18日 (月)	0.5日 (PM)	50	ハイブリッド型	<目標> ①今後の教育改革の方向性や教職員に求められることについて理解する。 ②小中高特の学びの継続性や教科等横断的な視点といった広い視野をもって深く思考する。 ③講演や協議を日々の教育実践に生かそうとする意欲を高める。 <内容> 講演：「学力アセスメントの動向と展望」（仮） 講師：青山学院大学 教授 益川 弘如 氏 トーク・セッション：教職員、センター所員、その他事務局職員の混合グループ編成による座談会 受講は、ⅠまたはⅡ、Ⅰ及びⅡのいずれも可	○	○		◎			○	○	○			センター SCoPEプロジェクトチーム				
18	SDGs教育推進研修	8月19日 (火)	0.5日 (PM)	60	ハイブリッド型	<目標> ①国際理解教育、SDGsについての理解を深める。 ②参加型手法を体験し、自校においてSDGs教育を導入する手がかりを得る。 ③自校においてSDGs教育を推進しようとする意欲を高める。 <内容> 講義・ワークショップ：「教室から広がるSDGs—持続可能な社会を実現する授業づくり—」 講師：JICA中部	○	○	◎					○	○	○		センター 総務企画・ICT推進課 0537-24-9706				

研修一覧表

対象校種ごとに日付順で掲載しています。
各研修の詳細については、全国教員研修プラットフォーム（Plant）で御確認ください。



【センター 希望研修】（特別支援学校対象）													※初任・6年次研修の選択研修は「基礎・向上期」から選択									
No.	研修名	開催日	研修日数	定員	実施形態	研修内容	資質能力					キャリアステージ					管理職等のみ対象 その他	研修主管課 電話番号				
							教育的素養・総合的人間力	授業力	生徒指導力	教育業務遂行力	組織運営力	基礎・向上期	充実・発展期	深化・熟練期	職務に応じた研修							
19	マネジメント講座Ⅸ-教職員のための勤務・サービス	8月19日 (火)	1日	無制限	リアルタイム配信型	<目標> ①教職員の勤務・サービスの基礎的知識を理解する。 ②教職員の勤務・サービスに関する実践的スキルについて理解を深める。 ③教職員の勤務・サービスに関する知識を職務の遂行に活用しようとする意欲を高める。 <内容> 講義・演習：「教職員の勤務・サービスについて（勤務規程・身分・勤務時間等）」 講義・演習：「教職員の勤務・サービスについて（休暇・休業）」 ※基礎・向上期、深化・熟練期の教職員も受講できる。	○			◎			○					センター 研修課 0537-24-9720				
20	STEAM教育基礎研修	8月19日 (火)	1日	20	集合	<目標> ①STEAM教育の概念について理解する。 ②STEAM教育を取り入れた授業づくりの視点を育てる。 ③STEAM教育を取り入れた授業づくりへの意欲を高める。 <内容> 講義・演習：「デザイン思考と領域横断的なワークショップ」 演習・実習：「STEAM教材の基礎」	○	◎					○	○				センター 高等学校支援課 0537-24-9725				
21	社会科授業づくり研修（小）～子供が考える授業づくり～	8月19日 (火)	1日	35	集合	<目標> ①学習指導要領における授業改善のポイントについて理解を深める。 ②子供が考える授業づくりに必要な視点や方法についての理解を深める。 ③単元構想や授業構想の手掛かりを得る。 <内容> 講演：「子供が考える授業づくり」（オンライン） 講師：文部科学省 初等中等教育局教育課程課 教科調査官 小倉 勝登 氏 講義・演習：「授業改善、授業構想のポイント」「知識構成型ジグソー法」「子供が考える授業づくり」	○	◎					○					センター 小中学校支援課 0537-24-9730				
22	中学校数学科授業づくり研修～関数領域の指導と評価～	8月19日 (火)	1日	24	集合	<目標> ①学習指導要領における中学校数学科の指導の要点を理解する。 ②中学校数学科（関数領域）における授業づくりのポイントを理解する。 ③学習指導案の検討を通して、教科指導力や授業構想力の向上のための手掛かりを得て、授業づくりに役立てようとする。 <内容> 講演：「中学校数学科における授業づくりのポイントについて～関数領域の指導と評価～」（オンライン） 講義・演習：「数学科（関数領域）における授業づくりのポイントを押さえた授業構想」 講師：文部科学省 初等中等教育局 視学官 水谷 尚人 氏	○	◎					○					センター 小中学校支援課 0537-24-9730				

研修一覧表

対象校種ごとに日付順で掲載しています。
各研修の詳細については、全国教員研修プラットフォーム（Plant）で御確認ください。



【センター 希望研修】（特別支援学校対象）													※初任・6年次研修の選択研修は「基礎・向上期」から選択						
No.	研修名	開催日	研修日数	定員	実施形態	研修内容	資質能力				キャリアステージ				管理職等のみ対象	研修主管課 電話番号			
							教育的素養・総合的人間力	授業力	生徒指導力	教育業務遂行力	組織運営力	基礎・向上期	充実・発展期	深化・熟練期			職務に応じた研修		
23	中学校理科教材づくり研修（観察・実験：地球・粒子領域）	8月19日（火）	1日	20	集合	<目標> ①中学校理科の基礎的な観察・実験方法や、授業における教材・教具の扱い方に関する知識・技能を習得する。 ②学習指導要領における授業改善のポイントについて理解を深める。 ③理科教育における今日的な課題や動向について関心をもち、授業改善への意欲を高める。 <内容> 講演：「探究の過程を意識した理科の授業デザイン」 講師：文部科学省 国立教育政策研究所 教育課程調査官 小林 一人 氏 演習：観察・実験の教材づくり（今年度は、「地球領域」・「粒子領域」の内容を扱います。） ※「地球領域」については、地学分野のモデル実験や化石の観察等を行う予定です。「粒子領域」については、化学変化とイオンについての化学実験を行う予定です。	○	◎				○	○	○			センター 小中学校支援課 0537-24-9730		
24	図画工作科・美術科授業づくり研修～表現と鑑賞を関連させた題材構想～	8月19日（火）	1日	20	集合	<目標> ①学習指導要領を基に、表現と鑑賞を関連させた題材構想について理解する。 ②身近な美術作品を活用し、表現と鑑賞を関連させた題材を構想することで、学習効果を高める授業展開について考える。 <内容> 講演・演習：「県立美術館作品を使った鑑賞の活動」 講師：県立美術館学芸課主任 山本 勇実 氏 講義：「学習指導要領に基づく図画工作科・美術科授業の授業について」 演習：「表現と鑑賞を関連させた題材構想」	○	◎				○					センター 小中学校支援課 0537-24-9731		
25	家庭科授業づくり研修（小・中）－衣生活の指導の充実を目指して－	8月19日（火）	0.5日（PM）	35	集合	<目標> ①学習指導要領における家庭科の指導の要点を理解する。 ②学習過程を基にした題材構想や授業構想の手掛かりを得る。 <内容> 講演・演習：「浴衣の着付け」 講師：日本和装 増田 清美 氏 講義・演習：「衣生活に係る項目における題材構想」	○	◎				○					センター 小中学校支援課 0537-24-9731		
26	学校体育実技（武道）認定講習	8月19日（火）～8月21日（木）	3日	20	集合	<目標> ①武道（柔道）の指導に関する知識や理解を深める。 ②武道（柔道）の指導に関する自己の課題を明確にする。 ③武道（柔道）の技術を向上させる（昇段する）。 <内容> 講演・実習：「武道（柔道）の指導法」 講師：静岡県柔道協会講師	○	◎				○					センター 小中学校支援課 0537-24-9731		

研修一覧表

対象校種ごとに日付順で掲載しています。
各研修の詳細については、全国教員研修プラットフォーム（Plant）で御確認ください。



【センター 希望研修】（特別支援学校対象）												※初任・6年次研修の選択研修は「基礎・向上期」から選択									
No.	研修名	開催日	研修日数	定員	実施形態	研修内容	資質能力					キャリアステージ					管理職等のみ対象 その他	研修主管課 電話番号			
							教育的素養・総合的人間力	授業力	生徒指導力	教育業務遂行力	組織運営力	基礎・向上期	充実・発展期	深化・熟練期	職務に応じた研修						
27	インクルーシブな教育の推進に向けて 私たちができること	8月19日 (火)	1日	100	集合	※基礎・向上期の教員においては、「交流及び共同学習」を推進している教員 <目標> ①インクルーシブな教育の推進についての基本的な知識や理念を理解する。 ②「交流及び共同学習」の実践事例を参考に、インクルーシブな教育の推進に向けて、教職員ができることの可能性を見出すと共に、実践への意欲を高める。 <内容> 講演：「インクルーシブな教育の推進に向けて 私たちができること」 講師：独立行政法人 国立特別支援教育総合研究所 インクルーシブ教育システム推進センター センター長 久保山 茂樹 氏 実践紹介：県内の小学校、中学校、高等学校、特別支援学校より「交流及び共同学習」に関する実践発表 シンポジウム：「インクルーシブな教育の推進に向けて 私たちができること」 講義：「共生・共育」（静岡県版インクルーシブ教育システム）の在り方について」	◎											センター 特別支援課 0537-24-9755			
28	マネジメント講座6ーこれからの学校における働き方改革ー	8月20日 (水)	1日	60	集合	<目標> ①業務改善に関する必要な知識・技能について理解を深める。 ②自校における業務改善の課題を明確にする。 ③自校の働き方改革に対する意欲を高める。 <内容> 講義・演習：「これからの学校における働き方改革」 講師：帝京大学大学院 准教授 町支 大祐 氏 運営：高校教育課	○				◎						★	センター 研修課 0537-24-9720			
29	不登校に対するチーム支援の在り方	8月21日 (木)	1日	36	集合	<目標> ①不登校の早期発見・早期対応について理解する。 ②不登校の組織的な対応について理解する。 ③講義や演習で得た不登校に対するチーム支援の在り方を、今後の教育実践に生かそうとする意欲を高める。 <内容> 講義・演習：「チームで支援する不登校」（不登校の早期発見・早期対応 組織的対応模擬ケース会議）	○				◎			○	○			センター 教育相談課 0537-24-9735			
30	学級経営力向上研修	8月22日 (金)	1日	120	リアルタイム配信型	<目標> ①学級経営を向上させるための基本的な考え方を理解する。 ②学級経営上の課題解決のための具体的な手立てを理解する。 ③良好な学級経営に向けた指導技術等を活用する意欲を高める。 <内容> 講師：鳴門教育大学大学院学校教育研究科 久我 直人 氏 講義・演習①：「支え合い、学び合う学級をつくる教師の在り方」 講義・演習②：「子どもの内面理解に基づく学級経営」 グループワーク（研修成果の共有）	○		◎				○					センター 高等学校支援課 0537-24-9763			

研修一覧表

対象校種ごとに日付順で掲載しています。
各研修の詳細については、全国教員研修プラットフォーム（Plant）で御確認ください。



【センター 希望研修】（特別支援学校対象）										※初任・6年次研修の選択研修は「基礎・向上期」から選択									
No.	研修名	開催日	研修日数	定員	実施形態	研修内容	資質能力					キャリアステージ					管理職等のみ対象	研修主管課 電話番号	
							教育的素養・総合的人間力	授業力	生徒指導力	教育業務遂行力	組織運営力	基礎・向上期	充実・発展期	深化・熟練期	職務に応じた研修	その他			
31	プログラミング教育実践研修	8月22日 (金)	0.5日 (AM)	24	集合	<目標> ①学校におけるプログラミング教育の基本的な考え方の理解を図る。 ②教科等でのプログラミング教育の指導方法を知る。 ③プログラミング教育の演習を通して、簡単なプログラムを組む技能を身につける。 <内容> 講演：「小中学校でのプログラミング教育のねらいについて」 演習・実習：「各学校・各教科等でのプログラミング教育」 講師：静岡大学情報学部 准教授 遠山 紗矢香 氏	○	◎				○						センター 小中学校支援課 0537-24-9731	
32	探究指導者養成研修 一高等学校魅力化につながる総合的な探究の時間の充実に向けて一	8月22日 (金)	1日	25	集合	<目標> ①総合的な探究の時間の基本的な考え方について理解を深める。 ②総合的な探究の時間の単元構想、探究の指導方法について理解を深める。 ③ファシリテーションの価値・可能性を理解し、生徒の探究を支援しようとする意欲を高める。 <内容> 講義・演習「探究学習実践ワークショップ」・総合的な探究の時間の単元構想や探究の指導方法についての講義・演習 講師：産業能率大学 経営学部 教授 杉田一真 氏	○	◎					○					センター 高等学校支援課 0537-24-9763	
33	音楽科授業づくり研修～日本の伝統音楽の指導法～	8月22日 (金)	1日	20	集合	<目標> ①伝統音楽の指導法についての講演を通して教科領域専門性を高め、授業構想についての知識や技能を習得する。 ②講演・演習で得た知識や技能を授業に活用する意欲を高める。 <内容> 講演・演習：「日本の伝統音楽の指導法」（仮） 講師：文部科学省 初等中等教育局 視学官 志民 一成 氏	○	◎					○					センター 小中学校支援課 0537-24-9731	
34	自閉症の児童生徒と関わる先生のための指導法	8月22日 (金)	1日	100	リアルタイム配信型	<目標> ①自閉スペクトラム症の障害特性について理解することができる。 ②得られた知識を基に、自閉スペクトラム症の児童生徒への具体的な支援方法について、本人の立場に立って検討することができる。 <内容> 講演：「自閉スペクトラム症の障害特性の理解」 演習・グループワーク：「自閉スペクトラム症の児童生徒に対する具体的な支援の検討」 講師：一般社団法人たけのこ 理事・統括管理責任者 公益社団法人子どもの発達科学研究所 主任研究員 弓削 香織 氏	○	◎	○				○	○				センター 特別支援課 0537-24-9755	
35	授業の基礎技術研修	8月25日 (月)	0.6日	20	集合	<目標> ①発問、指示、教材の効果的な提示における授業技術を理解する。 ②発問、指示、教材の効果的な提示における改善の視点を心得、児童生徒の実態に即した学習環境の整備について深く思考する。 ③発問、指示、教材の効果的な提示における自己課題を把握し、授業技術の向上に向けた意欲を高める。 <内容> 講義：「授業の基礎技術」 演習・協議：「模擬授業」 事前課題：動画視聴（約30分）	○	◎					○					センター 小中学校支援課 0537-24-9731	

研修一覧表

対象校種ごとに日付順で掲載しています。
各研修の詳細については、全国教員研修プラットフォーム（Plant）で御確認ください。



【センター 希望研修】（特別支援学校対象）												※初任・6年次研修の選択研修は「基礎・向上期」から選択									
No.	研修名	開催日	研修日数	定員	実施形態	研修内容	資質能力				キャリアステージ				管理職等のみ対象 その他	研修主管課 電話番号					
							教育的素養・総合的人間力	授業力	生徒指導力	教育業務遂行力	組織運営力	基礎・向上期	充実・発展期	深化・熟練期			職務に応じた研修				
36	家庭科／福祉科教員のための授業づくり研修	8月26日（火）	0.5日	12	集合	<目標> ①講義・演習を通して、教科指導に関する新しい知識・技術を習得する。 ②学習指導要領の趣旨及び教科で育成を目指す資質・能力について理解を深める。 ③家庭科／福祉科の指導の改善について理解を深める。 <内容> 講義・演習：「地域防災でできること、すべきことを考える～自助、共助、公助による防災・減災」 講師：静岡県立短期大学部 社会福祉学科 准教授 江原 勝幸 氏 高等学校共通教科家庭の「内容A（5）共生社会と福祉」に関する内容です。実践的・体験的な学習活動の充実を図り、実感を伴って理解を深めるための授業づくりについての手がかりを得ます。	○	◎	○			○	○				センター 高等学校支援課 0537-24-9760				
37	困難さを抱える子どものケース会議の進め方	8月26日（木）	1日	60	集合	<目標> ①困難さを抱える子どものニーズの把握と支援についての理解を深める。 ②特別支援教育に関わる連携機関について理解を深め、必要な時に活用できるようにする。 ③ケース会議の開き方や進め方について理解し、今後の実践に生かそうとする意欲を高める。 <内容> 講演：「ケース会議について ～困難さを抱える子どものニーズの把握と支援～」 演習：「効果的なケース会議の進め方 ～持参事例について考える～」 講師：静岡大学 教育学部 教授 香野 毅 氏	○		◎				○	○				センター 特別支援課 0537-24-9755			
38	マネジメント講座2ー学校事務理解ー	8月～12月	1日	無制限	オンデマンド配信型	<目標> ①勤務条件の重要性を理解する。 ②職員管理と勤務条件との関係性の理解を深める。 ③学校事務に関する知識を職務の遂行に活用しようとする意欲を高める。 <内容> 講義・演習：「学校事務の業務内容」 講義・演習：「勤務時間に関する諸原則」 講義・演習：「給与に関する諸原則」 講義・演習：「旅行命令と服務管理」 講義・演習：「旅行命令と旅費支給」	○				◎		○			★	センター 研修課 0537-24-9720				
39	マネジメント講座10ー学校事故と情報公開ー	8月～11月	1日	無制限	オンデマンド配信型	<目標> ①法的視点に立った学校事故の予防と対応について理解する。 ②情報公開制度と個人情報保護の基本について理解を深める。 ③学校事故と情報公開に関する知識を職務の遂行に活用しようとする意欲を高める。 <内容> 講義・演習：①「学校事故の予防と対応」 講義・演習：②「情報の管理と公開方法」 ※基礎・向上期、深化・熟練期の教職員も受講できる。	○		◎	○		○					センター 研修課 0537-24-9720				

研修一覧表

対象校種ごとに日付順で掲載しています。
各研修の詳細については、全国教員研修プラットフォーム（Plant）で御確認ください。



【センター 希望研修】（特別支援学校対象）												※初任・6年次研修の選択研修は「基礎・向上期」から選択									
No.	研修名	開催日	研修日数	定員	実施形態	研修内容	資質能力					キャリアステージ					管理職等のみ対象 その他	研修主管課 電話番号			
							教育的素養・総合的人間力	授業力	生徒指導力	教育業務遂行力	組織運営力	基礎・向上期	充実・発展期	深化・熟練期	職務に応じた研修						
40	特別支援教育における子どもの特性に応じたICT活用～実践事例から学ぶ～	9月2日(火)	1日	100	ハイブリッド型	<目標> ①特別な支援を必要とする子どもの特性に応じたICT活用について基本的な考え方や方法を理解する。 ②子どもの特性に応じたICT活用の実践事例を参考に、実践への意欲を高める。 <内容> 講演・グループワーク：「子どもの特性に応じたICT活用」 講師：山口県立大学 社会福祉学部 講師 山崎 智仁 氏 実践紹介：県内の特別支援学校、特別支援学級よりICT活用の実践発表	○	◎					○	○	○			センター 特別支援課 0537-24-9755			
41	小学校理科教材づくり研修（観察・実験：エネルギー・生命領域）	9月5日(金)	1日	20	集合	<目標> ①小学校理科の基礎的な観察・実験方法や、授業における教材・教具の扱い方に関する知識・技能を習得する。 ②学習指導要領における授業改善のポイントについて理解を深める。 ③理科教育における今日的な課題や動向について関心をもち、授業改善への意欲を高める。 <内容> 講演：「問題解決の力を育む理科の授業づくり～問題を見いだす力の育成を中心に～」 講師：文部科学省 初等中等教育局 教育課程課 教科調査官 有本 淳 氏 演習：観察・実験の教材づくり（今年度は、「エネルギー領域」・「生命領域」の内容を扱います。） ※「エネルギー領域」については、光や電気についての物理実験を行う予定です。「生命領域」については、顕微鏡を用いた観察等を行う予定です。	○	◎					○	○	○			センター 小中学校支援課 0537-24-9730			
42	教育相談スキルアップ研修～事例から学ぶ学校カウンセリングスキル～	9月19日(金)	1日	50	集合	<目標> ①教育相談において必要な学校カウンセリングスキルを理解する。 ②事例検討を通して学校カウンセリングスキルの理解を深める。 ③講演や演習で得た教育相談的な関わり方を、今後の教育実践に生かそうとする意欲を高める。 <内容> 講演・演習：「事例から学ぶ学校カウンセリングスキル」（カウンセリングスキル 個に応じた指導 事例検討） 講演講師：静岡大学教育学部 講師 村上 広美 氏	○		◎					○	○				センター 教育相談課 0537-24-9735		
43	紙とデジタルのベストミックスで情報活用能力を育む授業づくり 学校図書館活用研修	9月26日(金)	1日	30	集合	<目標> ①学校図書館の活用が児童生徒の自発的、主体的な学習活動につながることを理解することができる。 ②学校図書館内外の資料・情報を活用した学び方について、理解し、実践する手立てをつかむ。 ③学校図書館内外の資料・情報を活用した学習指導や教科指導について実際の指導方法をつかむ。 <内容> 講義・演習：「紙とデジタルのベストミックスによる授業づくり」（仮） 講師：青山学院大学 准教授 庭井 史絵 氏 講義：「著作権と教育活動・学校図書館」 講師：静岡県立中央図書館 調査課	○			◎				○	○	○			センター 総務企画・ICT推進課 0537-24-9715		

研修一覧表

対象校種ごとに日付順で掲載しています。
各研修の詳細については、全国教員研修プラットフォーム（Plant）で御確認ください。



【センター 希望研修】（特別支援学校対象）													※初任・6年次研修の選択研修は「基礎・向上期」から選択				
No.	研修名	開催日	研修日数	定員	実施形態	研修内容	資質能力					キャリアステージ					研修主管課 電話番号
							教育的素養・総合的人間力	授業力	生徒指導力	教育業務遂行力	組織運営力	基礎・向上期	充実・発展期	深化・熟練期	職務に応じた研修	管理職等のみ対象 その他	
44	管理職スキルアップ講座－学校の経営ビジョンづくりと共有化－	10月1日 (水)	1日	無制限	リアルタイム配信型	<目標> ①経営ビジョンづくりと共有化における着眼点を理解する。 ②学校の内外資源を活用した、経営ビジョン構築の見通しをもつ。 ③学校マネジメントを取り入れた自校の経営・運営に対する意欲を高める。 <内容> 講演・演習：「学校の経営ビジョンづくりと共有化」 講師：兵庫教育大学大学院 特任教授 浅野良一氏	○			○	◎			○	○		★ センター 研修課 0537-24-9720
45	マネジメント講座3－学校の経営ビジョンづくりと共有化－	10月1日 (水)	1日	60	集合	<目標> ①経営ビジョンづくりと共有化における着眼点を理解する。 ②学校の内外資源を活用した、経営ビジョン構築の見通しをもつ。 ③学校マネジメントを取り入れた自校の経営・運営に対する意欲を高める。 <内容> 講演：「学校の経営ビジョンづくりと共有化」 講師：兵庫教育大学大学院 特任教授 浅野良一氏	○			○	◎			○	○		★ センター 研修課 0537-24-9720
46	SEL（社会性と情動の学習-Social and Emotional Learning-）を生かした不登校の未然防止	10月24日 (金)	1日	50	集合	<目標> ①不登校の未然防止につながる児童生徒の実情や、SELについて理解する。 ②児童生徒理解のための新たな視点を習得する。 ③講演や演習で得た不登校の未然防止のための知識や視点を、今後の教育実践に生かそうとする意欲を高める。 <内容> 講演・演習：「SELを生かした不登校の未然防止」（社会情動的スキル レジリエンス） 講師：静岡大学教育学部 教授 小林 朋子氏	○			◎				○	○		センター 教育相談課 0537-24-9735
47	マネジメント講座4－組織の活性化と管理者の役割－	10月28日 (火)	1日	60	集合	<目標> ・組織を活性化するための、管理者の役割を理解する。 ・学校組織の特徴を踏まえた、組織活性化のためのビジョン構築の見通しをもつ。 ・学校マネジメントを取り入れた自校の経営・運営に対する意欲を高める。 <内容> 講演：「学校組織の改善と活性化－管理職のリーダーシップと協働のマネジメント－」 講師：国士舘大学体育学部 教授 北神 正行氏	○			○	◎			○	○		★ センター 研修課 0537-24-9720
48	特別の教科 道徳授業づくり研修	静西10月29日(水) 静東10月31日(金)	1日	70	集合	<目標> ①講義により、小中学校における特別の教科道徳の授業づくりについて理解する。 ②教材分析シートを活用して、教材の特性を生かした中心発問づくりの手掛かりを得る。 ③1時間の授業構想と協議を通じて、「多面的・多角的な見方」の視点からの授業構想について視野を広げる。 <内容> 講義：「特別の教科 道徳の授業づくり」 「子供の成長を促すための評価」 演習：「教材分析シートを用いた中心発問づくり」「授業構想と協議」	○	◎						○			センター 小中学校支援課 0537-24-9730

研修一覧表

対象校種ごとに日付順で掲載しています。
各研修の詳細については、全国教員研修プラットフォーム（Plant）で御確認ください。



【センター 希望研修】（特別支援学校対象）												※初任・6年次研修の選択研修は「基礎・向上期」から選択									
No.	研修名	開催日	研修日数	定員	実施形態	研修内容	資質能力				キャリアステージ				管理職等のみ対象	研修主管課 電話番号					
							教育的素養・総合的人間力	授業力	生徒指導力	教育業務遂行力	組織運営力	基礎・向上期	充実・発展期	深化・熟練期			職務に応じた研修	その他			
49	教育相談スキルアップ研修－保護者との効果的な教育相談－	11月12日 (水)	1日	40	その他	<目標> ①教育相談の考え方や進め方についてより深く理解する。 ②保護者と信頼関係を築くために必要となる教育相談的な関わり方について理解する。 ③講義や演習で得た保護者との教育相談的な関わり方を、今後の教育実践に生かそうとする意欲を高める。 <内容> 講義：「保護者との教育相談的な関わり方について」（オンデマンド：視聴及び事前課題） 演習：「保護者と良好な信頼関係を築くための教育相談的な関わり方の実際」（集合研修） ※オンデマンド・事前課題0.5日＋集合0.5日の1日研修です。 ※演習は担任向けの内容になりますので、養護教諭の方は対象外とします。	○			◎				○	○			センター 教育相談課 0537-24-9735			
50	日本の学校、なんでやねん リターンズ	11月13日 (木)	0.5日 (PM)	60	ハイブリッド型	<目標> ①教育に多様な大人が関わることの意義を理解できる。 ②学校が果たすべき役割について再考し、業務改善への視点をもつ。 ③自校の課題を見出し、その解決に向け地域や家庭と連携・協働する意欲を高める。 <内容> 講義：「学校と地域の連携・協働のしくみ」（仮） 講師：静岡県教育委員会 義務教育課・社会教育課 講義：「日本の学校、なんでやねん」（仮） 講師：京都精華大学 教授 ウスビ・サコ氏 グループ別協議 質疑応答		◎				○			○	○		センター 総務企画・ICT推進課 0537-24-9715			
51	児童生徒のウェルビーイング向上を支える教職員のためのラーニング・セッションⅡ	12月9日 (火)	0.5日 (PM)	50	ハイブリッド型	<目標> ①今後の教育改革の方向性や教職員に求められることについて理解する。 ②小中高特の学びの継続性や教科等横断的な視点といった広い視野をもって深く思考する。 ③講演や協議を日々の教育実践に生かそうとする意欲を高める。 <内容> 講演：「児童生徒の学習過程についてリフレクションする持続的で協働的な授業研究」（仮） 講師：国立教育政策研究所 総括研究官 白水 始 氏 トーク・セッション：教職員、センター所員、その他事務局職員の混合グループ編成による座談会 受講は、ⅠまたはⅡ、Ⅰ及びⅡのいずれも可	○	○		◎				○	○	○		センター SCoPEプロジェクトチーム			
52	高等学校芸術教科専門研修	12月10日 (水)	1日	10	集合	<目標> ①芸術科目の授業改善に必要な教科領域専門性の向上のための知識と技術を高める。 ②芸術科目の授業力に関する自己の課題を明確にし、授業改善への意欲を高める。 <内容> 講義・演習：「音楽科目における現状と課題について」 講師：文部科学省初等中等教育局教育課程課教科調査官 河合 紳和 氏 協議：「授業力向上のために」		◎	○					○	○	○		センター 高等学校支援課 0537-24-9760			

研修一覧表

対象校種ごとに日付順で掲載しています。
各研修の詳細については、全国教員研修プラットフォーム（Plant）で御確認ください。



【センター 希望研修】（特別支援学校対象）														※初任・6年次研修の選択研修は「基礎・向上期」から選択									
No.	研修名	開催日	研修 日数	定員	実施 形態	研修内容	資質能力					キャリアステージ					管理職等のみ対象 その他	研修主管課 電話番号					
							教育的素養・総合的 人間力	授業力	生徒指導力	教育業務遂行力	組織運営力	基礎・向上期	充実・発展期	深化・熟練期	職務に応じた研修								
53	人権課題を「知る」「見つめる」「感じる」研修	12月12日 (金)	0.5日 (PM)	30	リアルタイム配信型	<目標> ①人権教育の基本的な知識を得る。 ②教職員自身の人権感覚を高める契機を得る。 ③児童生徒教職員の人権を尊重した学校環境づくりについて、見通しをもつ。 <内容> 講義①：「本県の人権教育推進の取組について」 講師①：教育政策課 人権・教員育成班 講義②：「外国にルーツをもつ子どもたちの教育課題について」 講師②：静岡文化芸術大学 文化政策学部 国際文化学科 准教授 佐伯 康考 氏 協議：「人権感覚あふれる学校・学級づくりのためにできることは何か」	○		◎			○	○	○			センター 高等学校支援課 0537-24-9760						
54	高等学校キャリア教育研修－生徒のキャリア発達支援－	12月22日 (月)	1日	20	集合	<目標> ①キャリア教育の理念や基礎知識に関する理解を深める。 ②生徒のキャリア発達を支援するために何が できるかについて、手がかりを得る。 ③自校でキャリア教育を推進するために何が できるかについて、手がかりを得る。 <内容> 講義：「全国キャリア教育・進路指導担当者等研究協議会報告」 講師：今年度協議会参加者 講演：「学習指導要領におけるキャリア教育」 講師：東北福祉大学 教授 長田 徹 氏 演習：「各学校でキャリア教育を推進するために」	○		◎			○	○				センター 高等学校支援課 0537-24-9726						
55	共通教科「理数」から始まる探究的な学び	12月23日 (火)	1日	24	集合	<目標> ①共通教科「理数」の基本的な考え方について理解を深める。 ②共通教科「理数」を生かし、探究活動の単元構想、探究の指導方法について理解を深める。 ③共通教科「理数」を通して、探究活動への意欲を高める。 <内容> 講義・演習：「共通教科『理数』を生かしてワンランク上の探究活動を目指すには」 講演：「探究の質と過程の理解に向けて」（オンライン配信） 講師：国立教育政策研究所 教育課程研究センター 松原 憲治 氏 協議：各学校における今後の探究的な学びの取組について	○	◎				○	○				センター 高等学校支援課 0537-24-9725						
56	社会科授業づくり研修（中・高）	12月24日 (水)	1日	40	ハイブリッド型	<目標> ①社会的な見方・考え方について理解する。 ②社会的な見方・考え方を働かせた問いを軸にした単元構想、授業構想について知識を得る。 ③中学校社会科、地理歴史科、公民科の授業改善について見通しをもつ。 <内容> 講演：「『社会的な見方・考え方』を働かせた『思考力、判断力、表現力等』の育成」 講師：国立教育政策研究所 教育課程研究センター 教育課程調査官 空 健太 氏 講義・演習：「地理・歴史・公民の分野別研修」（センター指導主事）	○	◎				○	○				センター 高等学校支援課 0537-24-9763						

研修一覧表



対象校種ごとに日付順で掲載しています。
各研修の詳細については、全国教員研修プラットフォーム（Plant）で御確認ください。

【センター 希望研修】（特別支援学校対象）											※初任・6年次研修の選択研修は「基礎・向上期」から選択									
No.	研修名	開催日	研修日数	定員	実施形態	研修内容	資質能力				キャリアステージ				管理職等のみ対象 その他	研修主管課 電話番号				
							教育的素養・総合的人間力	授業力	生徒指導力	教育業務遂行力	組織運営力	基礎・向上期	充実・発展期	深化・熟練期			職務に応じた研修			
57	マネジメント講座5－職場における人材育成－	1月16日（金）	1日	70	集合	<目標> ①人材育成に関する必要な知識・技能について理解を深める。 ②自校における人材育成上の課題を明確にする。 ③自校の経営・運営に資する人材育成に取り組む意欲を高める。 <内容> 講義・演習：「大人が育つ職場づくり」 講師：帝京大学大学院 准教授 町支 大祐氏	○			○	◎				○	○	★	センター 研修課 0537-24-9720		
58	高等学校理科教材づくり研修	2月9日（月）	1日	24	集合	<目標> ① 高等学校理科の観察・実験方法や、授業における教材・教具の扱い方に関する知識・技能を習得する。 ② 4科目における観察・実験方法を学ぶことで、専門性を高めるとともに、非専門科目の授業力向上を図る。 ③ 高等学校学習指導要領の趣旨や内容について確認し、科学的な探究を意識した授業構想やICTを効果的に活用した授業構想について理解を深める。 <内容> 観察・実験Ⅰ：地学（学校講師） 観察・実験Ⅱ及びⅢ：物理、化学、生物分野から2分野選択 講義・演習：「科学的に探究することを意識した授業計画」 eラーニング：「実験における安全管理について」、「電子顕微鏡の紹介」	○	◎				○						センター 高等学校支援課 0537-24-9725		
59	大学進学進路指導スキルアップ研修	2月12日（木）	1日	35	集合	<目標> ①3年間を見通した大学進学に向けた進路指導の方法について理解する。 ②キャリア教育を踏まえた進路検討会の在り方について理解する。 ③個に応じた面談指導について考える。 <内容> ・講義「3年間を見通した大学進学に向けた進路指導について」（センター指導主事） ・演習「キャリア教育を踏まえた進路検討会の在り方について－進路データの多面的な分析－」 ・演習「個に応じた面談指導」	○		◎			○						センター 高等学校支援課 0537-24-9763		

研修一覧表

研修主管課ごとに掲載しています。
各研修の詳細については、全国教員研修プラットフォーム（Plant）で御確認ください。



【センター 希望研修】（幼稚園等対象）																	
No.	研修名	開催日	研修日数	定員	実施形態	研修内容	資質能力				キャリアステージ				管理職等のみ対象	研修主管課	
							教育的素養・総合的人間力	授業力	生徒指導力	教育業務遂行力	組織運営力	基礎・向上期	充実・発展期	深化・熟練期			職務に応じた研修 その他
1	教育相談スキルアップ研修－信頼関係を築く教育相談の基本－	7月17日 (木)	1日	30	その他	<目標> ①教育相談の考え方や進め方について理解する。 ②児童生徒や保護者との信頼関係を築くために必要となる面接の知識や技能を理解する。 ③講義や演習で得た教育相談の基本を、今後の教育実践に生かそうとする意欲を高める。 <内容> 講義：「信頼関係を築く教育相談の基本姿勢」（オンデマンド：視聴及び事前課題） 演習：「面接相談の実際」（集合研修） ※オンデマンド・事前課題0.5日＋集合0.5日の1日研修です。 ※初任者研修と重複する内容がありますので、初任者の方は対象外とします。	○		◎			○	○			センター 教育相談課 0537-24-9735	
2	インクルーシブな教育の推進に向けて 私たちができること	8月19日 (火)	1日	100	集合	※基礎・向上期の教員においては、「交流及び共同学習」を推進している教員 <目標> ①インクルーシブな教育の推進についての基本的な知識や理念を理解する。 ②「交流及び共同学習」の実践事例を参考に、インクルーシブな教育の推進に向けて、教職員ができることの可能性を見出すと共に、実践への意欲を高める。 <内容> 講演：「インクルーシブな教育の推進に向けて 私たちができること」 講師：独立行政法人 国立特別支援教育総合研究所 インクルーシブ教育システム推進センター センター長 久保山 茂樹 氏 実践紹介：県内の小学校、中学校、高等学校、特別支援学校より「交流及び共同学習」に関する実践発表 シンポジウム：「インクルーシブな教育の推進に向けて 私たちができること」 講義：「「共生・共育」（静岡県版インクルーシブ教育システム）の在り方について」	◎			○	○	○	○	○		センター 特別支援課 0537-24-9755	
3	自閉症の児童生徒と関わる先生のための指導法	8月22日 (金)	1日	100	リアルタイム配信型	<目標> ①自閉スペクトラム症の障害特性について理解することができる。 ②得られた知識を基に、自閉スペクトラム症の児童生徒への具体的な支援方法について、本人の立場に立って検討することができる。 <内容> 講演：「自閉スペクトラム症の障害特性の理解」 演習・グループワーク：「自閉スペクトラム症の児童生徒に対する具体的な支援の検討」 講師：一般社団法人たけのこ 理事・統括管理責任者 公益社団法人子どもの発達科学研究所 主任研究員 弓削 香織 氏	○	◎	○			○	○			センター 特別支援課 0537-24-9755	
4	困難を抱える子どものケース会議の進め方	8月26日 (木)	1日	60	集合	<目標> ①困難を抱える子どものニーズの把握と支援についての理解を深める。 ②特別支援教育に関わる連携機関について理解を深め、必要な時に活用できるようにする。 ③ケース会議の開き方や進め方について理解し、今後の実践に生かそうとする意欲を高める。 <内容> 講演：「ケース会議について ～困難を抱える子どものニーズの把握と支援～」 演習：「効果的なケース会議の進め方 ～持参事例について考える～」 講師：静岡大学 教育学部 教授 香野 毅 氏	○		◎				○	○			センター 特別支援課 0537-24-9755

研修一覧表

研修主管課ごとに掲載しています。
各研修の詳細については、全国教員研修プラットフォーム（Plant）で御確認ください。



【センター 希望研修】（幼稚園等対象）																
No.	研修名	開催日	研修 日数	定員	実施 形態	研修内容	資質能力				キャリアステージ				管理職等のみ対象	研修主管課
							教育的素養・総合的人間力	授業力	生徒指導力	教育業務遂行力	組織運営力	基礎・向上期	充実・発展期	深化・熟練期		
5	特別支援教育における子どもの特性に応じたICT活用～実践事例から学ぶ～	9月2日(火)	1日	100	ハイブリッド型	<目標> ①特別な支援を必要とする子どもの特性に応じたICT活用について基本的な考え方や方法を理解する。 ②子どもの特性に応じたICT活用の実践事例を参考に、実践への意欲を高める。 <内容> 講演・グループワーク：「子どもの特性に応じたICT活用」 講師：山口県立大学 社会福祉学部 講師 山崎 智仁 氏 実践紹介：県内の特別支援学校、特別支援学級よりICT活用の実践発表	○	◎				○	○	○		センター 特別支援課 0537-24-9755
6	教育相談スキルアップ研修－事例から学ぶ学校カウンセリングスキル－	9月19日(金)	1日	50	集合	<目標> ①教育相談において必要な学校カウンセリングスキルを理解する。 ②事例検討を通して学校カウンセリングスキルの理解を深める。 ③講演や演習で得た教育相談的な関わり方を、今後の教育実践に生かそうとする意欲を高める。 <内容> 講演・演習：「事例から学ぶ学校カウンセリングスキル」（カウンセリングスキル 個に応じた指導 事例検討） 講演講師：静岡大学教育学部 講師 村上 広美 氏	○		◎			○	○			センター 教育相談課 0537-24-9735
7	マネジメント講座3－学校の経営ビジョンづくりと共有化－	10月1日(水)	1日	60	集合	<目標> ①経営ビジョンづくりと共有化における着眼点を理解する。 ②学校の内外資源を活用した、経営ビジョン構築の見通しをもつ。 ③学校マネジメントを取り入れた自校の経営・運営に対する意欲を高める。 <内容> 講演：「学校の経営ビジョンづくりと共有化」 講師：兵庫教育大学大学院 特任教授 浅野 良一 氏	○			○	◎			○	○	センター 研修課 0537-24-9720
8	SEL（社会性と情動の学習-Social and Emotional Learning-）を生かした不登校の未然防止	10月24日(金)	1日	50	集合	<目標> ①不登校の未然防止につながる児童生徒の実情や、SELについて理解する。 ②児童生徒理解のための新たな視点を習得する。 ③講演や演習で得た不登校の未然防止のための知識や視点を、今後の教育実践に生かそうとする意欲を高める。 <内容> 講演・演習：「SELを生かした不登校の未然防止」（社会情動的スキル レジリエンス） 講師：静岡大学教育学部 教授 小林 朋子 氏	○		◎			○	○			センター 教育相談課 0537-24-9735
9	マネジメント講座4－組織の活性化と管理者の役割－	10月28日(火)	1日	60	集合	<目標> ・組織を活性化するための、管理者の役割を理解する。 ・学校組織の特徴を踏まえた、組織活性化のためのビジョン構築の見通しをもつ。 ・学校マネジメントを取り入れた自校の経営・運営に対する意欲を高める。 <内容> 講演：「学校組織の改善と活性化－管理職のリーダーシップと協働のマネジメント－」 講師：国士舘大学体育学部 教授 北神 正行 氏	○			○	◎			○	○	センター 研修課 0537-24-9720

研修一覧表

研修主管課ごとに掲載しています。
各研修の詳細については、全国教員研修プラットフォーム（Plant）で御確認ください。



【センター 希望研修】（幼稚園等対象）																
No.	研修名	開催日	研修 日数	定員	実施 形態	研修内容	資質能力				キャリアステージ				管理職等 のみ対象	研修主管課
							教育的素養・総合的人間力	授業力	生徒指導力	教育業務遂行力	組織運営力	基礎・向上期	充実・発展期	深化・熟練期		
10	教育相談スキルアップ研修－保護者との効果的な教育相談－	11月12日 (水)	1日	40	その他	<目標> ①教育相談の考え方や進め方についてより深く理解する。 ②保護者と信頼関係を築くために必要となる教育相談的な関わり方について理解する。 ③講義や演習で得た保護者との教育相談的な関わり方を、今後の教育実践に生かそうとする意欲を高める。 <内容> 講義：「保護者との教育相談的な関わり方について」（オンデマンド：視聴及び事前課題） 演習：「保護者と良好な信頼関係を築くための教育相談的な関わり方の実際」（集合研修） ※オンデマンド・事前課題0.5日＋集合0.5日の1日研修です。 ※演習は担任向けの内容になりますので、養護教諭の方は対象外とします。	○			◎			○	○		センター 教育相談課 0537-24-9735
11	人権課題を「知る」「見つめる」「感じる」研修	12月12日 (金)	0.5日 (PM)	30	リアルタイム配信型	<目標> ①人権教育の基本的な知識を得る。 ②教職員自身の人権感覚を高める契機を得る。 ③児童生徒教職員の人権を尊重した学校環境づくりについて、見通しをもつ。 <内容> 講義①：「本県の人権教育推進の取組について」 講師①：教育政策課 人権・教員育成班 講義②：「外国にルーツをもつ子どもたちの教育課題について」 講師②：静岡文化芸術大学 文化政策学部 国際文化学科 准教授 佐伯 康考 氏 協議：「人権感覚あふれる学校・学級づくりのためにできることは何か」	○			◎			○	○	○	センター 高等学校支援課 0537-24-9760
12	マネジメント講座5－職場における人材育成－	1月16日 (金)	1日	70	集合	<目標> ①人材育成に関する必要な知識・技能について理解を深める。 ②自校における人材育成上の課題を明確にする。 ③自校の経営・運営に資する人材育成に取り組む意欲を高める。 <内容> 講義・演習：「大人が育つ職場づくり」 講師：帝京大学大学院 准教授 町支 大祐 氏	○			○	◎			○	○	センター 研修課 0537-24-9720

研修一覧表



対象校種ごとに日付順で掲載しています。
各研修の詳細については、全国教員研修プラットフォーム（Plant）で御確認ください。

【センター 希望研修】（事務職員対象）																	
No.	研修名	開催日	研修 日数	定員	実施 形態	研修内容	資質能力				キャリアステージ				班 長級 以上 のみ 対象	研修主管課	
							教育的 素養・ 総合的 人間力	授業 力	生徒 指導 力	教育 業務 遂行 力	組織 運営 力	基礎・ 向上 期	充実・ 発展 期	深化・ 熟練 期			職務に 応じた 研修 その他
1	通信教育研修支援	7月～11月		20	その他	<目標> ①組織の中で職務を遂行するために必要なマネジメント・スキルやビジネス・スキルを身に付ける。 ②マネジメント・スキルやビジネス・スキルを職務の遂行に活用しようとする意欲を高める。 <内容> ・通信教育機関が実施する通信研修コースのうち、センターが指定するコース ・受講期間内に修了した場合は、受講料の1/3を補助する。 ★教育行政職員、小中学校事務職員対象									○	センター 研修課 0537-24- 9720	
2	マネジメント講座9ー教職員のための勤務・サービス	8月19日 (火)	1日	無制限	リアルタイム配信型	<目標> ①教職員の勤務・サービスの基礎的知識を理解する。 ②教職員の勤務・サービスに関する実践的技能について理解を深める。 ③教職員の勤務・サービスに関する知識を職務の遂行に活用しようとする意欲を高める。 <内容> 講義・演習：「教職員の勤務・サービスについて（服務規程・身分・勤務時間等）」 講義・演習：「教職員の勤務・サービスについて（休暇・休業）」 ※基礎・向上期、深化・熟練期の教職員も受講できる。	○			◎			○				センター 研修課 0537-24- 9720
3	インクルーシブな教育の推進に向けて 私たちができること	8月19日 (火)	1日	100	集合	※基礎・向上期の教員においては、「交流及び共同学習」を推進している教員 <目標> ①インクルーシブな教育の推進についての基本的な知識や理念を理解する。 ②「交流及び共同学習」の実践事例を参考に、インクルーシブな教育の推進に向けて、教職員ができることの可能性を見出すと共に、実践への意欲を高める。 <内容> 講演：「インクルーシブな教育の推進に向けて 私たちができること」 講師：独立行政法人 国立特別支援教育総合研究所 インクルーシブ教育システム推進センター センター長 久保山 茂樹 氏 実践紹介：県内の小学校、中学校、高等学校、特別支援学校より「交流及び共同学習」に関する実践発表 シンポジウム：「インクルーシブな教育の推進に向けて 私たちができること」 講義：「「共生・共育」（静岡県版インクルーシブ教育システム）の在り方について」	◎			○	○	○	○	○			センター 特別支援課 0537-24- 9755
4	SDGs教育推進研修	8月19日 (火)	0.5日 (PM)	60	ハイブリッド型	<目標> ①国際理解教育、SDGsについての理解を深める。 ②参加型手法を体験し、自校においてSDGs教育を導入する手がかりを得る。 ③自校においてSDGs教育を推進しようとする意欲を高める。 <内容> 講義・ワークショップ：「教室から広がるSDGsー持続可能な社会を実現する授業づくりー」 講師：JICA中部	○	○	◎				○	○	○		センター 総務企画・ICT 推進課 0537-24- 9706

研修一覧表

対象校種ごとに日付順で掲載しています。
各研修の詳細については、全国教員研修プラットフォーム（Plant）で御確認ください。



【センター 希望研修】（事務職員対象）																
No.	研修名	開催日	研修 日数	定員	実施 形態	研修内容	資質能力				キャリアステージ				班長級以上のみ対象 その他	研修主管課
							教育的素養・総合的人間力	授業力	生徒指導力	教育業務遂行力	組織運営力	基礎・向上期	充実・発展期	深化・熟練期		
5	マネジメント講座10ー学校事故と情報公開ー	8月～11月	1日	無制限	オンデマンド配信型	<目標> ①法的視点に立った学校事故の予防と対応について理解する。 ②情報公開制度と個人情報保護の基本について理解を深める。 ③学校事故と情報公開に関する知識を職務の遂行に活用しようとする意欲を高める。 <内容> 講義・演習①：「学校事故の予防と対応」 講義・演習②：「情報の管理と公開方法」 ※基礎・向上期、深化・熟練期の教職員も受講できる。	○			◎	○					センター研修課 0537-24-9720
6	紙とデジタルのベストミックスで情報活用能力を育む授業づくり 学校図書館活用研修	9月26日（金）	1日	30	集合	<目標> ①学校図書館の活用が児童生徒の自発的、主体的な学習活動につながることを理解することができる。 ②学校図書館内外の資料・情報を活用した学び方について、理解し、実践する手立てをつかむ。 ③学校図書館内外の資料・情報を活用した学習指導や教科指導について実際の指導方法をつかむ。 <内容> 講義・演習：「紙とデジタルのベストミックスによる授業づくり」（仮） 講師：青山学院大学 准教授 庭井 史絵氏 講義：「著作権と教育活動・学校図書館」 講師：静岡県立中央図書館 調査課	○			◎		○	○	○		センター総務企画・ICT推進課 0537-24-9715
7	管理職スキルアップ講座ー学校の経営ビジョンづくりと共有化ー	10月1日（水）	1日	無制限	リアルタイム配信型	<目標> ①経営ビジョンづくりと共有化における着眼点を理解する。 ②学校の内外資源を活用した、経営ビジョン構築の見通しをもつ。 ③学校マネジメントを取り入れた自校の経営・運営に対する意欲を高める。 <内容> 講演・演習：「学校の経営ビジョンづくりと共有化」 講師：兵庫教育大学大学院 特任教授 浅野良一 氏 ★事務長、共同学校事務室参事、統括室長、室長に限る	○			○	◎			○	○	★センター研修課 0537-24-9720
8	マネジメント講座3ー学校の経営ビジョンづくりと共有化ー	10月1日（水）	1日	60	集合	<目標> ①経営ビジョンづくりと共有化における着眼点を理解する。 ②学校の内外資源を活用した、経営ビジョン構築の見通しをもつ。 ③学校マネジメントを取り入れた自校の経営・運営に対する意欲を高める。 <内容> 講演：「学校の経営ビジョンづくりと共有化」 講師：兵庫教育大学大学院 特任教授 浅野良一 氏	○			○	◎			○	○	★センター研修課 0537-24-9720
9	マネジメント講座4ー組織の活性化と管理者の役割ー	10月28日（火）	1日	60	集合	<目標> ①組織を活性化するための、管理者の役割を理解する。 ②学校組織の特徴を踏まえた、組織活性化のためのビジョン構築の見通しをもつ。 ③学校マネジメントを取り入れた自校の経営・運営に対する意欲を高める。 <内容> 講演：「学校組織の改善と活性化ー管理職のリーダーシップと協働のマネジメントー」 講師：国士舘大学体育学部 教授 北神 正行 氏	○			○	◎			○	○	★センター研修課 0537-24-9720

研修一覧表

対象校種ごとに日付順で掲載しています。
各研修の詳細については、全国教員研修プラットフォーム（Plant）で御確認ください。



【センター 希望研修】（事務職員対象）																
No.	研修名	開催日	研修 日数	定員	実施 形態	研修内容	資質能力				キャリアステージ				班 長級 以上 のみ 対象	研修主管課
							教育的 素養・ 総合的 人間力	授業 力	生徒 指導 力	教育 業務 遂行 力	組織 運営 力	基礎・ 向上 期	充実・ 発展 期	職務に 応じた 研修 その他		
10	日本の学校、なんでやねん リターンズ	11月13日 (木)	0.5日 (PM)	60	ハイブリッド型	<目標> ①教育に多様な大人が関わることの意義を理解できる。 ②学校が果たすべき役割について再考し、業務改善への視点をもつ。 ③自校の課題を見出し、その解決に向け地域や家庭と連携・協働する意欲を高める。 <内容> 講義：「学校と地域の連携・協働のしくみ」（仮） 講師：静岡県教育委員会 義務教育課・社会教育課 講義：「日本の学校、なんでやねん」（仮） 講師：京都精華大学 教授 ウスビ・サコ氏 グループ別協議 質疑応答	◎				○	○	○		センター 総務企画・ICT 推進課 0537-24-9715	
11	マネジメント講座5－職場における人材育成－	1月16日 (金)	1日	70	集合	<目標> ①人材育成に関する必要な知識・技能について理解を深める。 ②自校における人材育成上の課題を明確にする。 ③自校の経営・運営に資する人材育成に取り組む意欲を高める。 <内容> 講義・演習：「大人が育つ職場づくり」 講師：帝京大学大学院 准教授 町支 大祐氏	○			○	◎		○	○	★	センター 研修課 0537-24-9720

研修一覧表



対象校種ごとに日付順で掲載しています。
各研修の詳細については、全国教員研修プラットフォーム（Plant）で御確認ください。

【センター 希望研修】（事務局対象）																
No.	研修名	開催日	研修 日数	定員	実施 形態	研修内容	資質能力				キャリアステージ				管理職等 のみ対象	研修主管課
							教育的素養・総合的 人間力	授業力	生徒指導力	教育業務遂行力	組織運営力	基礎・向上期	充実・発展期	深化・熟練期		
1	通信教育研修支援	7月～11月		20	その他	<目標> ①組織の中で職務を遂行するために必要なマネジメント・スキルやビジネス・スキルを身に付ける。 ②マネジメント・スキルやビジネス・スキルを職務の遂行に活用しようとする意欲を高める。 <内容> ・通信教育機関が実施する通信研修コースのうち、センターが指定するコース ・受講期間内に修了した場合は、受講料の1/3を補助する。 ★教育行政職員、小中学校事務職員対象									○	センター 研修課 0537-24-9720
2	情報モラル教育実践研修	8月4日(月)	0.5日 (AM)	32	リアルタイム配信型	<目標> ①学校における情報モラル教育の基本的な考え方の理解を図る。 ②情報モラル教育に関する実践的な指導方法の手掛かりを得る。 <内容> 講演・演習：「GIGAスクール1人1台端末下における情報モラル教育の進め方」（オンライン） 講師：静岡大学教育学部 准教授 塩田 真吾 氏	○		◎			○				センター 小中学校支援課 0537-24-9731
3	知的障害のある子どもの算数（数学）の単元づくり～子どもの思考に沿った授業デザイナー	8月5日(火)	0.5日 (PM)	100	リアルタイム配信型	<目標> ①学習指導要領に基づいた、知的障害のある子どもの算数（数学）の指導についての理解を深める。 ②得られた知識を基に、知的障害のある子どもの算数（数学）の単元づくりへ生かそうとする意欲を高める。 <内容> 講演・演習：「学習指導要領に基づく算数（数学）の授業づくり」 講師：静岡大学教育学部 准教授 山元 薫 氏	○		◎			○	○			センター 特別支援課 0537-24-9755
4	各教科等を合わせた指導の授業づくり	8月8日(金)	0.5日 (PM)	100	リアルタイム配信型	<目標> ①各教科等を合わせた指導の授業づくりについて理解する。 ②得られた知識を基に、各教科等を合わせた指導の授業づくりへ生かそうとする意欲を高める。 <内容> 講演・演習：「各教科等を合わせた指導の授業づくり」 講師：植草学園短期大学 こども未来学科 特別教授 佐藤 慎二 氏	○		◎			○	○			センター 特別支援課 0537-24-9755
5	児童生徒のウェルビーイング向上を支える教職員のためのラーニング・セッションⅠ	8月18日(月)	0.5日 (PM)	50	ハイブリッド型	<目標> ①今後の教育改革の方向性や教職員に求められることについて理解する。 ②小中高特の学びの継続性や教科等横断的な視点といった広い視野をもって深く思考する。 ③講演や協議を日々の教育実践に生かそうとする意欲を高める。 <内容> 講演：「学力アセスメントの動向と展望」（仮） 講師：青山学院大学 教授 益川 弘如 氏 トーク・セッション：教職員、センター所員、その他事務局職員の混合グループ編成による座談会 受講は、ⅠまたはⅡ、Ⅰ及びⅡのいずれも可	○	○	◎		○	○	○			センター SCoPEプロジェクトチーム

研修一覧表



対象校種ごとに日付順で掲載しています。
各研修の詳細については、全国教員研修プラットフォーム（Plant）で御確認ください。

【センター 希望研修】（事務局対象）																
No.	研修名	開催日	研修 日数	定員	実施 形態	研修内容	資質能力				キャリアステージ				管理職等 のみ対象	研修主管課
							教育的素養・総合的 人間力	授業力	生徒指導力	教育業務遂行力	組織運営力	基礎・向上期	充実・発展期	深化・熟練期		
6	SDGs教育推進研修	8月19日 (火)	0.5日 (PM)	60	ハイブリッド型	<目標> ①国際理解教育、SDGsについての理解を深める。 ②参加型手法を体験し、自校においてSDGs教育を導入する手がかりを得る。 ③自校においてSDGs教育を推進しようとする意欲を高める。 <内容> 講義・ワークショップ：「教室から広がるSDGsー持続可能な社会を実現する授業づくりー」 講師 JICA中部	○	○	◎			○	○	○		センター 総務企画・ICT 推進課 0537-24- 9706
7	マネジメント講座9ー教職員のための勤務・サービスー	8月19日 (火)	1日	無制限	リアルタイム配信型	<目標> ①教職員の勤務・サービスの基礎的知識を理解する。 ②教職員の勤務・サービスに関する実践的スキルについて理解を深める。 ③教職員の勤務・サービスに関する知識を職務の遂行に活用しようとする意欲を高める。 <内容> 講義・演習：「教職員の勤務・サービスについて（勤務規程・身分・勤務時間等）」 講義・演習：「教職員の勤務・サービスについて（休暇・休業）」 ※基礎・向上期、深化・熟練期の教職員も受講できる。	○		◎				○			センター 研修課 0537-24- 9720
8	インクルーシブな教育の推進に向けて 私たちができること	8月19日 (火)	1日	100	集合	※基礎・向上期の教員においては、「交流及び共同学習」を推進している教員 <目標> ①インクルーシブな教育の推進についての基本的な知識や理念を理解する。 ②「交流及び共同学習」の実践事例を参考に、インクルーシブな教育の推進に向けて、教職員ができることの可能性を見出すと共に、実践への意欲を高める。 <内容> 講演：「インクルーシブな教育の推進に向けて 私たちができること」 講師：独立行政法人 国立特別支援教育総合研究所 インクルーシブ教育システム推進センター センター長 久保山 茂樹 氏 実践紹介：県内の小学校、中学校、高等学校、特別支援学校より「交流及び共同学習」に関する実践発表 シンポジウム：「インクルーシブな教育の推進に向けて 私たちができること」 講義：「「共生・共育」（静岡県版インクルーシブ教育システム）の在り方について」	◎			○	○	○	○	○		センター 特別支援課 0537-24- 9755
9	プログラミング教育実践研修	8月22日 (金)	0.5日 (AM)	24	集合	<目標> ①学校におけるプログラミング教育の基本的な考え方の理解を図る。 ②教科等でのプログラミング教育の指導方法を知る。 ③プログラミング教育の演習を通して、簡単なプログラムを組む技能を身につける。 <内容> 講演：「小中学校でのプログラミング教育のねらいについて」 演習・実習：「各学校・各教科等でのプログラミング教育」 講師：静岡大学情報学部 准教授 遠山 紗矢香 氏	○	◎					○			センター 小中学校支援課 0537-24- 9731

研修一覧表



対象校種ごとに日付順で掲載しています。
各研修の詳細については、全国教員研修プラットフォーム（Plant）で御確認ください。

【センター 希望研修】（事務局対象）														
No.	研修名	開催日	研修 日数	定員	実施 形態	研修内容	資質能力				キャリアステージ			
							教育的 素養・ 総合的 人間力	授業 力	生徒 指導 力	教育 業務 遂行 力	組織 運営 力	基礎・ 向上 期	充実・ 発展 期	深化・ 熟練 期
10	自閉症の児童生徒と関わる先生のための指導法	8月22日 (金)	1日	100	リアルタイム配信型	<目標> ①自閉スペクトラム症の障害特性について理解することができる。 ②得られた知識を基に、自閉スペクトラム症の児童生徒への具体的な支援方法について、本人の立場に立って検討することができる。 <内容> 講演：「自閉スペクトラム症の障害特性の理解」 演習・グループワーク：「自閉スペクトラム症の児童生徒に対する具体的な支援の検討」 講師：一般社団法人たけのこ 理事・統括管理責任者 公益社団法人子どもの発達科学研究所 主任研究員 弓削 香織 氏	○	◎	○			○	○	
11	マネジメント講座10ー学校事故と情報公開ー	8月～11月	1日	無制限	オンデマンド配信型	<目標> ①法的視点に立った学校事故の予防と対応について理解する。 ②情報公開制度と個人情報保護の基本について理解を深める。 ③学校事故と情報公開に関する知識を職務の遂行に活用しようとする意欲を高める。 <内容> 講義・演習：①「学校事故の予防と対応」 講義・演習：②「情報の管理と公開方法」 ※基礎・向上期、深化・熟練期の教職員も受講できる。	○		◎	○			○	
12	特別支援教育における子どもの特性に応じたICT活用～実践事例から学ぶ～	9月2日(火)	1日	100	ハイブリッド型	<目標> ①特別な支援を必要とする子どもの特性に応じたICT活用について基本的な考え方や方法を理解する。 ②子どもの特性に応じたICT活用の実践事例を参考に、実践への意欲を高める。 <内容> 講演・グループワーク：「子どもの特性に応じたICT活用」 講師：山口県立大学 社会福祉学部 講師 山崎 智仁 氏 実践紹介：県内の特別支援学校、特別支援学級よりICT活用の実践発表	○	◎				○	○	○
13	教育相談スキルアップ研修ー事例から学ぶ学校カウンセリングスキルー	9月19日 (金)	1日	50	集合	<目標> ①教育相談において必要な学校カウンセリングスキルを理解する。 ②事例検討を通して学校カウンセリングスキルの理解を深める。 ③講演や演習で得た教育相談的な関わり方を、今後の教育実践に生かそうとする意欲を高める。 <内容> 講演・演習：「事例から学ぶ学校カウンセリングスキル」（カウンセリングスキル 個に応じた指導 事例検討） 講演講師：静岡大学教育学部 講師 村上 広美 氏	○	◎				○	○	

研修一覧表



対象校種ごとに日付順で掲載しています。
各研修の詳細については、全国教員研修プラットフォーム（Plant）で御確認ください。

【センター 希望研修】（事務局対象）																
No.	研修名	開催日	研修 日数	定員	実施 形態	研修内容	資質能力				キャリアステージ				管理職等 のみ対象	研修主管課
							教育的素養・総合的 人間力	授業力	生徒指導力	教育業務遂行力	組織運営力	基礎・向上期	充実・発展期	深化・熟練期		
14	紙とデジタルのベストミックスで情報活用能力を育む授業づくり 学校図書館活用研修	9月26日 (金)	1日	30	集合	<目標> ①学校図書館の活用が児童生徒の自発的、主体的な学習活動につながることを理解することができる。 ②学校図書館内外の資料・情報を活用した学び方について、理解し、実践する手立てをつかむ。 ③学校図書館内外の資料・情報を活用した学習指導や教科指導について実際の指導方法をつかむ。 <内容> 講義・演習：「紙とデジタルのベストミックスによる授業づくり」（仮） 講師：青山学院大学 准教授 庭井 史絵氏 講義：「著作権と教育活動・学校図書館」 講師：静岡県立中央図書館 調査課	○			◎		○	○	○		センター 総務企画・ICT 推進課 0537-24-9715
15	多様な背景を持つ児童生徒の支援－関係機関との連携の在り方－	9月30日 (火)	1日	40	集合	<目標> ①多様な背景を持つ児童生徒について理解する。 ②多様な背景を持つ児童生徒に対する、関係機関と連携した支援方法について理解する。 ③講演等で得た関係機関と連携した支援方法について、今後の教育実践に生かそうとする意欲を高める。 <内容> 講演：「多様な背景を持つ児童生徒の理解」（発達障害、ヤングケアラー、宗教2世、精神疾患などの理解と支援） 講師：静岡大学学術院グローバル共創科学領域 教授 江口 昌克氏 講義：「SSW（スクールソーシャルワーカー）から見た学校・家庭・福祉との連携」（関係機関との連携 相談支援体制の構築） 講師：静岡県SSW 富井 直美氏	○		◎				○	○		センター 教育相談課 0537-24-9735
16	マネジメント講座3－学校の経営ビジョンづくりと共有化－	10月1日 (水)	1日	60	集合	<目標> ①経営ビジョンづくりと共有化における着眼点を理解する。 ②学校の内外資源を活用した、経営ビジョン構築の見通しをもつ。 ③学校マネジメントを取り入れた自校の経営・運営に対する意欲を高める。 <内容> 講演：「学校の経営ビジョンづくりと共有化」 講師：兵庫教育大学大学院 特任教授 浅野良一氏	○			○	◎			○	○	★ センター 研修課 0537-24-9720
17	SEL（社会性と情動の学習-Social and Emotional Learning-）を生かした不登校の未然防止	10月24日 (金)	1日	50	集合	<目標> ①不登校の未然防止につながる児童生徒の実情や、SELについて理解する。 ②児童生徒理解のための新たな視点を習得する。 ③講演や演習で得た不登校の未然防止のための知識や視点を、今後の教育実践に生かそうとする意欲を高める。 <内容> 講演・演習：「SELを生かした不登校の未然防止」（社会情動的スキル レジリエンス） 講師：静岡大学教育学部 教授 小林 朋子氏	○		◎				○	○		センター 教育相談課 0537-24-9735

研修一覧表

対象校種ごとに日付順で掲載しています。

各研修の詳細については、全国教員研修プラットフォーム（Plant）で御確認ください。



【センター 希望研修】（事務局対象）																	
No.	研修名	開催日	研修 日数	定員	実施 形態	研修内容	資質能力				キャリアステージ				管理職等のみ対象	研修主管課	
							教育的素養・総合的人間力	授業力	生徒指導力	教育業務遂行力	組織運営力	基礎・向上期	充実・発展期	深化・熟練期			職務に応じた研修 その他
18	マネジメント講座4－組織の活性化と管理者の役割－	10月28日 (火)	1日	60	集合	<目標> ・組織を活性化するための、管理者の役割を理解する。 ・学校組織の特徴を踏まえた、組織活性化のためのビジョン構築の見通しをもつ。 ・学校マネジメントを取り入れた自校の経営・運営に対する意欲を高める。 <内容> 講演：「学校組織の改善と活性化－管理職のリーダーシップと協働のマネジメント－」 講師：国士舘大学体育学部 教授 北神 正行 氏	○			○	◎			○	○	★	センター 研修課 0537-24-9720
19	日本の学校、なんでやねん リターンズ	11月13日 (木)	0.5日 (PM)	60	ハイブリッド型	<目標> ①教育に多様な大人が関わることの意義を理解できる。 ②学校が果たすべき役割について再考し、業務改善への視点をもつ。 ③自校の課題を見出し、その解決に向け地域や家庭と連携・協働する意欲を高める。 <内容> 講義：「学校と地域の連携・協働のしくみ」（仮） 講師：静岡県教育委員会 義務教育課・社会教育課 講義：「日本の学校、なんでやねん」（仮） 講師：京都精華大学 教授 ウスビ・サコ 氏 グループ別協議 質疑応答	◎				○		○	○			センター 総務企画・ICT 推進課 0537-24-9715
20	児童生徒のウェルビーイング向上を支える教職員のためのラーニング・セッションⅡ	12月9日 (火)	0.5日 (PM)	50	ハイブリッド型	<目標> ①今後の教育改革の方向性や教職員に求められることについて理解する。 ②小中高特の学びの継続性や教科等横断的な視点といった広い視野をもって深く思考する。 ③講演や協議を日々の教育実践に生かそうとする意欲を高める。 <内容> 講演：「児童生徒の学習過程についてリフレクションする持続的で協働的な授業研究」（仮） 講師：国立教育政策研究所 総括研究官 白水 始 氏 トーク・セッション：教職員、センター所員、その他事務局職員の混合グループ編成による座談会 受講は、ⅠまたはⅡ、Ⅰ及びⅡのいずれも可	○	○		◎		○	○	○			センター SCoPEプロ ジェクトチーム
21	人権課題を「知る」「見つめる」「感じる」研修	12月12日 (金)	0.5日 (PM)	30	リアルタイム配信型	<目標> ①人権教育の基本的な知識を得る。 ②教職員自身の人権感覚を高める契機を得る。 ③児童生徒教職員の人権を尊重した学校環境づくりについて、見通しをもつ。 <内容> 講義①：「本県の人権教育推進の取組について」 講師①：教育政策課 人権・教員育成班 講義②：「外国にルーツをもつ子どもたちの教育課題について」 講師②：静岡文化芸術大学 文化政策学部 国際文化学科 准教授 佐伯 康考 氏 協議：「人権感覚あふれる学校・学級づくりのためにできることは何か」	○		◎			○	○	○			センター 高等学校支援課 0537-24-9760

研修一覧表



対象校種ごとに日付順で掲載しています。
各研修の詳細については、全国教員研修プラットフォーム（Plant）で御確認ください。

【センター 希望研修】（事務局対象）														
No.	研修名	開催日	研修日数	定員	実施形態	研修内容	資質能力				キャリアステージ			
							教育的素養・総合的人間力	授業力	生徒指導力	教育業務遂行力	組織運営力	基礎・向上期	充実・発展期	職務に応じた研修 その他
22	マネジメント講座5－職場における人材育成－	1月16日（金）	1日	70	集合	<目標> ①人材育成に関する必要な知識・技能について理解を深める。 ②自校における人材育成上の課題を明確にする。 ③自校の経営・運営に資する人材育成に取り組む意欲を高める。 <内容> 講義・演習：「大人が育つ職場づくり」 講師：帝京大学大学院 准教授 町支 大祐氏	○		○	◎			○	○
														★
														センター 研修課 0537-24-9720

研修一覧表

研修主管課ごとに掲載しています。

各研修の詳細については、全国教員研修プラットフォーム（Plant）で御確認ください。



【教育総務課 悉皆研修】

No.	研修名	開催日	研修日数	実施形態	研修主管課	電話番号
1	コンプライアンス動画	6月～3月	15分程度	オンライン配信型	教育総務課 勤務条件・監察班	054-221-3580
2	児童生徒性暴力等防止研修		20分程度	オンライン配信型	教育総務課 勤務条件・監察班	054-221-3580
3	交通安全研修	12月～1月	20分程度	オンライン配信型	教育総務課 勤務条件・監察班	054-221-3580
4	アンガーマネジメントのための職場づくり研修	通年	15分程度	オンライン配信型	教育総務課 勤務条件・監察班	054-221-3580

【教育政策課 悉皆研修】

No.	研修名	開催日	研修日数	実施形態	研修主管課	電話番号
1	人権教育担当者研修会	6月2日(月)～6月30日(月)	0.5日	オンデマンド配信型のみ	教育政策課 人権・教員育成班	054-221-3133

【教育厚生課 悉皆研修】

No.	研修名	開催日	研修日数	実施形態	研修主管課	電話番号
1	新任管理者メンタルヘルス研修	オンライン研修6月～ 7月29日(火) 8月6日(水)	0.5日	集合(0.5日)＋オンライン(0.5日)	教育厚生課 健康・厚生班	054-221-3130
2	若手教職員メンタルヘルス研修	7月31日(木) 8月4日(月) 8月8日(金)	0.5日	集合(0.5日)	教育厚生課 健康・厚生班	054-221-3130
3	(県立学校)職場の安全衛生管理者研修	9月～11月	0.5日	オンライン(0.5日)	教育厚生課 健康・厚生班	054-221-3130

【義務教育課 悉皆研修】

No.	研修名	開催日	研修日数	実施形態	研修主管課	電話番号
1	2年次研修(小・中)	市町が指定する日	2日	集合	義務教育課 人事班	054-221-3663
2	3年次研修(小・中)		2日	集合	義務教育課 人事班	054-221-3663
3	新任主幹教諭研修(小・中)	6月	0.5日	集合	義務教育課 人事班	054-221-3663
4	新任教務主任研修(小・中)	5月	1日	集合	義務教育課 人事班	054-221-3663

研修一覧表

研修主管課ごとに掲載しています。

各研修の詳細については、全国教員研修プラットフォーム（Plant）で御確認ください。



【高校教育課 悉皆研修】

No.	研修名	開催日	研修日数	実施形態	研修主管課	電話番号
1	公立高等学校教務主任研修会	6月25日(水)	1日	集合	高校教育課 指導第1・2班	054-221-3114
2	公立高等学校生徒指導主事研修会	7月3日(木)	1日	集合	高校教育課 指導第1・2班	054-221-3165
3	公立高等学校進路指導主事研修会	6月20日(金)	1日	集合	高校教育課 指導第1・2班	054-221-3146
4	公立学校新任学年主任連絡会	全体会：4月下旬～5月 地区別会：各地区で実施	2日	その他	高校教育課 指導第1・2班 県高等学校長協会	054-221-3165
5	公立高等学校特別支援教育コーディネーター研修会	5月29日(木)	1日	集合	高校教育課 指導第1・2班	054-221-3656
6	教員介護実習	8月	5日	集合	高校教育課 指導第2班	054-221-3656
7	外国語指導講師の指導力等向上研修	11月6日(木) 11月7日(金)	2日	集合	高校教育課 指導第1班	054-221-3165

【特別支援教育課 悉皆研修】

No.	研修名	開催日	研修日数	実施形態	研修主管課	電話番号
1	特別支援学校学校間ネットワーク連絡協議会	5月29日(木)	1日	集合	特別支援教育課 指導班	054-221-2090
2	特別支援学校教務主任連絡協議会	4月11日(金) 11月10日(月)	1日 1日	集合+オンライン	特別支援教育課 指導班	054-221-2090
3	特別支援学校生徒指導連絡協議会	6月30日(月) 11月20日(木)	0.5日(PM) 0.5日(PM)	集合	特別支援教育課 指導班	054-221-2090
4	特別支援学校進路指導連絡協議会	6月11日(水) 10月31日(金)	1日 0.5日(PM)	集合	特別支援教育課 指導班	054-221-2090
5	特別支援学校医療的ケア担当者連絡協議会	6月20日(金) 2月6日(金)	0.5日(PM) 0.5日(PM)	集合+オンライン	特別支援教育課 指導班	054-221-2090
6	訪問教育担当者連絡協議会	8月22日(金)	1日	集合	特別支援教育課 指導班	054-221-2090
7	寄宿舎指導員連絡協議会	8月20日(水) 12月24日(水)	0.5日(PM) 0.5日(PM)	集合+オンライン	特別支援教育課 指導班	054-221-2090
8	自立活動教諭（看護師）研修	8月5日(火) 9月5日(金)	2日	集合	特別支援教育課 指導班	054-221-2090
9	特別支援学校任期付教諭研修	8月21日(木)	0.5日(AM)	集合	特別支援教育課 指導班	054-221-2090
10	特別支援学校分校連絡協議会	7月30日(水)	0.5日(PM)	集合	特別支援教育課 企画班・指導班	054-221-2090
11	特別支援学校ICT活用に関する研修	4月24日(木)	1日	集合	特別支援教育課 指導班	054-221-2090

研修一覧表

研修主管課ごとに掲載しています。

各研修の詳細については、全国教員研修プラットフォーム（Plant）で御確認ください。



【健康体育課 悉皆研修】						
No.	研修名	開催日	研修日数	実施形態	研修主管課	電話番号
1	高等学校交通安全教育指導者研修会	6月11日(水)	0.5日(PM)	集合	健康体育課 危機管理・安全班	054-221-2740
2	幼稚園・こども園及び小中学校防災担当者研修会	7月～9月	2時間程度	オンデマンド 配信型	健康体育課 危機管理・安全班	054-221-2740
3	高等学校防災担当者研修会	7月～9月	2時間程度	オンデマンド 配信型	健康体育課 危機管理・安全班	054-221-2740
4	特別支援学校防災担当者研修会	7月～9月	2時間程度	オンデマンド 配信型	健康体育課 危機管理・安全班	054-221-2740
5	小中学校学校安全教育指導者研修会	7月～9月	2時間程度	オンデマンド 配信型	健康体育課 危機管理・安全班	054-221-2740
6	新規採用養護教員研修（校外研修）	5月～12月	9日	集合	健康体育課 健康食育班	054-221-3176
7	新規任用養護教諭等研修会	9月2日(火)	1日	集合	健康体育課 健康食育班	054-221-3176
8	養護教員6年次研修	5月、12月、9月～12月	3.5日	その他	健康体育課 健康食育班	054-221-3176
9	中堅教諭等資質向上研修（養護教諭）	4月～2月	12日	その他	健康体育課 健康食育班	054-221-3176
10	新規採用等栄養教諭研修	5月～1月	9日	集合	健康体育課 健康食育班	054-221-3176
11	栄養教諭2年次研修	8月～11月	3日	集合	健康体育課 健康食育班	054-221-3176
12	任期付等学校栄養職員研修会	7月31日(木)	0.5日(PM)	集合	健康体育課 健康食育班	054-221-3176
13	栄養教諭・学校栄養職員6年次研修	5月、8月、6月～12月	3日	その他	健康体育課 健康食育班	054-221-3176
14	中堅教諭等資質向上研修（栄養教諭・学校栄養職員）	4月～2月	12日	集合	健康体育課 健康食育班	054-221-3176
15	高等学校・特別支援学校保健主事研修会	9月12日(金)	1日	集合	健康体育課 健康食育班	054-221-3176
16	高等学校・特別支援学校養護教員研修会	8月22日(金)	1日	集合	健康体育課 健康食育班	054-221-3176
17	静岡県養護教員講習会	8月8日(金)	0.5日(AM)	集合	健康体育課 健康食育班	054-221-3176
18	学校健康教育指導者講習会	10月31日(金) 11月6日(木)	0.5日(PM)	集合	健康体育課 健康食育班	054-221-3176
19	栄養教諭・学校栄養職員講習会	7月29日(火)	1日	集合	健康体育課 健康食育班	054-221-3176
20	静岡県学校給食衛生管理研修会	8月21日(木)	0.5日(AM)	リアルタイム 配信型	健康体育課 健康食育班	054-221-3176
21	小中学校体育主任者研修会	5月7日(水) 5月8日(木)	2日	集合	健康体育課 学校体育班	054-221-3174

研修一覧表



研修主管課ごとに掲載しています。
各研修の詳細については、全国教員研修プラットフォーム（Plant）で御確認ください。

【幼児教育センター 悉皆研修】						
No.	研修名	開催日	研修日数	実施形態	研修主管課	電話番号
1	幼稚園等初任者研修（公立幼・こ）	5月～1月	7日	集合	幼児教育センター	054-221-3287
2	中堅教諭等資質向上研修（公立幼・こ）	5月～1月	5日	悉皆(1日)+希望研修(1回)+市町研修(3日)	幼児教育センター	054-221-3287

研修一覧表

研修主管課ごとに掲載しています。

各研修の詳細については、全国教員研修プラットフォーム（Plant）で御確認ください。



【教育政策課 推薦研修】

No.	研修名	開催日	研修日数	実施形態	研修主管課	電話番号
1	教職員支援機構常葉大学センター スクール・マネジメント研修	8月18日(月)～8月20日(水) 2月（調整中）	4日	集合	教育政策課 人権・教員育成班	054-221-3133

【高校教育課 推薦研修】

No.	研修名	開催日	研修日数	実施形態	研修主管課	電話番号
1	大学院修学支援【高等学校】		1年から3年（原則2年）	集合	高校教育課 人事班	054-221-3118
2	教職員等海外派遣研修Ⅱ（英語教育コース：4週間）	8月	4週間	集合	高校教育課 人事班	054-221-3118
3	南極派遣プログラム	11月～3月	5ヶ月	集合	高校教育課 人事班	054-221-3118

【特別支援教育課 推薦研修】

No.	研修名	開催日	研修日数	実施形態	研修主管課	電話番号
1	特別支援体制整備研究協議会	7月7日(月)	1日	集合	特別支援教育課 指導班	054-221-2090
2	特別支援学校新任学年主任連絡会	4月23日(水) 11月27日(木)	0.5日(PM) 0.5日(PM)	集合	特別支援教育課 指導班	054-221-2090

【健康体育課 推薦研修】

No.	研修名	開催日	研修日数	実施形態	研修主管課	電話番号
1	養護教諭指導リーダー研修	6月～7月、10月～11月、1月～2月	2.5日	その他	健康体育課 健康食育班	054-221-3176

研修一覧表

研修主管課ごとに掲載しています。
各研修の詳細については、全国教員研修プラットフォーム（Plant）で御確認ください。



【教育総務課 希望研修】																
No.	研修名	開催日	研修 日数	定員	実施 形態	研修内容	資質能力				キャリアステージ				管理職等のみ対象 その他	研修主管課 電話番号
							教育的素養・総合的人間力	授業力	生徒指導力	教育業務遂行力	組織運営力	基礎・向上期	充実・発展期	深化・熟練期		
1	相談員研修会	通年	1時間程度	一	オンデマンド・配信型のみ	<目標> (1) 相談員のスキル向上を図る。 (2) 校内相談体制（報告・連絡・相談）を強化する。 (3) 風通しのよい職場環境づくりを推進する。 <内容> 動画：「ハラスメントの防止等に関する指針」 動画：動画で学ぶハラスメント「明るい職場応援団」に掲載の相談員向け動画	○				◎			○		教育総務課 勤務条件・監察班 054-221-3580

【教育政策課 希望研修】																
No.	研修名	開催日	研修 日数	定員	実施 形態	研修内容	資質能力				キャリアステージ				管理職等のみ対象 その他	研修主管課 電話番号
							教育的素養・総合的人間力	授業力	生徒指導力	教育業務遂行力	組織運営力	基礎・向上期	充実・発展期	深化・熟練期		
1	人権啓発指導者養成講座	8月	一	一	オンデマンド・配信型のみ	<目標> ①人権課題の正しい理解と認識を深める。 ②指導者としての人権意識、人権感覚を高める。 ③それぞれの立場で人権教育を推進しようとする意欲をもつ。 <内容> 「静岡県の人権教育」「市町の人権啓発活動実践紹介」 人権課題を7～8講座を公開し、オンデマンドで研修する。	○		◎			○	○	○		教育政策課 人権・教員育成班 054-221-3133
2	「学びに向かう力、人間性等」実践研修	1月30日（金）	1日	48	集合	<目標> ①非認知的能力について理解を深めるとともに、非認知的能力を育む方法等について知る。 ② 実践を通して、自己の思考や行動を制御するための技法等を習得する。 ③ 非認知能力やエンゲージメントを高めるコーチングのスキルを習得し、自己の教育活動に生かそうとする意欲を高める。 <内容> 講義・演習：「非認知的能力の理解と育成」 講師：和洋女子大学人文学部心理学科 教授 佐瀬 竜一 氏 講義・演習：「人を育て、組織を育てるコーチング」 講師：常葉大学大学院学校教育研究科 研究科長・教授 久米 昭洋 氏	◎	○	○			○	○	○		教育政策課 人権・教員育成班 054-221-3133

研修一覧表

研修主管課ごとに掲載しています。
各研修の詳細については、全国教員研修プラットフォーム（Plant）で御確認ください。



【教育政策課 希望研修】																	
No.	研修名	開催日	研修 日数	定員	実施 形態	研修内容	資質能力				キャリアステージ				管理職等のみ対象 その他	研修主管課 電話番号	
							教育的素養・総合的人間力	授業力	生徒指導力	教育業務遂行力	組織運営力	基礎・向上期	充実・発展期	深化・熟練期			職務に応じた研修
3	「総合的な学習の時間」における探究的な授業づくり研修	9月19日 (金)	0.5日 (PM)	40	集合	<目標> ①総合的な学習の時間の目標やその趣旨、学習の在り方、育成を目指す資質・能力等について理解する。 ②資質・能力の育成に向けて、児童生徒が探究的な見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うための探究的な授業づくりについて考える。 ③自校における総合的な学習の時間の充実を図ろうとする意欲を高める。 <内容> 講義・演習：「総合的な学習の時間における探究的な授業づくり」 講師：一般社団法人シヅクリ 代表理事 山下 由修 氏 体験型の学びを中心とした実践的な研修です。	○	◎				○	○	○			教育政策課 人権・教員育成班 054-221-3133
4	【学校管理職対象】教員の成長を支援するメンタリングスキル向上研修	7月14日 (月)	1日	48	集合	<目標> ①人材育成につながるメンタリングの考え方について理解する。 ②教員の成長を支援するメンタリングの具体的な手法を身に付ける。 ③期首面談・期末面談やその他の面談において、メンタリングを活用しようとする意欲を高める。 <内容> 講義・演習：「教員の成長を支援するメンタリング」（仮） 講師：常葉大学大学院学校教育研究科 研究科長・教授 久米 昭洋 氏	○				◎					★	教育政策課 人権・教員育成班 054-221-3133
5	いじめに対応する学校づくり推進研修	12月8日(月)	0.5日	40	集合	<目標> ①いじめ防止対策推進法に基づく学校の対応について理解する。 ②いじめの防止、早期発見、早期対応に向けた体制づくりや具体的な取組を考える。 ③自校において、いじめに対応する学校づくりを推進しようとする意欲を高める。 <内容> 講義・演習：「いじめに対応する学校づくり」（仮） 講師：常葉大学教育学部 准教授 太田 正義 氏	○		◎		○		○	○			教育政策課 人権・教員育成班 054-221-3133
6	多様性を認め合う学級づくり実践研修	10月7日(火)	0.5日	40	リアルタイム配信型のみ	<目標> ①人権を尊重した学級づくりについての理解を深める。 ②自校の人権教育の充実と改善に向けた実践力を高める。 ③多様性を認め、一人一人を大切にしたい学級づくりを行おうという意欲をもつ。 <内容> 講義：「多様性を認め合う学級づくり」 講師：磐田市国際交流協会 村上 ナオキ氏 グループワーク：「多様性を認め合う学級づくり実践について」	○	◎					○	○	○		教育政策課 人権・教員育成班 054-221-3133

研修一覧表

研修主管課ごとに掲載しています。
各研修の詳細については、全国教員研修プラットフォーム（Plant）で御確認ください。



【教育政策課 希望研修】																	
No.	研修名	開催日	研修日数	定員	実施形態	研修内容	資質能力				キャリアステージ				管理職等のみ対象	研修主管課 電話番号	
							教育的素養・総合的人間力	授業力	生徒指導力	教育業務遂行力	組織運営力	基礎・向上期	充実・発展期	深化・熟練期			職務に応じた研修
7	教員向け消費者教育実践講座	8月1日(金)	1日	100	その他	<目標> 児童生徒の消費者被害を防ぐとともに、闇バイト等、加害者となることを防ぐため、学校の日常における消費者教育を推進するための知識・技能を習得する。 <内容> 講義：「最新の若年層の消費者被害の現状と課題」（仮） 講義：「最新の若年層の闇バイト等の現状と課題」（仮）		○	◎			○	○	○			県民生活課 教育政策課 054-221-3133
8	企業のカスタマー対応に学ぶ保護者対応	8月8日（金）	0.5日（PM）	40	リアルタイム配信型のみ	<目標> ①コミュニケーションの原則である「Listen（状況を十分に理解しようとする）」「Connect（偽りのない、心の繋がりを築く）」「Resolve（柔軟に解決する）」の3つの概念を理解する。 ② ロールプレイを通してこれまでの業務を省察し、改善するための手がかりを得る。 ③保護者とのより良い関係を構築するためにコミュニケーションの原則を活用し、業務遂行能力を向上させる意欲を高める。 <内容> 講義・演習：「心の知能指数・コミュニケーションの原則」 講義・演習：「保護者とのより良い関係を構築するために」 日本マクドナルド(株)の研修機関「ハンバーガー大学」による講義・ワークショップ。企業のカスタマー対応に学ぶことを通して、保護者とのより良い関係を構築するために必要なコミュニケーションスキルを習得する。	○			◎		○	○				教育政策課 人権・教員育成班 054-221-3133
9	静岡県教職員海外研修	事前説明会:6月 報告会:2月	－	－	その他	<目標> 学校運営及び教科等指導力向上に資する調査研究及び情報収集等を行い、訪問先の教育実践等について理解を深め、自己または学校運営上の課題に対する改善策を立案・実行できる。 <内容> 6月 事前研修会（本庁会場） 7～12月 海外研修（1週間程度～1ヶ月） 2月 研修成果報告会（本庁会場）	○	○	○	○	○	○	○	○			教育政策課 政策推進班 054-221-3134

研修一覧表

研修主管課ごとに掲載しています。

各研修の詳細については、全国教員研修プラットフォーム（Plant）で御確認ください。



【教育ＤＸ推進課 希望研修】																
No.	研修名	開催日	研修 日数	定員	実施 形態	研修内容	資質能力				キャリアステージ				管理職等 のみ対象 その他	研修主管課 電話番号
							教育的 素養・ 総合的 人間力	授業 力	生徒 指導 力	教育 業務 遂行 力	組織 運営 力	基礎 ・向上 期	充実 ・発展 期	深化 ・熟練 期	職務 に応じ た研修	
1	【学校管理職対象】長時間勤務縮減に向けた働き方改革	-	-	-	オンデマンド配信型のみ	<目標・内容> 「学校における業務改革プラン」の進捗状況や県立学校における働き方改革の好事例を共有することにより、改革マインドを醸成する。					◎			○		★
2	ICT活用支援研修	-	-	-	その他	<目標・内容> 市町及び公立小中学校からの要望に応じたICT研修 ・セキュリティ、情報モラル、著作権 ・校務ＤＸ ・生成ＡＩ活用基礎	○	○		○	○	○	○	○	○	
3	ICT活用基礎研修	7月30日(水) 8月19日(火)	1日	15 20	集合	<目標> 学校でICTを利用するための基礎知識を学ぶ <内容> 内容：Googleアプリ操作、ＡＩの利用、情報セキュリティ等 端末：Chromebook ※同じ内容の研修を２回行う 三島長陵（7/30） 総合教育センター（8/19）	○	○		◎		○	○	○		
4	ICT活用校務ＤＸ研修	7月31日(木) 8月20日(水)	1日	15 20	集合	<目標> 校務ＤＸの基本を学び、ICTを活用した業務改善の実践力を高める <内容> 内容：校務ＤＸ、Googleアプリ活用、ＡＩの活用、情報セキュリティ等 端末：Chromebook ※同じ内容の研修を２回行う 三島長陵（7/31） 総合教育センター（8/20）	○	○		◎	○		○	○	○	
5	新任情報担当者研修	4月～5月	0.5日	一	リアルタイム配信型のみ	<目標> 県立学校の情報担当として必要な基礎知識を身に付ける <内容> 内容：NEＳパソコン、情報機器の管理、ネットワーク、クラウドサービス、セキュリティ等 ※リアルタイム配信にて60分程度の研修を３回程度行う	○				◎		○	○	○	
6	Google Workspace for Education 基礎研修	8月1日(金) 8月21日(木)	1日	15 20	集合	<目標> Google Workspaceの基本操作を学び、校務や授業で活用できるスキルを身につける <内容> 演習：Googleドライブ、Classroom、フォーム、Gmail、Chat、Meet、カレンダー、Keep等の基本操作 端末：Chromebook 講師：Google認定講師 ※同じ内容の研修を２回行う 三島長陵（8/1） 総合教育センター（8/21）	○	○		◎		○	○	○		
7	アプリケーションの使用方法	-	-	-	オンデマンド配信型のみ	<内容> Classroomの使い方の解説動画です。クラスの作り方、設定方法、課題の投稿、ストリームの利用等について解説。	○			◎		○	○	○		
8	ICTを活用した授業動画の共有	-	-	-	オンデマンド配信型のみ	<内容> ICTを活用した授業動画です。 4分～13分程度の動画を各科目2～3本程度掲載しました。	○	◎				○	○	○		

研修一覧表

研修主管課ごとに掲載しています。

各研修の詳細については、全国教員研修プラットフォーム（Plant）で御確認ください。



【教育ＤＸ推進課 希望研修】																
No.	研修名	開催日	研修日数	定員	実施形態	研修内容	資質能力				キャリアステージ				管理職等のみ対象 その他	研修主管課 電話番号
							教育的素養・総合的人間力	授業力	生徒指導力	教育業務遂行力	組織運営力	基礎・向上期	充実・発展期	深化・熟練期	職務に応じた研修	
9	情報セキュリティ入門	-	-	-	オンデマンド配信型のみ	<内容> 「組織における情報セキュリティ」の動画（１０分程度）です。	○			◎		○	○	○		教育ＤＸ推進課 ＤＸ企画班 054-221-3391
【教育厚生課 希望研修】																
No.	研修名	開催日	研修日数	定員	実施形態	研修内容	資質能力				キャリアステージ				管理職等のみ対象 その他	研修主管課 電話番号
							教育的素養・総合的人間力	授業力	生徒指導力	教育業務遂行力	組織運営力	基礎・向上期	充実・発展期	深化・熟練期	職務に応じた研修	
1	ライフプラン講習会	7月～1月	0.5日	一	オンデマンド配信型のみ	<目標>教職員の生涯生活設計の支援を図る <内容>健康・経済・生きがいの講習	○								○	教育厚生課 健康・厚生班 054-221-3130
2	（市町）職場の安全衛生管理者研修	9月～11月	0.5日	280	オンデマンド配信型のみ	<目標> 職場の安全衛生管理体制について、基本となる法制度等の知識を習得し、管理者としての役割を理解することにより、職場における安全衛生管理体制を機能させ、職員の健康保持増進を図る。 <内容> 講義「職場の安全衛生管理体制について」	○							○	★	教育厚生課 健康・厚生班 054-221-3130
【義務教育課・静岡教育事務所・静岡西教育事務所 希望研修】																
No.	研修名	開催日	研修日数	定員	実施形態	研修内容	資質能力				キャリアステージ				管理職等のみ対象 その他	研修主管課 電話番号
							教育的素養・総合的人間力	授業力	生徒指導力	教育業務遂行力	組織運営力	基礎・向上期	充実・発展期	深化・熟練期	職務に応じた研修	
1	任期付職員等研修（小・中）	5月 9月 11月	3日	一	集合	<目標> ①初めて教壇に立つ任期付職員等が、自らの職責を自覚するとともに、教員としての資質向上を図る。 ②初めて教壇に立つ任期付職員全員に対し、資質向上の機会を設けるとともに、任期（最大３年間）を通じて資質向上ができるよう体制を整備する。 ③臨時的任用職員、会計年度任用職員に対する資質向上の機会を設ける。 ④勤務・服務、コンプライアンス研修を通して、倫理観の向上を図る。 <内容> 講義・演習 ・勤務・服務、コンプライアンスに係る内容 ・授業力、生徒指導力等の向上に資する内容	○	○	○	○	○	○				義務教育課 人事班 054-221-3663

研修一覧表

研修主管課ごとに掲載しています。
各研修の詳細については、全国教員研修プラットフォーム（Plant）で御確認ください。



【健康体育課 希望研修】																
No.	研修名	開催日	研修 日数	定員	実施 形態	研修内容	資質能力				キャリアステージ				管理職等のみ対象	研修主管課 電話番号
							教育的素養・総合的 人間力	授業力	生徒指導力	教育業務遂行力	組織運営力	基礎・向上期	充実・発展期	深化・熟練期		
1	栄養教諭等食育担当者研修会	11月 日() 11月 日()	0.5日 (PM)	110	その他	<目標> 食育担当者としての校内の食育を推進するために学校、家庭、地域との連携も視野に入れた計画や授業案を提案し実践することができる。 <内容> 講話：「お茶に関する基礎知識」 模擬・実習：「お茶をおいしく淹れてみよう」 分科会 会場：県内1会場（ふじのくに茶の都ミュージアム）定員：30名、オンライン定員：80名	○		◎	○					○	健康体育課 健康食育班 054-221-3176
【社会教育課 希望研修】																
No.	研修名	開催日	研修 日数	定員	実施 形態	研修内容	資質能力				キャリアステージ				管理職等のみ対象	研修主管課 電話番号
							教育的素養・総合的 人間力	授業力	生徒指導力	教育業務遂行力	組織運営力	基礎・向上期	充実・発展期	深化・熟練期		
1	学校・家庭・地域の連携推進研修会（西部会場）	9月3日(水)	1日	50	集合	<目標> ①市町の学校、地域、行政の各関係者が、地域全体で子供を育むことの意義や展望についての共通理解を深める。 ②参加者同士が地域課題を共有し、その解決に向けて協議することを通して、学校・家庭・地域の連携・協働による活動を推進する意欲を高める。 <内容> 事例発表：「学校・家庭・地域の連携・協働の実践について」 講話・演習：「コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進のポイント」 講師：文部科学省CSマイスター（予定）	○			○	◎	○	○	○		社会教育課 地域家庭班 054-221-3115
2	学校・家庭・地域の連携推進研修会（東部会場）	9月上旬	1日	50	集合	<目標> ①市町の学校、地域、行政の各関係者が、地域全体で子供を育むことの意義や展望についての共通理解を深める。 ②参加者同士が地域課題を共有し、その解決に向けて協議することを通して、学校・家庭・地域の連携・協働による活動を推進する意欲を高める。 <内容> 事例発表：「学校・家庭・地域の連携・協働の実践について」 講話・演習：「コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進のポイント」 講師：文部科学省CSマイスター（予定）	○			○	◎	○	○	○		社会教育課 地域家庭班 054-221-3115

研修一覧表

【申込方法】

Plant（全国教員研修プラットフォーム）を利用
する所属の方はこちらから→



【申込方法】

Plant（全国教員研修プラットフォーム）を利用
しない所属の方はこちらから→



【幼児教育センター 希望研修】

No.	研修名	開催日	研修 日数	定員	実施 形態	研修内容	資質能力				キャリアステージ				管理職等 のみ対象 その他	研修主管課 電話番号
							教育的 素養・総合的 人間力	授業 力	生徒 指導 力	教育 業務 遂行 力	組織 運営 力	基礎・ 向上 期	充実・ 発展 期	深化・ 熟練 期		
1	乳児保育研修	7月30日 (水)	0.5日 (AM)	70	ハイブリッド型	<目標>乳児期の子どもの特性と保育者の役割を理解し、これから生きる子ども達に求められる力を育むための乳児保育の在り方について考えることができる。 <内容> 講演：「乳児期の保育について」(仮) 演習：「子どもの育ちを支える保育について」(仮) 講師：平島幼稚園,あおぞらキンダーガーデン 園長 岡村 由紀子 氏	◎	○	○			○	○	○		幼児教育センター 054-221-3287
2	幼児教育研修	7月30日 (水)	0.5日 (PM)	70	ハイブリッド型	<目標>幼児期の子どもの特性や保育者の役割を理解し、これから生きる子ども達に求められる力について理解し、それを育むための幼児教育の在り方について考えることができる。 <内容> 講演：「幼児教育について」(仮) 演習：「子どもの育ちを支える保育者のかかわり」(仮) 講師：浜松市秋野不矩美術館 館長 鈴木 英司 氏	○	◎	◎			○	○	○		幼児教育センター 054-221-3287
3	幼児教育マネジメント研修	8月5日 (火)	0.5日 (AM)	70	ハイブリッド型	<目標>施設や保育のリーダーとしての役割と責任を認識し、保育士一人一人の資質能力を生かした人的マネジメントを理解する。 <内容> 講演：「幼児教育マネジメントについて」(仮) 講師：鳴門教育大学 教授 佐々木 晃 氏	○	○	○	◎	◎		○	○		幼児教育センター 054-221-3287
4	幼小接続期の教育・保育研修	8月5日 (火)	0.5日 (PM)	70	ハイブリッド型	<目標>幼児期の学びを小学校教育へ円滑につなげるための幼小接続について理解し、今後の取組に生かしていこうとする意欲をもつことができる。 <内容> 講演：「幼児教育と小学校教育の共通性と独自性を生かした幼保小の架け橋」(仮) 講師：鳴門教育大学 教授 佐々木 晃 氏	○	◎	◎			○	○	○		幼児教育センター 054-221-3287
5	インクルーシブ保育研修	9月2日 (火)	0.5日 (PM)	70	ハイブリッド型	<目標>発達特性と支援法に関する知識を学び、それぞれの特性や違いに応じた効果的な関わり方、共に育ち合うクラスづくりにについて考える。 <内容> 講演：「よくある“気になる”行動のハテナ」(仮) 演習：「子どもの行動のハテナを探り支援を考える」(仮) 講師：常葉大学保育学部 准教授 赤塚 めぐみ 氏	○	◎	◎			○	○	○		幼児教育センター 054-221-3287

研修一覧表

【申込方法】
Plant（全国教員研修プラットフォーム）を利用
する所属の方はこちらから→



【申込方法】
Plant（全国教員研修プラットフォーム）を利用
しない所属の方はこちらから→

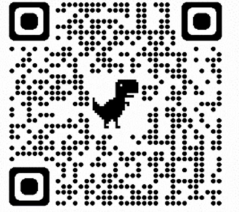


【幼児教育センター 希望研修】																	
No.	研修名	開催日	研修日数	定員	実施形態	研修内容	資質能力				キャリアステージ				管理職等のみ対象	研修主管課 電話番号	
							教育的素養・総合的人間力	授業力	生徒指導力	教育業務遂行力	組織運営力	基礎・向上期	充実・発展期	深化・熟練期			職務に応じた研修 その他
6	幼児教育の理解・発展推進事業都道府県協議会	静西： 8月22日 (木) 静東： 8月23日 (金)	1日	200	ハイブリッド型	<趣旨>幼稚園教育要領等、幼児教育及び幼児教育と小学校教育の円滑な接続に関する内容等について、実践発表に基づく研究協議、専門的な講義等を行うことにより、幼児教育及び幼小接続期の教育の振興・充実を図る。 <内容> 講演：「幼保小の円滑な接続について」 (仮) 講師：聖徳大学 教授 河合 優子 氏 演習：「幼保小の学びのつながり」(仮)		◎	◎				○	○			幼児教育センター 054-221-3287

3

希望研修申込方法

希望研修申込方法

	総合教育センター主催		その他主催
申込期間	申込開始：5月26日（月）から 申込期限：各研修実施日の6週間前まで ※申込み期限を別で設定している研修があります。Plant の各研修ページで御確認ください。 ※複数日程の場合は、初日を研修実施日とします。 ※申込数が定員に達し次第、受付を終了します。 ※研修管理システムを利用した研修申込みににおいては、管理職の承認が完了するまで受講決定になりません。そのため、管理職へ報告し、必ず承認を受けるようにしてください。		研修主催者からの通知等を確認してください。
	Plant を利用する所属の方	【対象】 ・政令市を含む公立学校（小中高特）で勤務する方 ・熱海市、富士市、東伊豆町、河津町、南伊豆町、松崎町、袋井市、湖西市の8市町で勤務する幼稚園、こども園等の教職員の方 Plant から申込んでください。 ※申込方法を別に定める研修があります。通知等で御確認ください。	
申込方法	Plant を利用しない所属の方	【対象】 ・静岡大学教育学部附属学校の教職員 ・私立学校の教職員 ・上記8市町以外の自治体で勤務する幼稚園、こども園等の教職員の方 メールで申込んでください。 担当：総合教育センター 総務企画・ICT推進課 企画・ICT推進班 メールアドレス：centerkensyu@pref.shizuoka.lg.jp メール連絡必要事項 ①申込する研修名 ②所属名 ③申込者職名 ④申込者氏名	
		研修主催者からの通知等を確認してください。	
		幼児教育センター主催の研修 下記 URL または二次元コードから申込んでください。 https://qr.paps.jp/NaYd 	

希望研修申込方法

	総合教育センター主催		その他主催
申込のキャンセル・欠席	Plant を利用する 所属の方	< 申込期間中 > ①受講者が管理職にキャンセルすることを伝える ②受講者が Plant でキャンセル処理をする < 申込締切日以降 > 管理職が「欠席・変更届」をメールで提出する 担当：総合教育センター 総務企画・ICT 推進課 企画・ICT 推進班 メールアドレス：centerkensyu@pref.shizuoka.lg.jp 【対応のイメージ】 申込開始日 6 週間前 (申込締切日) 研修開催日 申込期間中 教員 キャンセルすることを 管理職に伝える 教員 Plantでキャンセル処理 をする 申込締切日以降 管理職 「欠席・変更届」を メールで提出	
		< 申込期間中 > メールに必要事項を記載して送付する < 申込締切日以降 > 「欠席・変更届」をメールで提出する メール連絡必要事項 ①キャンセル研修名 ②所属名 ③キャンセル者職名 担当：総合教育センター 総務企画・ICT 推進課 企画・ICT 推進班 メールアドレス：centerkensyu@pref.shizuoka.lg.jp 担当：研修主催者 メールアドレス：通知等を御確認ください。	
申込状況	随時状況を掲載しますので、確認してください。 掲載場所 ・センターホームページ ・教育委員会掲示板 ・Plant トップページリンク集		研修主催者へお問い合わせください。

4

欠席・変更等の手続き

欠席・変更等の手続きについて

1 方法

・管理職から「欠席・変更届」をメールで提出

※各研修主催者が必要とする場合及び当日の欠席・遅刻については「欠席・変更届」提出の際、電話連絡もしてください。（研修実施要項に記載があります。）

【総合教育センター主催研修のみ】

「欠席・変更届」のメールが確認でき次第、担当から受領した旨を返信します。

※メールの返信を必ず確認してください。返信がない場合は受理ができていない可能性がありますので、一週間以内に返信がない場合はセンターへ御連絡ください。

2 注意点

- ・必ず管理職から提出・連絡をしてください。
- ・悉皆研修及び推薦研修の欠席は、今後の研修に影響が出る場合があるため、各学校において慎重に判断するとともに、必要に応じて提出前に研修主催者に問い合わせてください。
- ・実施要領や要項等で欠席等に関する手続きが別に定められている場合は、その案内に従ってください。
- ・交通機関の遅れに伴う遅刻等の場合は、電話連絡のみとし、「欠席・変更届」の提出は原則不要です。

3 連絡・提出先

【総合教育センター主催の研修】

担 当：総合教育センター

総務企画・ICT推進課 企画・ICT推進班

メールアドレス：centerkensyu@pref.shizuoka.lg.jp

電 話：0537-24-9706

※受付時間 8：30～12：00, 13：00～17：00

【静岡県幼児教育センター主催の研修】

下記URLまたは二次元コードから連絡してください。

<https://forms.gle/NqAxPMGoRcVRkqHw6>

担 当：静岡県幼児教育センター



【その他主催の研修】

研修開催通知等で確認してください。

欠席・変更届はこちらからダウンロードしてください。

リンク

欠席・変更届

令和 年 月 日

様

所 属 名

所属長氏名

電 話 番 号

下記のとおり提出します。

記

研 修 名													
研 修 日			年		月		日	～		年		月	日
職 員 番 号													
職 名													
研修員番号													
フリガナ													
氏 名													
内 容													
理 由													

水色のセルに御入力ください

- ※年間複数回実施の研修について、特定回を欠席する場合は研修名「第〇回～研修」等と記入する。
- ※改姓の場合は、旧姓と新姓を記入する。なお、氏名欄は新姓とする。
- ※欠席等理由がその他の場合は、具体的理由を記入する。
- ※悉皆研修及び推薦研修の欠席は、今後の研修に影響が出る場合があるため、各学校において慎重に判断するとともに、必要に応じて提出前にセンターに問い合わせること。

5

学校等支援研修

学校等支援研修

1 支援内容

Zoomによる実施
も可能です！

分野	支援内容(例)
マネジメント等	○ファシリテーション ○学校のビジョンづくり ○コーチング ○職場における人材育成 ○チームビルディング
学習指導等	○教科指導 ○特別活動、総合的な学習（探究）の時間 ○学習指導（「主体的・対話的で深い学び」の実現、学習評価等）
特別支援教育等	○インクルーシブ教育システムの理念の構築に向けた特別支援教育の推進 ○障害特性や困難さに対する理解と支援方法 ○特別支援教育の視点を生かした授業づくり ○ユニバーサルデザインの視点を取り入れた生活づくり・授業づくり
教育の情報化等	○授業におけるICT活用 ○プログラミング教育 ○情報モラル教育
学校図書館等	○主体的な学びを支える学校図書館づくり（運営、配架、選書、読書支援の方法等）
生徒指導等	○生徒指導 ○人間関係づくり ○いじめの未然防止
教育相談等	○児童生徒、保護者との教育相談の基本と演習 ○教職員の観察力の向上（不登校の未然防止、早期発見・早期対応） ○ケース会議の手法（アセスメントとプランニングによる不登校支援）
進路指導等	○進路指導 ○キャリア教育 ○進路シラバス

2 申込方法

(1) 県立高等学校及び特別支援学校への支援（県立中学校、中等部も含む）

- ① 依頼したい内容、実施希望日時等について、学校等の担当者は総務企画・ICT推進課 企画・ICT推進班に電話で相談してください。
電話番号 0537-24-9706

- ② センターから内諾の連絡を受けた後、学校等の担当者は総務企画・ICT推進課 企画・ICT推進班へメールで「学校等支援研修申込書」を送信してください。

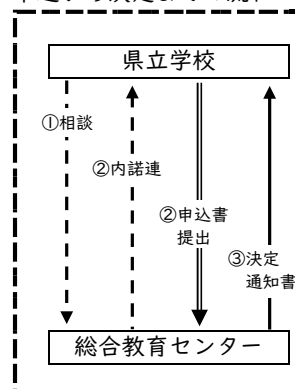
(メールアドレス) centerkensyu@pref.shizuoka.lg.jp

申込様式は、こちらからダウンロードしてください。

[リンク](#)

- ③ センターは「学校等支援研修決定通知書」を担当者宛てに送信します。

申込から決定までの流れ



留意点

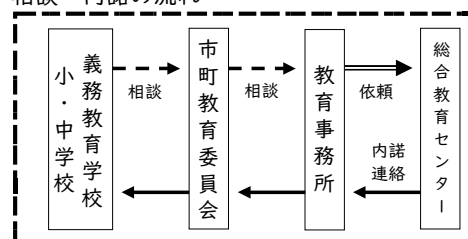
- 4月1日（火）以降、随時申込が可能です。研修実施日の1か月前までに申込書を送付してください。
- 決定通知書が送付された後、訪問する職員と事前に打合せを行ってください。
企画・運営は学校等の担当者でお願いします。研修会場については、学校等が希望する場所で行います。
センターで実施することも可能ですが、事前に施設利用申請が必要です。
- センター業務に支障がある場合には、学校等支援研修に対応できないこともあります。対応できない場合でも、他機関の紹介や資料の提供が可能なこともあります。問合せの際に確認してください。
- 訪問するセンター職員の旅費の負担先については、相談の上で決定します。
- 申込後、実施できなくなった場合には、訪問するセンター職員に必ず電話で連絡してください。

(2) 小・中学校・義務教育学校及び市町教育委員会等への支援

センター職員による小・中学校・義務教育学校及び市町教育委員会等への支援については、市町教育委員会を通して教育事務所の内諾を得た後に申込書を提出することになります。

小・中学校・義務教育学校は、市町教育委員会に相談してください。

相談・内諾の流れ

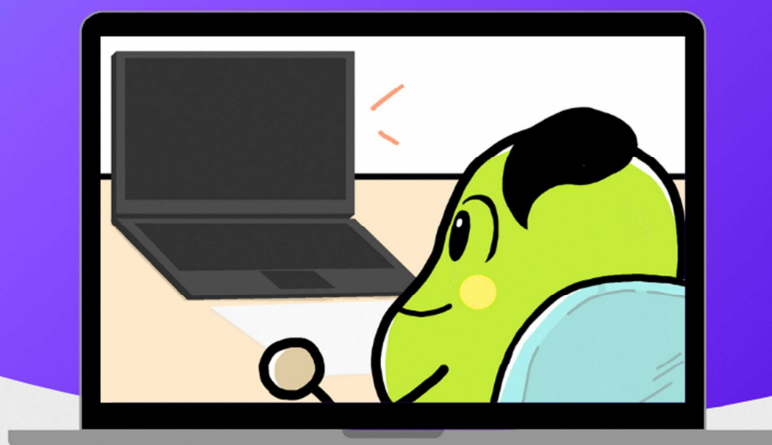


※センターとのやり取りは教育事務所が行います。

※申込書提出の流れも同様です。決定通知書はセンターから一斉に発出します。

ご存知ですか？

独立行政法人教職員支援機構 や大学が提供している オンデマンド研修 を受講できます！



好きな時間に気軽に学べる！

受講方法

全国教員研修プラットフォーム
「Plant」から申し込み
詳細は各研修の概要欄で御確認ください。

検索のヒント💡

- 🔍 実施・運営者に
「教職員支援機構」や「大学」と入力
- 🔍 研修名に
受講したい内容のキーワード等を入力
※他にも、お好みの条件で検索できます。

研修検索		検索	検索条件初期化
フリーワード検索			
研修名			
実施・運営者			
開催日	年/月/日	□ ~ 年/月/日	□
キャリアステージ			
育成指標			

令和7年度 研究報告会（案内）



オンライン 開催

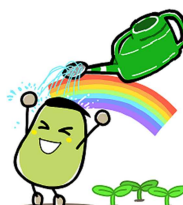
～最新の研究状況を把握するチャンス～

静岡県総合教育センターが取り組んでいる「“学校への還元”を
目的とした研究」の成果を報告します。

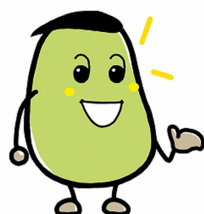
理論化された研究成果の中から、実践のヒントが見いだせます。
皆様の御参加をお待ちしております。

日時

1 日目：令和8年2月12日（木）15:00～16:20（時間は予定）
2 日目：令和8年2月13日（金）15:00～16:20（時間は予定）



令和7年度 研究内容



No.	研究主題	担当
1	児童生徒のウェルビーイングのために 学びに向かう力（非認知能力を含む）を 高める学びの土壌づくり	課班 横断
2	不登校支援の充実に向けた研究 －学校が関係機関と連携・協働による シームレスな支援を行うために－	教育 相談課
3	「主体的に学習に取り組む態度」の育成に 焦点をあてた授業改善に関する研究	小中学校 支援課

申込方法

令和8年1月に静岡県内全学校に要項を送付します。

静岡県総合教育センター

〒436-0294 静岡県掛川市富部 456 番地
問い合わせ：総務企画・ICT推進課 企画・ICT推進班
TEL 0537-24-9706(直通) E-mail centerkensyu@pref.shizuoka.lg.jp

がくしゅうしつ

あすなろ学習室



小学校1年生から中学校3年生までの
5教科が学べます!



静岡県内の小中学校でも多く利用されています

無料

誰でも
使えます!

教職員、保護者、
一般の方も
利用できる
内容です

ゲーム感覚で
取り組める
問題も!



ここからやってみよう! ▶

<https://gakusyuu.shizuoka-c.ed.jp/index.html>



静岡県

静岡県総合教育センター

各種リンク一覧

全国教員研修プラットフォーム(Plant)

Plant
リンク



※総合教育センターHPからも開くことができます

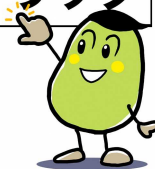
★Plant Q&A

学校から問い合わせがあった内容をまとめています。Plantの利用でお困りの際はまずこちらをご確認ください。

Plant Q&A
リンク



クリック



欠席・変更届ダウンロード

リンク

https://www.center.shizuoka-c.ed.jp/setting/page_20201113064510

学校等支援研修申込みダウンロード

リンク

https://www.center.shizuoka-c.ed.jp/page_20201113064549

端末貸出 申込

リンク



(注意) 端末の貸出は、会場が総合教育センターのみとさせていただきます。